

学位請求論文

日本文化とエジプト文化における感謝表現の対照研究

広島大学大学院人間社会科学研究科

博士課程後期人文社会科学専攻

学生番号：D206042

氏名：SALMA MOHAMED ABDELGAWAD MOHAMED

サルマ・モハメド・アブドイルガワード・モハメド

目次

第1章：序論-研究背景と目的	1
1.1 研究の背景	1
1.2 研究の目的	3
1.3 本論文の構成	3
第2章：先行研究と研究枠組み	5
2.1 語用論に関連する先行研究	5
2.2 日本語とアラビア語における感謝表現に関する先行研究	11
2.2.1 日本語における感謝表現に関する先行研究	11
2.2.2 日本語における感謝表現の例文	12
2.2.3 アラビア語エジプト方言の感謝表現に関する先行研究	12
2.2.4 アラビア語エジプト方言における感謝表現の例文	13
2.3 非言語に関する先行研究	14
2.4 本論文の研究手法	18
第3章：エジプトのテレビドラマと映画における感謝表現	26
3.1 アラビア語エジプト方言	26
3.2 調査方法と収集したデータ	27
3.2.1 「mutšakkiriin」類	27
3.2.2 「ṭūl ‘umr-ak šaaḥib waagib」類	28
3.2.3 「šukran」類	29
3.2.4 「ḥabiib-i」類	30
3.2.5 「al-hamdu li-llaah」「rabb-ina yiḥallii-ki」「allaah yiḥallii-k」「tislam ‘iid-ik」 類	31
3.2.6 「kattar ḥeer-ik」類	42
3.2.7 「疲れさせた」類	45
3.2.8 「mersi」類	47
3.2.8.1 「mersi」類（感謝の機能）	47
3.2.8.2 「mersi」類（終了の機能）	53
3.2.8.3 「mersi」類（断り）	54
3.2.9 「miš ‘arfa ‘aškur-ak ‘ezzaay」類	55

3.3 非言語の種類.....	59
3.4 アラビア語エジプト方言における非言語的な感謝表現.....	60
3.4.1 握手.....	60
3.4.2 身体接触（握手以外）.....	63
3.4.3 抱擁.....	66
3.4.4 「胸に手を当てる」動作.....	71
3.4.5 「悲しみ」の機能を果たす感謝の非言語コミュニケーション.....	73
3.4.6 「怒り」の機能を果たす感謝の非言語コミュニケーション.....	75
3.4.7 「会話の終了」を表す非言語コミュニケーション.....	76
3.5 本章のまとめ.....	78
第4章：日本語における感謝表現.....	82
4.1 日本語における感謝表現の先行研究.....	82
4.2 調査方法と収集したデータ.....	82
4.2.1 「ありがとうございます」類.....	82
4.2.2 「サンキュー」類.....	86
4.2.3 「ごめん」類.....	87
4.2.4 「すみません」類.....	88
4.2.5 「助かる」類.....	89
4.3 日本語における非言語的な感謝表現.....	92
4.3.1 抱擁.....	92
4.3.2 お辞儀.....	94
4.4 本章のまとめ.....	95
第5章：テレビドラマと映画に関する調査結果の分析と考察.....	98
5.1 意識調査とインタビュー概要.....	98
5.2 日本語母語話者の意識調査.....	101
5.3 エジプト方言話者の意識調査.....	104
5.4 両言語における感謝表現の類似点と相違点.....	111
5.4.1 感謝します/ mutšakkir.....	111
5.4.2 外来語の感謝表現.....	112
5.5 感謝の機能を持つ謝罪表現.....	113
5.5.1 日本語の用例.....	113

5.5.2 アラビア語エジプト方言の用例.....	113
5.6 日本語における「どうも」	114
5.7 アラビア語における命令の感謝表現	116
5.8 日本語における「お世話になる」の表現	116
5.9 調査結果のまとめ	117
第 6 章：感謝表現に対する文化の影響	122
6.1 感謝表現に対する宗教の影響	122
6.2 感謝表現としての「すみません」の使用	123
6.3 エジプト文化とイスラーム教徒.....	124
6.4 エジプト文化における「mersi」の言葉	126
6.5 「allaah」と「rabb-ina」の違い.....	126
6.6 日本文化におけるお辞儀とエジプト文化における抱擁と握手	128
第 7 章：ポラトネス理論の再検討	130
7.1 エジプト方言とその日本語訳との関係.....	130
7.2 感謝表現を使用する時のエジプト方言話者の思考過程	136
7.3 アラビア語学習者用テキストの検討	140
第 8 章：本論文のまとめと今後の課題	143
8.1 結論	143
8.2 今後の課題	145
参考文献	146
資料 I テレビドラマと映画の会話（アラビア語）	152
資料 II テレビドラマと映画の会話（日本語）	183
資料 III エジプト人に対する意識調査.....	199
資料 IV 日本人に対する意識調査	202
資料 V 感謝表現と関連する言語事象	204
資料 VI アラビア語文字表記	212

第1章：序論-研究背景と目的

1.1 研究の背景

我々は日常生活において感謝を表す言葉を使用している。いかなる社会においても、他人から恩恵と利益を受けたとき、「感謝する」という行為自体は世界共通に行われる表現であろう。

「感謝」とは“他者の道徳的行為に対する感情的反応”と定義されている(McCullough, Kilpatrick, Emmons, & Larson, 2001)。また、瞳・匡貴(2011:111)によると、「われわれは、他者から助けられたとき、何かを成し遂げたとき等、日常生活におけるさまざまな状況で感謝を感じる。また、そのとき経験する感謝は、“ありがたい”ものであったり、“申し訳ない”ものであったりと多様である」とされる。

感謝表現には人間関係を維持するコミュニケーション機能があると考えられる。殊に、日本においては、いつどのような相手に対して適切な感謝の言葉を用いるかは、聞き手と話し手の上下関係、ウチ・ソト、文化的背景などの要因にも深くかかわっている。

コミュニケーションは、言語の他、顔の表情や声なども非常に重要な要素であり、言語と同時に言語以外の様々な非言語が同時に働いている。

コミュニケーションにおいて、互いの文化が異なる場合、聞き手と話し手が相手側の文化の意味を理解できなければ、それぞれの文化における意味で齟齬が生じるであろう。

日本語とアラビア語エジプト方言にも類似点および相違点があるに違いない。そして、互いの言語を教える際には、言語の教育だけでは不十分であり、異文化教育が必要である。外国語学習者が文法や語彙を習得は非常に重要であるが、文化や社会言語的要素も理解する必要がある。

これまでの研究にも日本語における感謝表現と、日本語と他言語に関する感謝表現の対照研究が数多くあるものの、日本語とアラビア語エジプト方言における感謝表現に関しては十分な研究がなされていない。アラビア語エジプト方言はアラビア語文化圏の中でも重要な位置を占めており、対照研究によって得られる成果は言語研究ならびに言語教育に資するものであり、日本語母語話者アラビア語学習者とアラビア語母語話者日本語学習者が双方の言語を使用する際に生じる困難さを軽減することが期待できる。

同じ文化背景を持つ聞き手と話し手の場合でさえ、お互いを理解することは容易ではない。ましてそれが異なる文化背景を持つ者同士であれば、さらに難しくなる。したがって、第二言語学習者は語彙力のみならず、社会言語学能力と言語背景にある文化を習

得することが大切である。コンテキストにより、言葉のもつ意味が変わるため、相手の文化を十分に把握することが重要である。また、異文化コミュニケーションでは相違点が強調され、共通点や類似点が無視される場合が多い。

お互いの文化の相違点に加え、共通性にも注視することが不可欠である。アラビア語文化圏への留学または出張を経験し、帰国した者でさえ、アラブ人は「正直ではない」「言い訳が多い」と偏ったステレオタイプの意見をよく耳にする。また、日本人に接したアラブ人は、日本人に対して「曖昧」「不可解である」と言ったステレオタイプが形成されている。異なる文化背景を持つ者と接触する機会が生じた場合、他者を受け入れ、お互いに良い関係を築くことは必要である。

感謝は、場面によって適切な感謝表現が使用されることが重要である。日本語とアラビア語エジプト方言について考えると、感謝する場面においては、アラビア語エジプト方言では、感謝の気持ちを込めて「šukran」(ありがとう)のように相手に対して感謝表現を用いる場合がある。一方、日本語では目上の相手に対して「すみません」のような謝罪表現を感謝表現として用いる場合がある。このように、同様の感謝であっても、それぞれの言語で用いられる表現が場面によって異なる。加えて、日本語における感謝表現の中にはいくつかのタイプがある。例えば、相手に負担をかける場合、「すみません」という謝罪表現を用いる場合が多い。一方で、お祝いされたとき、「ありがとう」と言って感謝する。エジプト方言における感謝表現は「šukran」「šukran gaziilan」「šukran giddan」などのようなランクが見られる。

また、日本語の感謝表現では「ありがとう」と「ありがとうございます」が最も多く使われ、「すみません」「申し訳ありません」という謝罪表現にも用いられる言葉も感謝表現として使用されることが多い。相手に負担をかける場合、「すみません」と表現する場合が多い。一方で、お祝いされたとき、「ありがとう」と感謝する。つまり、場面によって感謝表現の使い方が異なる。エジプト方言の感謝表現では「šukran：ありがとう」の言葉が最も一般的な表現である。また、感謝表現としての「Jazakallah Khairan：神の恵みがありますように」はイスラーム教徒の特徴に深くかかわる言葉である。

日本語とアラビア語エジプト方言における断り、謝罪、依頼について行われた先行研究は、Brown and Levinson(1987) (以下、B&L) のポライトネス理論の観点から分析が行われてきたが、両言語における感謝表現についてポライトネス理論の観点からの分析は未だ不十分である。そこで、本研究では、両言語の背景にある文化的差異および、ポ

ライトネスの観点から感謝表現を考察し、両言語の異なりを明らかにする。そして、日本語教材とアラビア語エジプト方言教材の問題点を探る。

1.2 研究の目的

従来の対照研究では、日本語とアラビア語エジプト方言における謝罪表現の語用論的機能についての研究が行われているが、両言語における感謝表現の文化的差異は十分に研究されてこなかった。対照研究によって得られる成果は言語研究ならびに言語教育に資するものである。

本研究の目的は、以下のようになる。

1. 日本語母語話者とアラビアエジプト方言母語話者がそれぞれの言語を使用する際、場面ごとにとどのように適切な感謝表現を使い分けているのかを(1)～(5)の観点から解明すること。
 - (1) 感謝表現の機能
 - (2) 感謝表現の形式
 - (3) 人称・呼称と感謝表現との関係
 - (4) 外来語由来の感謝表現
 - (5) 感謝表現と文化的背景
2. 従来から言語研究に用いられてきた「ポライトネス理論」の再検討を行うこと。
さらに外国語学習にも触れたいと考えている。

1.3 本論文の構成

本論文は、全8章から成る。第1章である本章は、上記のように、研究内容と背景、研究の目的について述べる。

第2章では、語用論、ポライトネス、日本語とアラビア語エジプト方言における感謝表現に関する先行研究について整理する。

第3章では、エジプトのテレビドラマと映画における感謝表現を収集し、アラビア語エジプト方言での感謝表現の使用に関する説明を行う。特に、エジプト方言の中で使用される感謝表現とその機能について語用論的分析を行い、非言語的な感謝表現についても考察する。

第4章では、日本のテレビドラマと映画における感謝表現を収集し、日本語における感謝表現の使用について説明する。特に、日本語で使用される感謝表現とその機能について語用論的分析を行い、テレビドラマと映画の中に現れる非言語的な感謝表現についても考察する。

第 5 章では、意識調査とインタビュー調査の目的と内容について説明し、回答結果の分析を行う。感謝表現に関する両言語における類似点及び相違点を考察する。

第 6 章では、両言語における感謝表現に対する文化の影響を考察する。具体的に、エジプト文化と日本文化は感謝表現にどのような影響を与えたのかを検討する。

第 7 章では、ポライトネス理論を中心に、エジプト方言における感謝表現とその日本語訳との関係を再検討する。また、エジプト方言話者が感謝表現を使用する際の思考過程や、アラビア語学習者用テキストで使用されている感謝表現について分析する。

第 8 章では、本研究の内容と調査結果等のまとめと主なポイントの整理を行い、本研究の成果を明らかにする。また、今後の課題について述べる。

第2章：先行研究と研究枠組み

本章では、語用論、配慮表現とポライトネス理論について定義をまとめる。次に日本語とアラビア語エジプト方言における感謝に関する先行研究を整理する。

2.1 語用論に関連する先行研究

山岡ほか(2010)は、「語用論は、言語学において、発話の効力が発生するメカニズムを探究する学問である。すなわち、言語表現と伝達者および使用場面との関係を研究する分野である」と述べている。近年の感謝表現について、配慮表現の観点や、ポライトネス理論の観点から研究が数多く行われてきた。ここで配慮表現を定義すると、「対人コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられる言語表現」（山岡・牧原・小野 2010:143）と言える。三宅（2011）は、「プラス配慮とマイナス配慮」の概念を定義している。「プラス配慮」の言語行動は、「気配り」「思いやり」「丁寧さ」を含む言語行動を指す。「マイナス配慮」の言語行動は、無礼な態度と不躰なものいをする言語表現を指す。例えば、「相手の発言を無視する」という行為が含まれる。「傷つける、馬鹿にする」などのような態度と軽卑表現を含む言語行動である。また、配慮言語行動について、三宅（2011）は、言語表現の表面的な意味と、言語使用の意識とは必ずしも一致しないと主張している。例えば、謝罪の意味を表す「すみません」「悪い」などを用いて、感謝の気持ちを表す。特に、自文化の中で期待されていることばの使い方や行動を談話の中に無意識に使われるプラグマティック・トランスファーのように、配慮に関わるものは辞書上の意味と異なることが多いと指摘している。

続いて、ポライトネスを取り上げる。ポライトネスとは良好な人間関係を築けるように配慮して、会話の場面や関係性、状況などを考慮にして、言葉を適切に使い分けると定義されている。次に、ブラウン&レヴィソンのポラトネス理論とリーチのポライトネスの原理を示す。

Brown & Levinson (1987) は Goffman のフェイスの概念を引用し、ポライトネス理論を次のように説明している。人には相手とのコミュニケーションにおいて二つの基本的欲求があり、これがフェイスと呼ばれる。他人に受け入れられたい、好かれたいという欲求が積極的（ポジティブ）フェイス、他人に邪魔されたくないという欲求が消極的（ネガティブ）フェイスとされている。相手のフェイスを脅かさないようにポライトネスが用いられる。このような他者のフェイスを脅かす行為は（Face threatening act. 以下 FTA）と名付けられている。相手のフェイスを脅かす可能性のある行為(FTA)の重大さは次の公式によって見積もられるとされる。

FTA の見積もり公式

$$W_x = D(S, H) + P(S, H) + R_x$$

($W = D + P + R$ と表記することも多い)

$D(S, H)$ = 話し手と聞き手との社会的距離

$P(S, H)$ = 聞き手と話し手の相対的権力

R_x = ある行為 x の、特定の文化における押し付けがましさの程度の絶対的な順位付け(それぞれの重荷になる負荷の値)

一例として、「来てもらって助かった。荷物が多いから」では、「相手の行為の言及」「ものに対する言及」「理由を述べる」の直接触れないポジティブポライトネス表現も用いられた。つまり、会話とは、自分だけではなく、相手の心理的距離に対して丁寧さのストラテジーを考慮し、適切な表現を使用するということが重要だと言えよう。

Leech はポライトネスの原理について、自己と他者に及ぶ利益・負担などに配慮して行われる言語行動であると定義している。そして 6 つのポライトネスの原理 (Politeness Principle) を立証した。以下、Leech が提案した ポライトネスの原理の 6 つのカテゴリーである。

Politeness Principle

a. Maxim of Tact

.Minimize cost to other.

.Maximize benefit to other.

b. Maxim of generosity

. Minimize benefit to self.

. Maximize cost to self.

c. Maxim of Approbation.

.Minimize dispraise of other.

.Maximize praise of other.

d. Maxim of Modesty

. Minimize praise of self.

- . Maximize dispraise of self.
- e. Maxim of Agreement
 - . Minimize disagreement between self and other.
 - . Maximize agreement between self and other.
- f. Maxim of Sympathy.
 - . Minimize antipathy between self and other.
 - . Maximize sympathy between self and other.

(Leech 1983:132)

下記は小泉(2001:128)の日本語訳による。

- 1) Maxim of Tact (気配りの原則)
 - (a) 他者の負担を最小限にせよ
 - (b) 他者の利益を最大限にせよ
- 2) Maxim of Generosity (寛大性の原則)
 - (a) 自己の利益を最小限にせよ
 - (b) 自己の負担を最大限にせよ
- 3) Maxim of Approbation (是認の原則)
 - (a) 他者への非難を最小限にせよ
 - (b) 他者への賞賛を最大限にせよ
- 4) Maxim of Modesty (謙遜の原則)
 - (a) 自己への賞賛を最小限にせよ
 - (b) 自己への非難を最大限にせよ
- 5) Maxim of Agreement (一致の原則)
 - (a) 自己と他者との意見相違を最小限にせよ

(b) 自己と他者との意見一致を最大限にせよ

6) Maxim of Sympathy (共感の原則)

(a) 自己と他者との反感を最小限にせよ

(b) 自己と他者との共感を最大限にせよ

下記では、Leech (1983) と山岡・牧原・小野 (2010) の説明に基づいてそれぞれの原理を見てみよう。

(1) Maxim of Tact (気配りの原則)

気配りの原理とは、他者の負担を最小にし、他者の利益を大きくにするという意味になる。例えば、以下の例が挙げられる。

a. Enjoy your holiday. (休日を楽しんでください)

b. Hand me the newspaper. (新聞を渡してください)

c. Sit down. (座ってください)

(Leech 1983:107)

a から c の例はいずれも文の形式が同じであるが、発話内容が異なる。その内容は他者にとって利益と考えられるものから、負担と考えられるものを有する。つまり、聞き手にポライトネスの度合いが異なるということがわかる。3つの例の中から、a が最も聞き手の利益が大きい。b は c に比べれば、b は負担が大きいと考えられる。

また、聞き手の利益を大きくするについて、以下の例文が提示されている。

a. Answer the phone. (電話に出てください)

b. Will you answer the phone? (電話に出てくださいか)

c. would you mind answering the phone? (電話に出てもらってもかまいませんか)

(Leech 1983:108)

上記の3つの例を見ると、同じ発話の内容でも、丁寧さの度合いが異なる。つまり、a では、話者が相手に命令形になっている。b と c の発話は、b より c がより丁寧である。このように、異なった表現で他者の負担を減らすことができる。

(2) Maxim of Generosity (寛大性の原則)

寛大性の原則は、気配りの原理と異なり、主に話者を中心に設定される。換言すれば、自己の利益を減らすことで、相手の負担を軽減させるのである。

Could I borrow this electric drill? (この電気ドリルを借りてもいいですか?)

(Leech 1983:134)

上記の例では、ポライトネスであるとみなされる。つまり、話者が依頼をする際は、自分を話題にして、聞き手の負担を小さくすることができると言える。

(3) Maxim of Approbation (是認の原則)

是認の原則は、聞き手を中心にして、話者は他者への非難を減らし、他者への賞賛を大きくするという意味である。例えば、以下の例が挙げられる。

your performance was outstanding (あなたの演奏は素晴らしかった)

(Leech 1983:135)

上記の例は、話者が積極的に他者を賞賛して、褒め言葉を使っている。つまり、相手を喜ばせようとしている。

(4) Maxim of Modesty (謙遜の原則)

謙遜の原則は、自己の賞賛を最小にして、非難を最大にするということである。例えば、「何年経っても相変わらず日本語が下手」と言えば、控えめな発言となり、それにより自らを過小評価することになる。日本語が上手であっても、「私は日本語が上手だ」と言わないのである。

(5) Maxim of Agreement (一致の原則)

上記(1)~(4)の原理は、それぞれ話し手か聞き手を中心であったが、(5) Maxim of Agreement (一致の原則) は、会話参与者である話し手と聞き手の双方が中心となっている。一致の原則には、双方の発話内容について、できる限り意見が一致することが重要である。例えば以下の例文が挙げられる。

a: English is a difficult language to learn. (英語は習得が難しい言語)

b: True, but the grammar is quite easy. (そうだね、でも文法は簡単)

(Leech 1983:138)

b は a の意見に賛成しているが、部分的に異なった意見が含まれている。つまり、部分的に賛成は他者との衝突を避ける方法である。

(6) Maxim of Sympathy (共感の原則)

(山岡・牧原・小野 2010) によると「Leech が挙げた第 6 の原則が感情の表出に関わる共感の原則である」と論述している。他者との反感や反発を最小にし、共感を最大にするという意味である。例えば以下の例が挙げられる。

I am terribly sorry to hear that your cat died. (あなたの猫が亡くなったと聞いて心よりお悔やみ申し上げます)

(Leech 1983:139)

上記の例では、話者が相手の気持ちをわかって、共感を表している。

以上のように、ポライトネス理論は、対人つまり人間同士のコミュニケーションに焦点が当てられている。しかし、アラビア語における「アッラー」への感謝表現、特に「al-hamdu li-llaah」のような表現は、神への感謝や賞賛を示すものである。神と人間の関係は、人間同士の関係とは異なるため、ポライトネス理論の枠組みをそのまま適用するのは難しいと場合がある。アラビア語やイスラーム文化における神への感謝や賞賛の表現は、信仰や敬虔さの表れとしての側面が強く、これはポライトネス理論が主に取り扱う「face」の概念とは異なるものである。したがって、アラビア語の神への感謝表現をポライトネスの観点から分析するには、その文化的・宗教的背景を十分に考慮する必要がある。

もう少し関連することを述べておきたい。アラビア語ならびにエジプト語方言を取り上げた先行研究において日本語訳を付ける場合、語用論的に近い機能を持つ日本語を当てている。従来のポライトネス理論を適用すると、語用論的に近い機能を持つ表現を当ててことに問題はないように思える。本研究においてもその慣例に従うことが多かった。理解のしやすさや分かりやすさを優先すると、そうしたほうがよい場合も多い。しながら、本論文の第 7 章で問い直すように、アラビア語エジプト方言において特に「アッラー」の登場する表現は翻訳が可能なかどうか、疑わしい点がある。これは単に異文化間の翻訳不可能性の話ではなく、そもそも従来のポライトネス理論で説明されるのとは異なる思考過程を経て神の登場する感謝表現が選択されている可能性がある。この点については、第 7 章で詳しく検討したい。

2.2 日本語とアラビア語における感謝表現に関する先行研究

2.2.1 日本語における感謝表現に関する先行研究

熊取谷(1990)は、日本の「感謝」における表現交替現象とその社会言語学的モデルを明らかにした。交替現象は、「ありがとうございます」を「すみません」で置き換えることが可能であると指摘している。

また、聞き手との関係について考察している先行研究は、岡本(1992)、三宅(1993)、小川(1995)がある。これらの研究で共通している点は、感謝の場面では、聞き手が課長などの目上に対し、謝罪表現の方を多く使用する傾向がある。一方で、友人や家族に対して、「ありがとう」という感謝表現が多く使用される。

そして、小川(1995)はアンケート調査を通して、「すみません」の機能の分析及び「すみません」の使用場面を考察することを目的としている。アンケート調査では、社会人女性と社会人男性を中心にデータを集めている。調査結果としては、感謝の「すみません」使用、お詫びと感謝の「すみません」使用に関する点も、世代差があることが指摘されている。しかし、男女差は見られないということが明確になっている。また、森山(1999)では、お礼は聞き手からの利益の提供に伴う不均衡の修復であり、お詫びは聞き手へ損害を与えたことによる不均衡の修復であると指摘されている。

次に、「すみません」の機能に関しては、お詫び表現として多用されるが、若い世代は目上の相手に使い、軽い感謝の表現を表すということが明確になっている。山本(2003)は、ドラマのシナリオや日本語学習者用テキストから、「すみません」と「ありがとう」との使い分けを分析し、話し手に「自責の念」がある場合、「すみません」が用いられ、「感謝」の気持ちがある際は、「ありがとう」が選択されると指摘している。

次に、安(2005)は、感謝表現に関して、感謝表現というのは、人が他人からの恩恵を受けた際に行われた感謝を表すための言語行動であると定義した。

相原(2007)は、「この間はどうも」はあいさつ言葉になっており、感謝の心情を伴わなくてもよく、コミュニケーションの潤滑油のようなものであると主張している。

西尾(2012)は、日本語の配慮言語行動の社会多様性を考察した。言語の多様性研究から、配慮の示し方が日本語内でどのような多様性を持っているのかを、社会的な観点から検討している。感謝場面での対人配慮の表出に関わる機能的な要素の使用意識を分析対象とし、その意識の傾向には、世代差や性差だけでなく、地域差や居住地の社会環境

による違いがあることを明確にした。その分析から人間関係が希薄な都市部や、人間関係が濃密な非都市部における配慮言語行動の具体像が見られた。

2.2.2 日本語における感謝表現の例文

例(1)

吉門：御もてなし課にガッツがあるなら、『パンダ誘致論』をちょっと調べてみたら？

掛水：すみません、調べます。

『県庁おもてなし課』

例(2)

掛水：あ、すみません、こんな若造がお時間取らせまして。

清遠：いや、かまんかまん。

『県庁おもてなし課』

例(1)と例(2)には、「目上」に対し、「ありがとうございます」の代わりに、感謝の機能を持つ「すみません」が使用された。この場面では、相手の行為に感謝するばかりではなく、聞き手への負担に配慮されていることが明確である。この現象について、山本(2003)は、「日本人同士なら相手が自分と親しい関係とか、年齢が近い人だったら『ありがとう』を使い、年上や社会的地位の高い人なら『すみません』を使う」と指摘した。「感謝」の意味公式はB&Lから考えると、話者は「他者に評価されたい、好かれたい」という気持ちを表すものであるため、「ポジティブ・ポライトネス・ストラテジー」であると言えよう。

2.2.3 アラビア語エジプト方言の感謝表現に関する先行研究

谷口・榮谷(2011)は、アラビア語エジプト方言に関する感謝表現の語用論的機能について研究した。また、谷口・ハーネム(2016)は、エジプト方言におけるお詫び表現の使い分け、語用論的機能について概観した。谷口・ハーネム(2016)では、エジプト方言に、相手の行為が自分の利益になった場合、感謝表現の代わりに、お詫び表現が使われることを論じた。

Rehab(2010)は、アメリカ在住のエジプト人の日常会話を記録した。Rehab(2010)では、エジプト方言における感謝表現は様々な種類とストラテジーがあることを示している。話者は、同じ場面であっても、異なった様々な感謝表現を使用し、感謝の談話を非

常に長くする傾向があると指摘している。そして、感謝の談話の長さで相手に深く感謝していることを伝えようとする報告している。Rehab (2010) はエジプト方言の感謝表現において、アメリカ在住のエジプト人の日常会話を記録し、感謝表現の機能を次の(1)から(4)のカテゴリーに分類し、分析を行っている。①利益を受けた際の感謝、②会話の開始と終了、③相手の注目を引き付けるため、④相手と別れる際の挨拶である。

これからの先行研究では、日本とエジプトにおける感謝表現に関して、非言語の面からの分析がほとんど行われていない。したがって、本研究では、両言語における感謝表現を考察し、語用論・ポライトネス・言語・非言語について具体的に探求する必要があると思われる。

2.2.4 アラビア語エジプト方言における感謝表現の例文

アラビア語にも感謝の場面において「詫び表現」が使われる例が見られた。

次の例では、常に自分に対して献身的に接してくれるセイフ（男性）に対して、ハビーバ（女性）が、感謝をする場面である。

例(3)

habiba: mafliiff ana tafabtak mafaya men yo:m ma ?abelteni wenta

marra twaşalni we marra ansa mafa:k el afla:m fi elfarabeyya.

heyya ez-zuruuf keda. hazzak ba?a.

ハビーバ：私に会った日以来、あなたを疲れさせて、ごめんね。一回、私を送ったり、一回、あなたの車に映画のCDを忘れてたり。状況はこうだ。あなたの運（バッドラック）だ。

(谷口、ハーネム 2016)

上記の例では、ハビーバは、自分を送ってくれたり、忘れ物を取りに行ってくれたことについて感謝表現を使う代わりに、お詫び表現で感謝した。

例(4)

(A) motshakerren gedan, teslaam eedek, taabnaaki maana

rabena yekremek. mesh aarfa akool eih!

(B) Elafo ala eih, Abadan walahee ana maamaltesh ai

haga, da ento sharaftoona elnaharda!

(A) どうもありがとうございます。病気になりませんように。あなたに苦勞させて。
神の恵みがありますように。感謝しきれない。

(B) どういたしまして。私は本当に何もしていない。今日は来てくれて光榮に思う。
(Rehab 2010)

以上の例では、(A)は(B)に素晴らしいおもてなしとおいしい夕飯に感謝している。
上記、談話例(4)では、(B)が(A)を自宅に招待し、食事をご馳走した場面である。
話者は、謝罪表現で何回も感謝の気持ちを表したということがわかる。相手に感謝場面
において「mutšakkira giddan」「tislam 'iid-ik」という感謝表現が使用され、
「taabnaaki ma'aa-na」「あなたに苦勞させた」の「謝罪+使役」による感謝使用が用
いられた。

これらの謝罪を通じた感謝表現は谷口・ハーネム(2016)、Rehab(2010)においても
取り上げており、アラビア語と日本語の両言語において、利益を受けた側が謝罪表現を
通じ、感謝を表明する傾向は日本語と共通していることが明らかになった。

以上から、アラビア語エジプト方言の謝罪表現は「感謝」の機能としても用いられる
ことがわかる。特に「すみません」という表現が「感謝」の意味を表すということが明
らかになった。日本語の感謝表現の使用と配慮表現の関係性について語用論的分析を行
った研究としては、岡本(1992)、三宅(1993)、柏木(2015)などが挙げられる。
谷口(2014)では、日本語の「すみません」とエジプト方言の「ma'alesh」(ごめんな
さい)は感謝の機能がある点で共通していると述べている。これに対し、サルマ(2018)
では、小説の談話からエジプト方言母語話者には「感謝」の意味を表す謝罪表現が見ら
れないという結果が得られた。

本稿では、小説ではなく、映画とテレビドラマに現れた感謝表現を収集するため、新
たな結果が得られるのではないかと期待される。

2.3 非言語に関する先行研究

人はコミュニケーションを取る際、言葉以外にも、身振りや手振り、目線、声の大き
さや抑揚、姿勢などを使い、自分を表現したり相手の気持ちを読み取ったりする。しか
しこの非言語コミュニケーションは多くの場合、自分が意識していないまま自然と出て
しまうことが多い。

Hall(1959)は、『沈黙の言葉』で非言語コミュニケーション研究の重要性について唱

えた。また、Hall (1959) によれば、異なる文化に属する人々は、異なる言語を話すのみならず、重要なことは、異なる感覚世界に住んでいるということが指摘された。

また、¹(Birdwhistell, 1970 : 158)我々は会話においては、言語表現が (35%) であり、65%が非言語コミュニケーションであると言われている。

Albert Mehrabian (1972) は、「Silent Messages」を著し、コミュニケーションの中には、facial と vocal と verbal という三つの要素があると述べている。Mehrabian(1972) は、場面を設定し実験を行い、受け手は異なる情報をどのくらい受けとっているかを検討した。その結果、受け手が受けるメッセージ伝達に占める割合は facial (視覚情報) が 55%、vocal (聴覚情報) が 38%、verbal (言語情報) が 7%であり、非言語コミュニケーションの方が圧倒的に信用されるという結果を示し、非言語コミュニケーションが不可欠であるということを主張した。

そして、中村 (1996) は、言語以外には、表情や身振り、声の調子等により非言語コミュニケーションを表し、日常生活の 90%以上が非言語コミュニケーションで成立していると言及している。また、水沼 (2004) によると、言語表現に比較すれば非言語表現のほうが隠すことが難しいのである。それは、多くの場合、無意識に非言語行動を行っているからである。対人コミュニケーションの主な担い手は送り手と受け手である。送り手は自分の伝えたいメッセージを伝達するために、様々な方法を使用する。しかし、メッセージが伝達されただけでなく、受け手がメッセージの内容を理解したかどうかによってコミュニケーションは成立つと考えられる。

鈴木 (2014) は、相手の意図と感情を把握するために、顔のみならず、体全体を使って、コミュニケーションするのが必要であると主張している。つまり、我々人間はコミュニケーションを取る際には、言葉も重要であるが、非言語コミュニケーションを理解する必要がある。

「人の気持ち」は言葉によって伝えることができるが、言葉以外の手段、例えば表情や視線、ジェスチャー、姿勢、身体接触や音声などの非言語行動によっても伝えることができる。しかし、鈴木 (2014:6) は、「非言語行動は意図的に表出することもできるが、自分では気がつかないうちにある行動をとっていることもあり 自分では意図していてもある行動を表出し、相手はその行動を「解読」しまうこともある。人間関係形成における非言語行動の難しい側面でもあり、同時に興味深い側面でもある」と述べている。そして、非言語行動の中でも、人と人とが精神的にも身体的にも接触をするというのは人間相互のコミュニケーションの中で力強い情報伝達手段であり、お互いへの影

¹ Birdwhistell (1970, pp. 157-158) には、次のように書かれている。 "Our present guess is that in pseudo statistics probably no more than 30 to 35 percent of the social meaning of a conversation or an interaction is carried by the words."

響が大きいという（鈴木、2014）。これに関して、Marjorie F.Vargas(1987)は、親密な人間関係の場合は、身体接触がコミュニケーションの一部として利用されている。共感、愛情の気持ちを示すに、身体接触が大切であると主張している。また、Morris(2002)は、人間は不安や恐怖を感じている場合に、相手によって抱きしめられたり、手を握ってほしかったりすると述べたように、人間は触覚を通して満足感や慰安感を求めている。相手に触れることによって相手に伝達できるメッセージは数多くある。

このように親子関係に限らず、人と人とが身体的に「ふれる」というのは人間関係の中には非常に重要であり、お互いへの影響があり、人間相互のコミュニケーションにおける非常に重要な情報伝達手段である（鈴木、2014）。

以上より、人間は「触れられる」ことを通して満足感や慰安感、愛情を感じるため、身体接触はコミュニケーションの中でもっとも力強い手段だと言える。

久保田（2009）では、テレビドラマをアップし、大学生にそれを聞かせ、言語と非言語メッセージの関係を分析させることで非言語コミュニケーションの役割を理解させる授業実践を考察した。感情の表出の結果は、「表情と沈黙が非言語の中で一番言葉に近いものだと考える。表情にいたっては、言葉よりも素直な心情が現れていると思う」というような答えが得られた。すなわち、「非言語コミュニケーション」を通じて、自分の伝えたいことが相手により伝わりやすくなると考えられる。

伊礼（1997）は、人間社会における非言語コミュニケーションの性質と機能について述べ、次のように考察した。

- (1) 非言語シンボルにおいては様々な解釈があり、意味を共有するのは困難である。たとえば、笑顔は一般的に好意を表すと考えられている。しかし、笑顔は不穏な感情を隠すための笑顔、他人に対する非好意的な感情を気付かれないための意図的な笑顔だという意味を表す場合もある。
- (2) 非言語メッセージの送信は継続的であり、送信者と受信者が対面している場合中断されない。たとえば、就職の面接において、受験者の視線、姿勢、声、抑揚などの非言語シンボルから意味を読み取り、受験者の性格を総合的に評価する。
- (3) 非言語コミュニケーションでは、多くの非言語シンボルが複数のチャンネルで同時に送信され、情報が伝達される。例えば、他人と握手する時、握手の握力、皮膚の温度などの皮膚感覚から他人の性格を判断する。
- (4) 非言語シンボルは無意識的に送信されることが多いため、意識的に伝達される言語のみならず、送信者の感情を反映することもある。人が怪我をした場合、たとえ友人に「大丈夫です」と言ったとしても、その人の表情は非言語的な痛みのサインを送る。

(5) 同様の非言語的サインでも、文化的地域によって異なる意味を表す。例えば、「人差し指と親指で輪を作り、他の3本の指を伸ばすサイン」は、日本では「お金」を意味するが、アラブ人は相手に対する「敵意」を表現する。

以上より、正確にコミュニケーションを行うためには、「言葉」以外の、非言語コミュニケーションである「声の調子」「顔の表情」「態度」が言葉の信頼性に大きく影響を与えるということが明確である。また非言語コミュニケーションの手段は、国や文化、民族などによって異なる解釈がなされる場合が多いということであるから、誤解されることが多い。

磯ら(2003)は、非言語コミュニケーション「うなずき、笑顔」が、討論条件と親密条件の二つの話題の場面で、どのような印象をもたらすのか研究を行った。うなずきの場合は、会話満足度と肯定的な印象をもたらした。これに対し、笑顔は親密条件では肯定的な印象をもたらすが、討論の条件では会話満足度を低下させることが報告された。

大坊(2005)によれば、人は自分の気持ちや考えを何らかの形で他人に伝え、相手の反応を解釈し、自分の意図と一致させ、対人関係を管理するとしている。送られたメッセージと受信されたメッセージ、文化に由来する規範に基づいて共通の信号によって交換される。このように、他者と対話するとき、自分のメッセージを上手く表現し、他者のメッセージを正しく受信する。このプロセスでは、多くの心理的および社会的な要因が働いている。また、非言語コミュニケーションは他人に応じたレベルの親密さを反映する。親密さが増加すると、相手への愛情及び、関心も増加する。したがって、相手との親密さをどのように深めていくのが非常に大切である。

すなわち、言葉のみならず、非言語コミュニケーションにも着目してコミュニケーションを捉えると、言葉の裏に隠れた相手の感情に気づくことができ、相手への深い理解につながる可以考虑される。また、親密さを示すために、非言語コミュニケーションが重要な役割を果たしている。好意を持つ相手には、近くに座ったり接近したりする行動が好まれる。これに対し、好意レベルが低い相手には、距離を置いたり、このような表現が減ったり傾向がある。

次に、アラブ人の非言語コミュニケーションに関して、Alaaeldin(2018)は、次のように説明している。アラビア語母語話者は、相手に対する、表情、握手やキスなどのような非言語コミュニケーションを行う。しかし、適切な握手またはキスがうまくできなかつたら、相手に不快感を与えてしまう。例えば、男同士の場合は、初対面の挨拶としては握手が基本的であるが、相手の手を握る力加減が重要な要素である。Alaaeldin(2018:36)は、「相手の手を強く握れば、威嚇だと思われる可能性がある。一方、握る力が弱いと「弱い人」または、「相手は自分より目上だと認めている」という

意味になりかねない。男性と女性の場合、もっと慎重になる必要がある」と述べている。イスラーム教徒の女性の中には男性と握手しない人が多い。しかし、男性は女性と握手するときには、常に弱い力で握手する。

以上の点を踏まえ、日本語の感謝表現に関わる先行研究では、感謝場面における「すみません」の使用また、「ありがとう」「すみません」の使い分けなどの考察が多かった。しかし、これに対して日本語における感謝表現の機能及び、非言語感謝表現をテーマにした研究はまだ少なく、取り上げられた領域もまだ限定的であると思われる。

また、アラビア語エジプト方言の感謝表現の種類を考察した研究がある。ハーネム(2021)では、日本語教育に向けたアラビア語エジプト方言における感謝表現の考察をした。しかし、語用論的な機能また、非言語感謝表現について触れられていない。そして、両言語における感謝表現の機能と非言語を考察した研究は言及されていない。

2.4 本論文の研究方法

まず日本語及びアラビア語エジプト方言のテレビドラマや映画で使用されている感謝表現を収集する。次に、話し手・聞き手の関係を通して両言語で現れた感謝表現の使用を語用論の観点から分析を行う。テレビドラマと映画の中に現れる非言語的な感謝表現も考察する。テレビドラマや映画の選択する際には、最近のテレビドラマや映画を中心として、会話の場面が自然であり、世代差が観察できることを基準とする。また、視聴率の高いテレビドラマと映画を主に選ぶ。視聴率の高いテレビドラマと映画は、人々に影響に与える可能性が高いと考えられる。また、教科書の中にも感謝表現と感謝場面の例が見られる場合があるため、教科書にあらわれる感謝表現も参考にする。

本研究で収集したデータは、言語・非言語の面から分析した。基本的な日本語とアラビア語エジプト方言における感謝表現の共通点と相違点を明らかにすることが本研究の目的の一つである。また、一部の場面では、感謝表現の機能が不明であるため、意識調査を採用し、これについては本章で考察する。以下に、データ資料の内容を説明する。

データ資料の説明：

感謝表現の資料について、場面数は、日本語は 166 場面であり、アラビア語エジプト方言は 174 場面である。

収集したテレビドラマと映画は、表 2-1 の通りである。

表 2-1 エジプトのドラマ及び映画の情報

ドラマ・映画名	日本語訳	種類	制作年
Abu elarosa	花嫁のお父さん	連続ドラマ	2017
Leh la	もちろんさ	単独ドラマ	2021
Albaad layazhab lelmaazon martin	ある人はマウズーン ² に二回行かない	映画	2021
Torab elmas	ダイヤモンドダスト	映画	2018
Hepta	ヘプタ	映画	2016
Welad Rezq	レズキの息子たち	映画	2015

"Abu elarosa"花嫁のお父さん

花嫁のお父さんというドラマは、40話である。制作年は2017年。ソーシャルファミリーテレビドラマと見なされ、家族の問題、特に中流階級について語る。このテレビドラマは困難な生活からエジプトの公務員が直面している問題を捉えている。選択基準は、長いドラマであり、自然な会話が多い。多くの感謝表現も出てきた。

"Leh la"もちろんさ

テレビドラマ「もちろんさ」は、(全12話)である。制作年は2021年。眼科医の女性「ナダ」は、子どもを養子にすると、家族や周りの人々、知り合いにいじめられ、多くの問題に直面する。しかし、ナダは養子にした子どもを大切に育てあげる。

"Albaad layazhab lelmaazon martin"ある人はマウズーンに二回行かない

制作年は2021年。この映画では、アナウンサーを職業とする主人公「カーリド」は、結婚関係の専門家である「ソラヤ」と結婚している。しかし二人の間には日々の生活における絶え間ない問題が起こっている。カーリドはテレビ番組のコメディイアの枠組みで、夫婦間の多くの問題について話す。

"Torab Almas" ダイヤモンドダスト

2010年に小説として発行された。2015年まで連続してベストセラー小説であり、2018年に映画として公開された。ストーリーとしては、父親と一緒に住むタハという若

² イスラーム教上では婚姻離婚契約書を締結する係の人の呼び名。

者が薬学部を卒業し、製薬会社で医療広告の代議員及び、薬剤師として働いていたが、ある日家に帰ると父が殺されていた。最愛の父が殺され、怒りに燃えるタハは復讐を決意し、犯人探しを始める。その過程の中で父の思いもかけない秘密を知り、葛藤するが、最後には犯人に復讐をする。

"Hebta" ヘプタ

2014年に最優秀小説のタイトルを獲得し、2016年に映画として公開された。この映画は感情的な関係の7つの段階について語っている。ストーリーとしては、心理学者であるオサマ博士は、最後の講義を行い、この講義を通して、愛がどのように起こるかを説明する。具体的に、四つの異なった恋愛の物語を通じて、恋愛に関する7つの段階を説明している。

"Welad Rezq" レズキの息子たち

制作年は2015年である。この映画は「Welad Rezq」は、何があっても別れないと誓い合った5人の兄弟が、貧しさを理由に、犯罪の道を歩みについて語っている。

第3章では、エジプトのテレビドラマや映画から収集した感謝の表現を、次の表にまとめた。日常会話で頻繁に使用される表現であるから、これらの表現を選択し、分析した。10人のエジプト方言話者にインタビューしたところ、次のような表現が日常会話で使われるという回答を得た。

表 2-2 アラビア語エジプト方言における感謝表現

感謝表現の種類	表現
šukran 類	šukran šukran gaziilan šukran giddan
mutšakkir 類	mutšakkir mutšakkira mutšakkiriin
rabb-ina yiḥallii-k 類	rabb-ina yiḥallii-k (男性形) allaah yiḥallii-k (男性形) rabb-ina yiḥallii-ki (女性形)

kattar ḥeer-ak 類	kattar ḥeer-ak (男性形) kattar ḥeer-ik (女性形)
mersi 類	mersi mersi 'awi mersi giddan
ḥabii-bi 類	ḥabii-bi (男性形) ḥabi-bti (女性形)
tislam 'iid-ik 類	tislam 'iid-ak (男性形) tislam 'iid-ik (女性形)
深い感謝類	laazim ti'bal il-'awwal 'inni 'atšakkar-ak miš-'arfa 'aškur-ak 'ezzay 'umr-i ma-hansa wa'aafit-ik di ma'aa-ya ṭuul 'umr - ak šaḥib waagib
al-ḥamdu li-līlaah 類	al-ḥamdu li-līlaah 'ana baḥmad rabb-ina

表 2-3 日本のドラマ及び映画の情報

ドラマ・映画名	種類	制作年
グッドモーニング・コール	連続ドラマ	2016
万引き家族	映画	2018
海街 diary	映画	2015
記憶屋	映画	2020
花束みたいな恋をした	映画	2021

(1) 『グッドモーニング・コール』

2016 年制作。両親の都合で、中学卒業までの残り約半年を 1 人で暮らすことになった吉川菜緒。ところが引っ越しの当日、なぜか別の男の子もその部屋に入ってきた。しかもその部屋に住むのは自分だから出て行くように言われてしまう。実は 2 人が契約した不動産屋は 1 つの物件を 2 人に貸して仲介手数料を持ち逃げしており、しかも家賃が本来の半額であるかのように装って不当な契約を結ばせていた。男の子はその格好良さゆえに中学で有名な上原久志。実は 2 倍であった家賃を単独で払うことが出来ず、いずれも頼ることのできる人がいなかった。2 人は、やむを得ず同居生活を始めることになった。

(2) 『万引き家族』

2018 年制作。万引きという犯罪を通して繋がっていく家族の物語を「誰も知らない」「そして父になる」の是枝裕和監督がオリジナル脚本で映画化。

(3) 『海街 diary』

2015 年制作。鎌倉に暮らす三姉妹は父と母が家を出て行ってから祖母と 3 人で暮らしてきたが、父の葬式でもう一人の妹すずに出会う。主人公「すず」は、14 年前に家を出ていった父が残した娘であった。そして 3 人ではなく 4 人になった姉妹の新たな生活が始まり、家族の絆が深まっていく姿を描く。

(4) 『逃げるは恥だが役に立つ』

2015 年制作。大学院を出ながらも就職難で派遣社員になった森山みくり（25 歳）は、派遣切りに遭い、無職の身となってしまう。求職中の娘を見かねた父は、津崎平匡（36 歳）の家事代行の仕事を取り付ける。そして、2 人は「雇用主と従業員」という関係の契約結婚という道を選ぶ。結婚式も挙げず事実婚という体で周囲への挨拶を乗り切ったみくりと平匡だが、周囲に親近感を出そうとするうちに、2 人の間に本当の恋愛感情が芽生える。夫が妻を従業員として雇う契約結婚で恋愛感情は生まれるのか、というテーマの社会派ラブコメディである。

(5) 『記憶屋』

2020 年制作。ある日突然、恋人から忘れ去られてしまった大学生が、人の記憶を消すことができるという都市伝説的な存在「記憶屋」の正体を追う。

(6) 『花束みたいな恋をした』

2021 年制作。ある晩、終電に乗り遅れた大学生の山音麦(菅田将暉)と八谷絹(有村架純)は、東京・京王線の明大前駅で偶然出会う。お互いに映画や音楽の趣味がよく似ていたこともあり、瞬間に恋に落ちた二人は大学卒業後、フリーターとして働きながら同居を始める。ずっと一緒にいたいと願う麦と絹は、今の生活を維持することを目標に、就職活動を続ける。

以上 (1) から (6) の日本のテレビドラマと映画を扱った。

さらに、2023 年 5 月に 10 人の日本語母語話者にインタビューを行い、「日常会話の中で、どのような感謝表現を使用しているか」を調査した。その結果、次の表 2-4 に示

す感謝表現が現れた。

表 2-4 日本語における感謝表現

感謝表現の種類	表現
ありがとう類	ありがとうございます ありがとうございました ありがとう
お世話になります類	お世話になります お世話になりました 大変お世話になりました
助かる類	助かります 助かりました
感謝と謝罪類	ごめんありがとう どうもすみません
謝罪類	ごめん すみません すいません すみませんでした
どうも類	どうも どうもありがとう

本研究で取り上げた日本のテレビドラマや映画では、「いただきます」や「ご馳走様」の食事挨拶が頻繁に使用されており、日本語母語話者にインタビュー調査を行ったところ、多くの回答者がこれらの表現が感謝表現として使われていると回答した。しかし、再度 2023 年 5 月に 10 人の日本語母語話者を対象に「日常会話において頻繁に使用される感謝表現は何か」というインタビュー調査を行ったところ、回答者からは「いただきます」や「ご馳走様」といった表現が出てこなかったため、本文から削除し、資料 VI で追加する。

データ資料の説明：

調査したテレビドラマと映画は、以下の通りである。

エジプト方言のテレビドラマと映画：

"Abu elarosa"花嫁のお父さん《テレビドラマ》	40話 24時間36分
"Leh la"もちろんさ 15話《テレビドラマ》	7時間45分
"Albaad layazhab lelmaazon martin"ある人はマウズーンに二回行かない《映画》	1時間30分
"Torab Almas" ダイヤモンドダスト《映画》	2時間30分
"Hebta" ヘプタ《映画》	2時間
"Welad Rezq"レズキの息子たち 《映画》	1時間40分
	合計：40時間1分
	場面：102 データ：174

日本語のテレビドラマと映画：

『グッドモーニング・コール』17話《連続ドラマ》	12時間46分
『逃げるは恥だが役に立つ』11話《テレビドラマ》	10時間
『記憶屋』《映画》	1時間45分
『万引き家族』《映画》	2時間
『海街 diary』《映画》	2時間8分
『花束みたいな恋をした』《映画》	2時間4分
	合計：30時間43分
	場面：116 データ：166

表 2-5 両言語におけるテレビドラマと映画の視聴本数

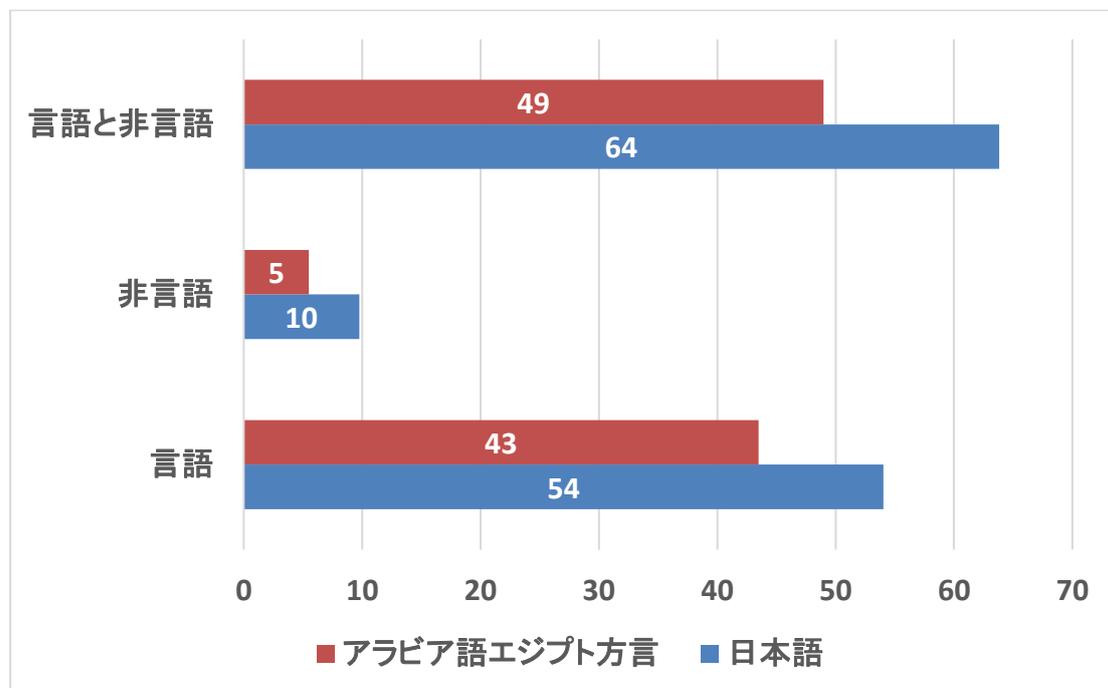
言語	テレビドラマ	映画	合計
日本語	2	4	6
アラビア語エジプト方言	2	4	6

表 2-5 は、データ収集のために筆者が視聴したものを示した。アラビア語エジプト方言と日本語のテレビドラマや映画の視聴本数である。両言語の映画はそれぞれ 4 本、テレビドラマはそれぞれ 2 本である。各言語のテレビドラマと映画の合計は 6 本である。

表 2-6 日本語とアラビア語のテレビドラマや映画における放送時間

言語	テレビドラマ	映画	合計
日本語	22.77	7.95	30.72
アラビア語	32.35	7.67	40.2

表 2-6 のように、両言語における映画の放送時間はほぼ同じである。しかし、アラビア語エジプト方言のドラマは、32.35 時間であるのに対して、日本語のドラマは 22.77 時間である。そこで、10 時間単位での感謝表現数を次のグラフで示す。



グラフ 2-1 : 10 時間単位での感謝表現数

上記のグラフ 2-1 には、両言語における感謝表現（言語・非言語）の平均値を示した。感謝表現（非言語）の場合、日本語は 10 回であった。一方で、アラビア語エジプト方言は、5 回であった。日本語感謝表現（言語）は、54 回であるのに対して、アラビア語エジプト方言（言語）は、43 回であった。

第3章：エジプトのテレビドラマと映画における感謝表現

3.1 アラビア語エジプト方言

アラビア語には、正則の言葉と、口語の言葉の二種がある。まず、正則の言葉とは、アラブ諸国で使用されるアラビア語の書き言葉で、聖典クルアーン、現代の文学、学校教育などで使われる正式なアラビア語のことを指す。これに対して、口語の言葉は、日常会話で用いられる話し言葉を指す。エジプト方言はアラビア語会話体の方言の一つである。アラブの国で共通語はアラビア語だが、それぞれの国に方言がある。それぞれの方言には発音が異なっている部分も少なくない。例えば、エジプトのカイロやアレキサンドリア他では ja・ji・ju の代わりに ga・gi・gu となり、文語の文章を音読する時にも「j」ではなく「g」で読むということが多い。本稿でも、エジプト方言における感謝表現の例として、「šukran gaziilan」（ありがとうございます）・「mutšakkir gidan」（どうもありがとうございます）の表現が現れた。エジプト方言とくに、カイロ方言には「j」が「g」の音に替わって「g」になる。しかし、「gaziilan」と「gidan」は、正則アラビア語には、「g」が「j」の音に替わって「ジーム」と発音する。

筆者がエジプト方言を選んだ理由は二つある。一つ目はエジプト方言話者の立場として会話において正則の言葉ではなく口語の言葉で話すこと、二つ目は本研究では語用論の観点から分析を行うので、話し言葉が必要であると考えたからである。

アラビア語の文語体と会話体（エジプト方言）は次のように異なっている。

エジプト会話体

例(1)： (アーイズ アークル ラハマ) عايز اكل لحمه

ほしい 食べる 牛肉

日本語訳： (肉が食べたい)

アーイズ (能動文司)

アークル (動詞・未完了)

文語体

例(2)： (ウリード アン アークル ラハマ) اريد ان اكل لحمه

ほしい こと 食べる 牛肉

日本語訳 (肉を食べんと欲す)

ウリード (ほしい・動詞・未完了)

アン (こと)

アークル (食べる・動詞・未完了)

3.2 調査方法と収集したデータ

本章では、エジプト方言について、日常会話に近いエジプトの現代ドラマ及び映画の談話を分析し、発話のデータを収集した。ドラマ及び映画を選択する際、現代のみのものに限定した。以下に提示する。

3.2.1 「mutšakkiriin」類

語源："تشكروين" 「mutšakkiriin」はアラビア語で、動詞 "شكر" 「šakara」の現在分詞形 "شكور" 「maškoor」から派生した形容詞 "تشكر" 「mutšakkir」に、"يِن" (iin) 接尾辞を追加して作られた複数形である。「šakara」は「感謝する」という意味を持つ。

文法：「mutšakkiriin」は、アラビア語の形容詞の複数形です。「mutšakkir」が単数形で、「يِن」 「iin」が複数形の接尾辞である。次の例文に「mutšakkiriin」の表現が現れている。

場面 1

الطلبط: نهضزل واخل الى ال لختب
لفلتاة: لختب مين؟ ل ا عم ليش حاجة
الطلبط: عم ليش حاجة لبتشوى موظف عمش ارطيل عملك شهادة ي د بنك من راجل غدر بلوه وعم ليش حاجة.
الطلبط: ممتشكرى نيا لفتاة ذ عدال حميد
mutšakkiriin
عدال حميد بتشكرنى على لى ميس . ده واجى

場面 1 (翻訳)

喫茶店で公務員と女性と警察官の談話である。

場所：喫茶店

警察官：静かに警察署に一緒に来て。

女の人：警察署って何?! (驚いている) 私は何もしていない。

警察官：何もしていない? 父親以外の男性から息子の出生証明書を発行するために、公務員に賄賂を贈ったことが、何もしていないといえるのか?!

警察：アブドイルハミードさん、ありがとうございます。

mutšakkiriin ya 'ustaaz 'abdi-lḥamiid

[分詞・男複] [呼びかけ] [名詞・男単] [固有名詞]

感謝している ～先生 アブディルハミード

ありがとうございます、アブディルハミードさん

男性：感謝する必要はない。これは私の義務だ。

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

この例は、女性は公務員に「父親以外の男性から自分の息子の出生証明書を発行したい」と依頼し、いくらでもお金を支払うと申し出た場面である。公務員が同意し、喫茶店で落ち合い手続きを済ませ、支払いを女性に伝えた。そこで、男性（アブドイリハミード氏）は警察に連絡した。女性は何も知らないまま喫茶店まで行き、お金を出したところに警察が来た。警察は相手から利益や恩恵も受けていると感じ「mutšakkiriin」（ありがとうございます）という表現で感謝している。場面（1）では、「mutšakkiriin」は単数ではなく、複数形である。単数は「mutšakkir」である。「mutšakkir」はもともと強調能動分詞であり、名詞の「šukran」より深く感謝をしているという意味がある。また、この場面で、男性は「どういたしまして」ではなく、「感謝する必要はない、これは私の義務だ」と発話している。つまり、積極的に「他者に思われたい、評価されたい」という自分のポジティブ・フェイスを満たしている表現であると考えられる。このような意味では、「自己への賞賛を最小限にせよ」の原則を満たした発話となる。

3.2.2 「tūl ‘umr-ak šaahib waagib」類

この表現は、エジプト社会でよく使われている。誕生日パーティーや結婚式などで、相手からプレゼントをもらった時に、使われることが一般的である。このような場合で、「tūl ‘umr-ak šaahib waagib」という表現で相手に対する感謝の気持ちを表す。言語的には、以下のように分析する。

「tūl」は（～じゅう）を意味する。「‘umr-ak」は「あなたの人生」という意味を表す。「šaahib」は「持ち主」を意味する名詞である。「waagib」は「義務」や「責任」の意味を表す。「šaahib waagib」は、（義務を負う人）という意味になる。エジプト方言話者は「waagib」（義務ある人）という表現を使用することで、相手に対する感謝の気持ちと同時に、その人の責任感を讃える意味が込められていると考えられる。

場面 2

أ: طي حاج عم أنا مشقولك بتصل شيا على الصبح كدة . أنا
ب: طول عمرك صاحب واجب

場面 2 (翻訳)

二人の男が道端で会話している。

A: 「朝早く私に電話しないで」と言ったじゃないか？知り合いではなかったら、答えなかっただろう。

B: そうだね！あなたは生きている間義務を負っている。

tuul 'umr - ak ṣaahib waagib

[前置詞] [名詞] - [単二男] [名詞] [名詞]

じゅう- 人生 -あなたの 持ち主 義務

あなたが生きている間、義務を負う（一生、恩に着ます）

以上の例では、BがAに朝早く連絡してきたことに、Aが非常に怒っている場面である。Bが使用した表現は感謝として使われているが、この場面では皮肉として使われている。Bは、Aに怒られて、皮肉を込めた言い方で「tūl 'umr-ak ṣaahib waagib」という表現を使っている。皮肉な意味合いで言われる。Bの答えは丁寧さの原理における謙遜の原則（他者への非難を最小限にせよ）を違反を利用した表現であると言える。

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

3.2.3 「šukran」類

「šukran」³は、アラブ社会において広く用いられている感謝の言葉である。日本語に翻訳すると「ありがとう」となる。一般的には、「šukran」という表現は友人や家族などの身近な人との会話で用いられる。しかし、幅広い層および場面で使うことができるため、文脈によって使い分ける必要がある。例えば、目上の人に対しても「šukran」という表現を使用し、感謝の意を示すことができる。また、上司や先輩から助言や指導を受けたりした際に、「šukran」と言って感謝の気持ちを表すことができる。この場合、「šukran」の後に「giddan」（非常に）という副詞を用いることもある。この副詞は、「šukran」（ありがとう）の後に付けて使われることで、感謝の気持ちをより強調し、感謝の深さを表現するために使用される。以下に例文を示す。

³ エジプト方言に、「šukran」（ありがとう）は身分に関係なく、誰にでも使用できる。しかし、場面によって異なる場合が少なくない。例えば、年上・目上に対して「šukran li ḥadretak」（ḥadretak=貴方様）という表現があり、日常会話にはよく使われている。「ḥadretak」【男性・単数】丁寧な呼びかけで、「貴男様」。

「ḥadretik」【女性・単数】丁寧な呼びかけで、「貴女様」。「ḥadartukum」は【複数】丁寧な呼びかけで「貴方様方」である。単数の相手にこの複数形で呼びかけると単数よりも尊敬表現として強くなる。「ḥadartukum」は、ビジネスメールでより使用される。

場面 3

بينة بي اويت هك اني طفنى يسرقش ال موبيل . هعيش من غير ال موبيل ازاي !
ا شكر اوبلتى شكرا

場面 3 (翻訳)

携帯電話が盗まれ、女性が泣いている場面である。

娘：私の携帯電話を盗む代わりに私を誘拐したほうがいいのに。携帯がないとどうやって生活するのか（泣いている状態）

お母さん：ありがとうお姉さん。ありがとう。

šukran ya sitt-i šukran

[名詞・対格] [呼びかけ] 女-私の 感謝 [名詞・対格]

感謝 私の女よ 感謝

「ありがとう、お姉さん、ありがとう」

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 (3) は、お母さんと娘と 50 代の女性の 3 人の場面ある。50 代の女性が、泣いている若い女性の姿を見て彼女のところまで行った。そして、若い女性はすぐに 50 代の女性に「あなたの携帯電話を使ってもいいですか」とお願いをして、お母さんに連絡して、携帯が盗まれたことを伝えた。お母さんは娘のところにかけて、娘を落ち着かせようとしている。同じ場面で、母親は「šukran」（ありがとう）を二回続けて口にしている。しかし、この場面では「šukran」というより、「本当に助かった」という表現のほうが適切である。50 代の女性がわざわざ若い女性に、自分の携帯まで使わせたからである。友人や家族に気軽にお礼を伝える時や、レストランでのお会計の後など、カジュアルな場面では「šukran」という表現が多く使われている。「šukran」は感謝表現として使われているが、非常に軽い表現で、相手のポジティブなフェイスを満たしていないと言えよう。

3.2.4 「ḥabiib-i」類

「ḥabiib-i」は、「私の愛しい人」という意味を表す。アラブ社会で広く使われる愛情表現の一つで、様々な場面で使用される。例えば、恋人同士や夫婦同士がお互いに使用することが多く、また友人や家族間でも使用されることが多い。次に示す場面 (4) に見られる父と息子の会話が挙げられる。

場面 4

ا : م م عملت شطرتي فخلشي امرزوق واوعيتك ديبيا حبيبي بتوعنى لك مش نفع عملك دقتلى.
بن : أوعدك
ا : طبي . قأولك مادام وعتنى أنا هجلك الينظلون

場面 4 (翻訳)

息子は家族の許可なく出かけ、帰宅すると家族の罰から逃れるために失明していると嘘をついた。父親は彼を医者連れて行ったが、医者は彼が元気で、視力が完璧だと言った。しかし、息子は嘘を続けていた。ある時、父親は彼をショッピングモールに連れて行き、あなたが買いたかったズボンを買おうと思うが、私は別のズボンを考えている。息子はこの話を聞くと、すぐに「いいえ私はこれが欲しい」と指を指して言った。父親は息子が嘘をついていることを確認した。

お父さん：間違える事を恐れてはいけません。絶対嘘はつかないで。こんなことをもう二度としないと約束してくれる？

息子：約束する。

お父さん：じゃ、帰ろうか。あ、待って。約束してくれたからほしいズボンを買ってあげるよ。

息子：私の愛しい人 (息子はお父さんを抱きしめた)

ḥabiib-i ya baaba

[名詞]-[単一] [呼びかけ] [名詞]

私の愛しい人 (～よ) パパ

私の愛しい人、パパよ (パパ大好き)

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 (4) では、息子は欲しかったズボンを、お父さんが買ってあげると言ったら、「ḥabiib-i」の表現とともにお父さんを抱きしめた。

3.2.5 「al-ḥamdu li-llaah」 「rabb-ina yihallii-ki」 「allaah yihallii-k」 「tislam 'iid-ik」 類

「al-ḥamdu li-llaah」は、アラビア語で「アッラーにすべての称讃あれ」という意味である。これはイスラーム教徒がよく使用する表現で、神への感謝を表す。

文法的には、「al-ḥamdu li-llaah」は、冠詞「アル (al)」+「称讃 (ḥamdu)」+「神に (lillah)」の意味になる。「al-ḥamdu li-llaah」の表現が、アラブ社会では頻繁に使用される。

「al-ḥamdu li-llaah」という表現には、三つの異なる訳し方が可能である。一つ目は「アッラーに全ての称賛あり」、二つ目は「称讃はアッラーのもの」、そして三つ目は「アッラーに全ての称賛あれ、すべての事象は神様がお与えになったもの」という意味になる。本研究では、「アッラーに全ての称讃あり」という訳を採用する。「al-ḥamdu li-llaah」の宗教的な背景については第6章で詳しく述べる。

「rabb-ina yihallii-ki」の表現は、「rabb-ina」、「rabb」（主）と、「-ina」（私たちの）「yihallii」（置く・動詞、未完了）、そして「-ki」（代名詞・女性・あなたを）から構成されている。

「allaah yihallii-k」はアラビア語で、「アッラーがあなたを長生しますように」という意味である。一般的に相手に良いことを願う場合に使われる表現である。「allaah yihallii-k」は「感謝」「依頼」の機能としても使用される。「allaah」は（神）という意味であり、「yihallii」は（残す）という動詞、「k」は（あなた）を意味する代名詞である。

「allaah yihallii-k」「rabb-ina yihallii-k」という表現には、二つの異なる訳し方が可能である。一つ目は「アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように」、二つ目は「長生しますように」という意味になる。本研究では、「アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように」という訳を採用する。

「tislam 'iid-ik」は、感謝の表現として一般的に使用されている。「'iid-ik」は（あなたの手）という意味を持つ。直訳は「あなたの手が安全でありますように」となるが、「ありがとう」という意味になる。日常では、誰かの努力や行動に対して感謝の気持ちを表すときに使われる。その他、誰かが食事の準備をしたとき、仕事を手伝ったとき、または仕事を終えたときなど、さまざまな状況で使用できる。

場面 5

ا : إزيك؟
 بينة 1: ال حمد
 ا : مالك نة كدة تهي؟
 بينة 2: نة عشان مهيلها
 ا : حديزغل عشان مهيل مئسرق. ال حمد. ال مئسرق عشان تخفي وتوكزي
 بينة 1: بيلها الشيخ إزيك لى مئسرق شالك ده .
 ا : طبخ ص. او (مهيل جييد)
 بينة 1: يه ده؟ ده لى مراللى كان معليا . صبي ويبيلا

場面 5（翻訳）

携帯が盗まれた後、父親は娘を落ち着かせようとしている。

父親：元気？

娘 1：おかげさまで

al- ḥamdu li- llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

称賛 に- 神

アッラーに全ての称讚あり（おかげさまで）

父親：何がそんなに悲しい？

娘2：携帯が盗まれたから悲しい。

父親：携帯電話を盗まれて、怒っている人がいる？盗まれたからおかげさまで。勉強できるから。

ḥadd yiz'al 'ašaan muubaayil-oh itsarra'

[名詞] [動詞未完了・単三男] [接続詞] [名詞]-[単三男] [動詞完了・単三男]

だれか 怒ろう ため ケータイ -彼の 盗まれた

自分のケータイが盗まれたからって、誰か怒るのか？

al-ḥamdu li- llaah 'inn-oh itsarra'

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞] [主題]-[単三男] [動詞完了・単三男]

称賛 に- 神 それは 盗まれた

'ašaan ti'rif-i tirakkiz-i

[接続詞] [動詞未完了・単二女] [動詞未完了・単二女]

～のため 知る 集中する

おかげさまだ、お前が集中を知るために、それは盗まれた

（よかったじゃないか、お前が集中するようにと、それは盗まれたんだ）

娘：お父さん！アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように、この話をやめてくれる？もう本当に怒っているから。

baaba allaah yihallii - k

[名詞] [名詞] [動詞未完了・単三男]-[単二男]

パパ 神 残すように- あなたを

パパ、アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように

'ana mddaayi'a balaas il- kalaam dah

[単一] [能動分詞・女単] [副詞] [冠詞]-[名詞] [指示詞]

私 機嫌が悪い 全く ことば この

私は本当に傷付いている、そのことば（そのことば、本当に傷付く）

父親：わかった。わかった。これ！（新しい携帯電話を買ってあげた）。

娘：え？本当？すごい！持っていた携帯電話よりもこのほうがいい！私の大切なパパ(娘はお父さんを抱きしめた)

'eh dah.

[疑問詞] [指示詞]

何 これ

dah 'aḥla min illi kaan ma'aa- ya.

[指示詞] [形容詞比較] [前置詞] [関係代名詞] [動詞完了・単三男] [前置詞]-[単一]

これ より良い より の だった と- 私

私これ? これは私が持っていたものより良い (これは以前のものより良い)

ḥabiib-i ya baaba

[名詞]-[単一] [呼びかけ] [名詞]

愛しい人-私の (～よ) パパ

私の愛しい人、パパよ (パパ大好き)

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 (5) は、娘はお父さんから新しい携帯電話をもらった際に、自分の喜びを率直に表している場面である。自分の心中の気持ちを相手に表明することで、相手が自分に対して良いことをしてくれたと評価している。気持ちを表す表現は、「ありがとう」と言う言葉より、非言語を使用したほうが感謝の意を強く表明できる。場面 (5) では、感謝表現は「al-ḥamdu li-llaah」「al-ḥamdu li-llaah」「allaah yihallii-k」「ḥabiib-i ya baaba」の 4 回あり、それぞれに意味が異なる。まず、お父さんは娘の具合をたずねた時、娘は悲しい声で「al-ḥamdu li-llaah」(おかげさまで) という表現で返事をした。これは、話者が自己の悲しみを表現している。エジプト人は体の具合が悪い場合にもこの表現を使っている。次に、お父さんも「al-ḥamdu li-llaah」という表現を用いるが、異なった意味となり、お父さんは携帯電話が盗まれたことを強調していると解釈できる。そこで、娘が「allaah yihallii-k」(長生きしますように) という表現でお父さん(ほっといてください) という願いをしている。「allaah yihallii-k」(長生きしますように) は、単に「ありがとう」という感謝の意味だけでなく、(お願いします) という依頼時にも使われる。この場面では、依頼の機能を持ち、(お願いします) という意味として使用されているということがわかった。

場面 6

لفتاة: بفضلكوا.
الزبون يتسلم طلبك.

場面 6 (翻訳)

女性はお客様にコーヒーを出す

女性: どうぞ。

お客様(男性): お手数かけました。

tislam 'iid- ik

[動詞未完了単三女] [名詞]-[単二女]

安全である 手- あなたの
あなたの手が安全であるように「お手数おかけします」

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 7

أ: بلصرت تبصر احيى لكين هو ش غول بس قتلش يخلص.
ب: بين اخل اكي اع ماد.

場面 7 (翻訳)

男性同士の会話である。(B)がアメリカに行きたいがビザが取れない。(B)が(A)にビザ手続きを手伝ってあげてほしいと、他の友達に連絡した。

(A)：友達に連絡したが、今のところ「忙しい」と言っている。でも、心配しないで彼は手伝ってくれる。

(B) アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように

rabb- ina yihallii- k ya 'imaad

[名詞]-[複一] [動詞未完了・単三男]-[単二男] [呼びかけ] [固有名詞]

主-私たちの 残す- あなたを (～よ) イマード

主があなたを残すように、イマードさん（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 8

ل طنتاة: أ ل ف ب ه ر و ك .
ال ش اب: بين اخل اكي .

場面 8 (翻訳)

女性と男性の会話である。男性の娘の婚約式

女性：おめでとうございます。

男性：アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように

rabb- ina yihallii- ki

[名詞]-[複一] [動詞未完了]-[単二女]

主-私たちの 残す- あなたを

主があなたを残すように（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 9

أ: ع ه ب ن ت ح ط ع م .
ب: ط ع م س و ر ي ق ي !

ج بعلها ! في سوريا فيفتح مطعمين في؟ لهد مطعم سوريا.
 ب يبين يبيشوف إذاكلوا بي علهواش اورم . لصل لب موتف سوالش اورم لسوريا.
 أبتكرم عنك عمى بلفرة الصبح أهيلك لعلى سن دوتشش اورم.
 ب: الله لى يخالهك.

場面 9 (翻訳)

男性が三人である。

A: もうすぐ、レストランを開く。

B: シリア料理店かな？

C: お父さん！当たり前だろう。シリアから来たよ。レバノン料理店を開くの？（皮肉）
 もちろんシリア料理店。

B: シャワルマを作るかどうか確認したかったよ！シャワルマが大好きだから。

A: そう言ってもらえてうれしい、おじさん！明日シャワルマサンドイッチを持っていく。

B: アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように。アッラーがあなたに長生きを
 与えてくれますように

allaah yihallii- k allaah yihallii- k

[名詞] [動詞未完了・単三男]-[単二男] [名詞] [動詞未完了・単三男]-[単二男]

神 残す- あなたを 神 残す- あなたを

神があなたを残すように（繰り返し）（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 10

لفنتاة: طبأ ه حضر العشا.
 الشراب أوعيت على كدة وفاء لصلها ميتويلى على العشا وأما قد درش لى من غيرها.
 لفنتاة بتام . لى ت .
 الشراب: بينوا لى.

場面 10 (翻訳)

女性と男性

女性：晩御飯の準備をする。

男性：いいえ、いいえ、そんなことをしないで！ワファー（妻）が待っているから。彼女がいないと晩御飯が食べられない。

女性：オッケー。ようこそわが家へ。

男性：アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように。

rabb- ina yihallii- ki

[名詞]-[複一] [動詞未完了]-[単二女]

主- 私たちの 残す- あなたを

主があなたを残すように（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 6 について、ねぎらいの表現として「tislam 'iid-ik」を使用することが多い。つまり、わざわざ自分でコーヒーを用意し、出すというのは、感謝の気持ちでいっぱいであることが読み取られる。

場面 7 から場面 10 では、自分に利益がある場合、「allaah yihallii-k」「rabb-ina yihallii-ki」（長生きしますように）という表現を用いている。「相手へのプラス評価」のポジティブなポライトネス表現の使用が好まれ、話者は相手の幸運を願うという行為を通じて、感謝を表明している。「allaah yihallii-k」「rabb-ina yihallii-ki」の原義は、ともに（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）。「アッラー」はイスラーム教における全知全能の唯一神であり、天地万物の創造主である。聖典クルアーンには、神様を指す言葉は二つに分かれ、「allaah」「rabb-ina」である。そのため、日常会話には、相手の幸運を願う時は、「allah」または「rabb-ina」が使用できることが明確である。「allaah」と「rabb-ina」の違いについては、後述の第 6 章において宗教的な視点から言及する。

上記の「tislam 'iid-ik」「rabb-ina yekrema-k」「rabb-ina yihallii-ki」の表現は、必ずしも相手から何らかの行動をしてもらった時に使うとは限らず、「おめでとう」と祝辞を受けたときや、「わが家へようこそ」と招かれたときの返事として「rabb-ina yihallii-ki」を使用する場面が見られた。また、「tislam 'iid-ik」等に関しても、同様に相手から受けた行為に対する返事として使用されるケースも見られた。

場面 11

عبدالحميد : إييك ؟
غلد:ال حمد .
عبدالحميد: ازی أمك واخوتك ؟
غلد:ال حمد
عبدالحميد: إنل تمام ؟
غلد:ال حمد

場面 11 (翻訳)

アブドイリハミード：元気？

カーリド：おかげさまで。

アブドイリハミード：お母さんと兄弟は元気？

カーリド：おかげさまで。

アブドイリハミード：すべて大丈夫？

カーリド：おかげさまで。

al- ḥamdu li- llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

称讃 に- 神

アッラーに全ての称讃あり（おかげさまで）

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 12

بنة: إزكلم؟
بن: ال حمد
ا: عاملة بي هي اؤينة؟
بنة: ال حمد يا صبيتي كويسة.
ا: إزكلم؟
بنة: ال حمد.
ا: عاملة بي هي اؤينة؟
بنة: ال حمد يا صبيتي كويسة.

場面 12 (翻訳)

母親と娘と息子の会話である。

娘：元気？

息子：おかげさまで。

母親：元気だよ、ダーリン。あなたは？

娘：おかげさまで、ダーリン元気。

父親：元気？

娘：おかげさまで

父親：ゼナは元気？

娘：おかげさまで、ダーリン。元気。

al-ḥamdu li- llaah ya ḥabibt- i kuwayyisa

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞] [呼びかけ] [名詞・女単]-[単一] [形容詞・女単]

称讃 に- 神 (～よ) 愛しい人- 私の 良い

アッラーに全ての称讃あり、愛しい人よ、良い（おかげさまで、[私は]元気です）

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 13

بن بيلبا .. في سوسن صا صنفى ال مدرسة .
أ : أياكيا سوسن؟
سوسن: ال حمد .
أ قولطى يبقى لولد ده مش بيحب بيروح ال مدرسة ليه ؟
سوسن: ازاي اعمو , ده هويحقول لمي موتفي ها .

場面 13 (翻訳)

父親と息子と息子の友達

息子：お父さん、サウサンちゃん、一緒に同じ学校で勉強している友達

父親：サウサン、元気？

サウサン：おかげさまで。

al-ḥamdu li- llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

称讚 に- 神

アッラーに全ての称讚あり（おかげさまで）

父親：この子は、どうして学校に行きたくないの？

サウサン：え？そんなことはない。彼は学校が大好きだと言っている。

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 14

عيدة: كلاللى عينا 2000 جوي مولس الك ميا واليه وال دروس .
عبدالحميد: صري عيدة خ ص. عينا هوللى ي شريها مش اجا.
عيدة: ال حمد .

場面 14 (翻訳)

母親のカバンが盗まれた。カバンの中には 1,750 ポンドあり、そして、それは母親のお金ではなく、他の人のお金である。お金がないから、心配して父親と話していた。

アイダ：私たちの全財産は 2,000 ポンドだよ。しかも、また子どもの塾、電気代と水道代！

アブドイリハミード：大丈夫だよ、アイダ。大丈夫。私たちじゃなくて、アッラーに任せる。

アイダ：おかげさまで。

al-ḥamdu li- llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

称讚 に- 神

アッラーに全ての称讃あり（おかげさまで）

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 15

يكن: الحمد لله يا ام ا. اللفظ طهي إنص خكسوت أحمون. ولا حمد؟ الحمد؟ إجم لمفويت حمون على ع؟ جيسر ع؟
ا؟ الحمد لله على كل حال الحمد لله.

場面 15

母親と息子の会話。

息子：おかげさまで、お母さん。医者によるとお母さんの健康状態は快方に向かっている。おかげさまで、おかげさまで、お母さんの具合はきっとよくなる。

al-ḥamdu li- llaah ya⁴ maama

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞] [呼びかけ] [名詞]

称讃 に- 神 (～よ) ママ

アッラーに全ての称讃あり（おかげさまで）、お母さん

id-duktuur ṭamm- ini

[冠詞]-[名詞] [動詞完了・単三男]-[単一]

医者 安心させた- 私を

'inn ṣiḥḥat-ik ba'at 'aḥsan

[接続詞] [名詞]-[単二女] [動詞完了] [形容詞比較]

～と 健康-あなた(女)の なった より良い

医者はあなたの健康が良くなったと私を安心させた

wa- l- ḥamdu li- llaah al- ḥamdu li- llaah

[接続詞]-[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞] [冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

そして- 称讃 に- 神 称讃 に- 神

そしてアッラーに全ての称讃あり アッラーに全ての称讃あり

gism- ik biyṭḥassan 'ala- l- 'ilaag bi- sur'a

[名詞]-[単二女] [動詞進行] [前置詞]-[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

体- あなたの 良くなるどころの上- 治療 で- 速さ

あなたの体は治療で急速に良くなっている

⁴ 「ya」とは、アラビア語とアラビア語エジプト方言で呼びかけの意を表すのに用いられ、多くの場合呼称及び愛称の前に使われる。そして、エジプトでは、ファミリーネーム等の使用率は約 30%と低く、個人名が最も多い。

母親：すべてのことをアッラー（神様）に感謝している。おかげさまで。

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 16

عبدالحميد: علي دفتق رض يوافق عليه .
عليه بجد؟ ال حمد ال حمد ال حمد .
عبدالحميد: اجا بينا م علي اي عليه .
عليه: ال حمد ال حمد .

場面 16 (翻訳)

夫婦の会話である。

アブドイリハミード：アイダ！融資がもらえる！

アイダ：本当？おかげさまで。おかげさまで。おかげさまで。

al- ḥamdu li- llaah al- ḥamdu li- llaah al- ḥamdu li- llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞] [冠]-[名] [前]-[名詞] [冠]-[名] [前]-[名]

-称讃 に- 神 -称讃 に- 神 -称讃 に- 神

アッラーに全ての称讃あり アッラーに全ての称讃あり アッラーに全ての称讃あり

アブドイリハミード：アッラーは傍にいるよ、アイダ。

アイダ：うん。おかげさまで。おかげさまで。

al- ḥamdu li- llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

称讃 に- 神

アッラーに全ての称讃あり（おかげさまで）

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 16 では、話者は一つの会話内で「al-ḥamdu li-llaah」を 5 回続けて発話している。ここで直接に感謝される対象は神である。

「al-ḥamdu li-llaah」は二つの意味を有する。一つは（アッラーに全ての称讃あり）という意味で、日本語の「おかげさまで」に相当する。つまり神への感謝を表す表現だが、日常会話では「おかげさまで」という意味合いで使われる。知人と出会った時、そして毎日会っている人に対しても、まず調子はどうかと尋ねる。親しい間柄であれば、その後、家族の近況などについても触れる。「al-ḥamdu li-llaah」はその返事に用いられる。

もう一つの意味は「すべての事象は神様がお与えになったもの」である。例えば、試験に合格した時にも、病気から治った時にも、奨学金をもらったときなどの幸運に対して

「al-ḥamdu li-llaah」と言う。また、「病気になったとき、悲しいときなど」という被害を受けたことに対しても、「al-ḥamdu li-llaah」の表現が用いられる場合がある。

この表現が病気や困難な状況に対して用いられる背後には、イスラーム教の信仰と観念が存在する。イスラーム教では、アッラー（神）の意志が全ての出来事を支配していると信じられている。したがって、どんな出来事もアッラーの許しと計画に従ったものであるとされる。病気や困難な状況もその一環であり、アッラーが人々に試練を与えるための方法の一つとされている。そのため、「al-ḥamdu li-llaah」という表現は、アッラーが与えた試練に感謝し、それを受け入れる姿勢を示すものとして用いられる。また、イスラーム教では、困難な状況や苦難を通じて信仰心が養われ、個人の精神的な強さが養われると信じられている。このような試練は、信者にとって精神的な成長やアッラーへの信頼を深める機会とされている。

3.2.6 「kattar ḥeer-ik」類

「kattar ḥeer-ak」は、アラビア語で「あなたの豊かさが増えますように」という意味であり、エジプト人が感謝を表す表現としても使用される。例えば、相手が何か良いことをしてくれた場合に、「kattar ḥeer-ak」を使い、感謝を表現する。「kattar」（増やした・単三男）「ḥeer」（豊）-「ik」（あなた・女）である。

場面 17

عبدالحميد : مش لخير دهي الخمية . لفتنر خيركواضى .

場面 17 (翻訳)

携帯電話での会話

アブドイリハミード：それは、たくさんだよ、ガリヤ。あなたの豊かさが増えますように。

神様よ、あなたはとても寛大です（自分に話している）

miš kitiir dah ya ḡalya

[否定] [形容詞] [指示詞] [呼びかけ] [名詞]

～ではない 多い これ ～よ ガリヤ

これはたくさんではない[か]、ガリヤ

kattar ḥeer- ik yaa 'uḥt-i

[動詞完了・単三男] [名詞]-[単二女] [呼びかけ] [名詞]-[単一]

彼は増やした 良い事-あなたの ～よ 姉妹- 私の

[神が] あなたの豊かさが増えますように、私の妹よ（あなたがより豊かになるように）
(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 18

أ: عماد أخ عزيز علي الهلى مو عزيزه عياليه .
ب: لفتن مخيرك. صاحى عزيزي يفر أموكا .

場面 18 (翻訳)

事務室で三人の男性がいる。

A: ワリードは親愛なる弟。私にいくら頼んでもやる。

B: あなたの豊かさが増えますように。友達はアメリカに行きたい。

kattar heer- ak

[動詞完了・単三男] [名詞]-[単二男]

彼は増やした 良い事-あなたの

[神が] あなたの豊かさが増えますように（あなたがより豊かになるように）

ṣaḥb- i ‘aayiz yisaafir ‘amriika

[名詞]-[単一] [能動分詞] [動詞未完了・単三男] [名詞]

友人- 私の 欲する 彼が旅立つ アメリカ

私の友人がアメリカに行きたがっている

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

上記の例は、話者は女性の従妹からお金をもらい、相手に金銭的な負担をかけた場面である。ここでは、話者は相手の幸運を願い、感謝を表明している。「kattar heer-ak」の意味は「あなたの豊かさが増えることを願います」という文字通りの訳だが、意識をすると、話者は相手に対し、「あなたの身にたくさんの良いことが起こることを祈ります」という意味になる。

場面 19

عبدالحميد: ألو. طيو عيفلندم. ؟! كاتر خى ركيفلندم. شكرا جنى شكرا جنى.
إنش؟ □! المفرة كون عود حنرتك بشكرا. بشكرك جدا.

場面 19 (翻訳)

携帯電話での会話である。銀行員はアブドイリハミードに連絡して、銀行は融資をすることに同意した。

アブドイリハミード：もしもし。はい。本当？

あなたの豊かさが増えますように。本当にありがとうございます。本当にありがとうございます。 インシャアッラー、明日行きます。ありがとう、ありがとうございます。 失礼します。

'aalu 'aywah y- afendim

[間投詞] [間投詞] [呼びかけ]-[名詞]

もしもし はい ~よ- 大将

もしもし、はい、大将 (目上の男性)

wa- llaahi kattar heer- ak y- afendim

[前置詞]-[名詞] [動詞完了・単三男] [名詞]-[単二男] [呼びかけ]-[名詞]

にかけて- 神 増やした(単三男) 良さ-あなたの ~よ- -大将

本当に、[神が] あなたの豊かさが増えるように、大将 (目上の男性)

šukran gaziilan šukran gaziilan

[名詞対格] [副詞] [名詞対格] [副詞]

感謝 非常に 感謝 非常に

ありがとうございます、ありがとうございます

'in šaa' allaah bukra 'akuun 'ind ḥaḍratak

[接続詞] [動詞完了] [名詞] [副詞] [動詞未完了・単一] [前置詞] [名詞]

もし 望んだ 神 明日 私はなろう のところ あなた様

もし神が望んだら、明日私はあなた様のところにいましょう

(確かに、明日まいります)

šukran mutšakkir giddan

[名詞対格] [能動分詞・男単] [副詞]

感謝 感謝している とても

ありがとう、大変ありがとう

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

上記の場面 19 では「kattar kheerak」「mutšakkir」「šukran gaziilan」「šukran」「mutšakkir giddan」が使われている。「mutšakkir」はあまり親しくない間柄で使用されている。「mutšakkira」と発話することで感謝を表明している。「mutšakkir」「šukran gaziilan」「mutšakkir giddan」のような表現は相手に重い負担をかけた場合や、特別に深い感謝を伝えたい場合に使用する。このように、感謝には複数のストラテジーが含まれているということがわかった。そして、何回も感謝表現の繰り返しが行われ、感謝の談話を非常に長くする傾向がある。Rehab (2010) は、エジプト方言における感謝場面について、同じ場面であっても、話者は異なった様々な感謝表現を使用し、感謝

の談話を非常に長くする傾向があると報告している。本研究でも Rehab (2010) と同様の傾向が見られた。

3.2.7 「疲れさせた」類

「wa-llaahi makaanš liiya lazma it-ta'b dah」は、日本語に直訳すると、(本当に、こんな面倒なことを私のためにしてはいけなかった) という意味になる。この表現はエジプト人が相手から贈り物をももらった場合に、感謝表現として使うことが多い。相手の親切な心遣いに感謝することを表現するために使用される。「wa-llaahi makaanš liiya lazma it-ta'b dah」は、エジプト人にとってポジティブな意味合いを持つ表現である。

場面 20

أ: والله مكشايه مةالتعب دها .
ببتعب لي ميس . بيه حاجت بي سطة . كان فيس ي أعمل أكثر من كدة .
أبتعمل بيه؟ لنت مةالك مفسر ووضت عمل حاجة .

場面 20 (翻訳)

男性二人の会話である。B は A の娘さんの婚約式に出席し、プレゼントを渡した。

A は B にプレゼントを渡した。

A : 本当に疲れさせたね。そんなことをする必要はない。

wa-llaahi

[前置詞]-[名詞]

にかけて- 神

makanš lii lazma it-ta'b dah ya malaak

[動詞完了否定] [単一与格] [名詞] [冠詞]-[名詞] [指示詞] [呼びかけ] [名前]

なかった 私に 義務 -疲れ この ~よ マラーク

神に誓って、私のためにこの疲れの義務はなかった、マラークさん

(実に、こんな面倒なことを私のためにしてはいけなかった)

B : 気に入ってもらえるといい。もっとしたかったのに。

A : 何を?! これ以上はいらないよ。

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 20 では、男性同士は親友であり、旧知の仲である。気持ちを表す表現は、「ありがとう」ではなく、「本当に疲れさせ」という表現によって感謝の意を強く表明している。相手がわざわざお金や手間をかけて、プレゼントを用意してくれた。その目的は自分を喜ばせることであると理解しており、喜びを相手に表明することが感謝表現として機能する。A は、満足な行いをしたにもかかわらず、「もっとしたかったに」と自分

を非難している。これは、ポライトネスと配慮表現の観点から、行動に関わる原則として記述する際に「自己への非難を最大限にせよ」にあてはまる。

場面 21

أقبل مقولتي أكرم أنت في شو أفضني . تقبل لي بشكرك .

ب: طعنا عمري ما هاهنا بظلموس بي ه .

場面 21 (翻訳)

男性が二人。A が B のタクシーに乗って、タクシーの中に大金を忘れてしまい、B が A にこの金を返した。

A: アカラム! あなたが私を救ってくれたことについて話す前に、感謝を受けなければならぬ (お金をあげる)。

B: いいえ、無理。このお金は絶対に受け取れない。

'abli ma 'a'ul- lak ya 'akram
[前置詞] [接続詞] [動詞未完了・単一]-[与格単二男] [呼びかけ] [名詞]
～前に 私が言う- あなたに ～よ アクラム

'inta min šuu 'anqazt- ini
[単二男] [前置詞] [疑問詞] [動詞完了・単二男]-[単一]

あなたは から 何 あなたは救った 私を

laazim ti'bal 'inni 'atšakkar- ak

[能動分詞] [動詞未完了・単二男] [接続詞+単一] [動詞未完了・単一]-[単二男]

義務だ あなたが受け入れる 私が～だと 感謝する- あなたに
アクラム、君が私を救った人だと言うより前にまず、君は受け入れなければならぬ、私が君に感謝しているということを

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

「救ってくれた」のような表現は、相手によってもたらされてきた利益や恩恵などを受けて、自分にとって良い結果を得たということを表明するものである。そして、「laazim ti'bal 'inni 'atšakkar-ak」(感謝を受けなければならぬ)という表現からは、「感謝の必要性の表明」のポジティブなポライトネス表現が用いられたということがわかる。それに対し、(お金をあげる)という行為は相手のポジティブなフェイスを脅かすと見られている。A は「理由」について説明する前に、感謝の気持ちを表している。上記の場面 (21) では、A はシリア人で、B はエジプト人である。(A)は自分のお金が返金されたので、B に謝礼を出した。この場合のポジティブ配慮は、相手の尊厳と関係強化を重視していると言える。

3.2.8 「mersi」類

3.2.8.1 「mersi」類（感謝の機能）

「mersi」はフランス語で「ありがとう」という意味である。エジプトは、長年にわたりフランスとの関係が深く、また多くのエジプト人がフランス語を学んでいるため、フランス語が広く使用されている。日常会話においても、「mersi」のみならず、他のフランス語の表現が広く浸透しているためとも考えられる。

場面 22

لفتناة: أنا فزل فا مىوى أوى
الشاب □ □ على طيه

場面 22（翻訳）

女性と男性の会話である。女性はタクシーを呼びたいが、携帯電話の電池が切れてしまった。友達の携帯電話をかり、タクシー呼び、二人でタクシーに乗った。

女性：ここで降りる。どうもありがとう。

男性：いいえ、いいえ。

mersi 'awi

[間投詞] [副詞]

メルスイ すごく

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 23

لفتناة: مىوى أوى كرم.
الشاب: على طي بسر يلى.
لفتناة: لك وصلينى . مىوى أوى

場面 23（翻訳）

女性と男性の会話

女性：どうもありがとう、アカラム。

mersi 'awi ya 'akram

[間投詞] [副詞] [呼びかけ] [名詞]

メルスイ すごく ～よ アクラム

アカラム、すごくメルスイ

男性：何のため？

女性：送ってくれたから。どうもありがとう。

mersi 'awi

[間投詞] [副詞]

メルスイ すごく

すごくメルスイ

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 24

ا : لتي زلتى اخوتك من غير طار ؟
بنة : جوتول في امام ! انا عمرى اعمل كدة ؟ عملت هم طبع الهم دوشات .
ا بيلس على كيدي انا اجر . مفيش فيك تقيين .
بنة : ميسى اعدال حيني اصبى .

場面 24 (翻訳)

父親、母親と娘

母親：あなたの兄弟は朝ご飯を食べないで学校に行ったの？

娘：私はこんなことをしないはずでしょう？もちろんサンドイッチを作ってあげた。

父親：あなたのような人はいない！ハーガル（父親は娘を抱きしめた）

娘：ありがとうアブドイリハミード（ダーリン）。

mersi ya 'abdi -lḥmiid ya ḥbiib-i
[間投詞] [呼びかけ] [名詞] [呼びかけ] [名詞]-[単一]
メルスイ ~よ アブデイルハミード ~よ 愛しい人-私の
アブデイルハミード、[私の好きな人]、メルスイ

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 25

ا : من: نطال كدة انا عملت لى عليا .
وليد بشكري انا من . ميسى اصبى .

場面 25 (翻訳)

男性同士の会話である。

アイマン：できることはすべてやったと思う。

ワリード：ありがとう、アイマン。ありがとう、ダーリン。

tuškar ya 'ayman mersi ya ḥbiib-i
[動詞未完了受動・単二男] [呼びかけ] [名詞] [間投詞] [呼びかけ] [名詞]-[単一]
あなたは感謝されよう ~よ アイマン メルスイ ~よ 愛しい人-私の
君は感謝される、アイマン、メルスイ、ダーリン

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 22 および 23 は、女性が男性に車で送ってもらった。相手への負担があった行為

女性：本当に本当にありがとう、スンドス校長。

mersi 'awi 'awi 'awi ya madaam sundus
[間投詞] [副詞] [副詞] [副詞] [呼びかけ] [名詞] [名詞]
メルスイ すごく すごく すごく ~よ マダム スンドゥス
すごく
メルスイ、スンドゥスさん

校長：どういたしまして。

女性：thank you so much. 本当にありがとう。ありがとう。どうもありがとう。

thank you so much
mersi ya fandim šukran giddan
[間投詞] [呼びかけ]- [名詞] [名詞対格] [副詞]
メルスイ ~よ - 大将 感謝(対格) 非常に
メルスイ、大将、大変ありがとう

校長：どういたしまして。どういたしまして。それでは。

女性：失礼します。

Why not 『もちろんさ』

場面 27

ندى : جرب كذبة اللبضارة به
المريض : اهكذت مام عيسى جديب ج
ندى بتحت امرك تحت امرك

場面 27 (翻訳)

眼科でナダは患者を診ている。

ナダ：この眼鏡はいかがですか。

患者：結構です。本当にありがとう。

'ah kedah tamaam mersi giddan bi- gadd
[疑問詞] [副詞] [形容詞] [間投詞] [副詞] [前置詞]- [名詞]
何こんなに 完璧だ メルスイ 非常に で- 真剣さ
何、こんな完璧、本当にマジでメルスイ

ナダ：よかった、よかった。

Why not 『もちろんさ』

場面 26 と場面 27 では、「šukran」（ありがとう）「mersi」（ありがとう）、「thank you」（ありがとう）の感謝表現が用いられているが、エジプト人は、特に目上やソトの人などに対して、これらの感謝表現のみでは不十分だという考えを持っている。したがって、上記の二つの場面のよう、「giddan」（とても）「'awi」（非常に）「so much」（とても）などの副詞を使用する。相手に対して、これらのような副詞を使うことで、感謝の気持ちを強調していると考えられる。

場面 26 のように、感謝表現もアラビア語の「šukran」（ありがとう）さらに、フランス語の「mersi」（ありがとう）と英語の「thank you」（ありがとう）を併せて使用している。「mersi」（ありがとう）、「thank you」（ありがとう）の感謝表現は、社会の上流階級など特定の階層で使用される。

エジプト母語話者は、感謝の談話を非常に長くする傾向があることは場面（19）で述べたが何回も感謝表現の繰り返しが含まれている事例のほか、アラビア語エジプト方言だけでなく、他の言語を用いて感謝表現を繰り返す場面も多いことが認められる。

場面 28

الهربت : بفضلي اي اللي تاذة بفضلي وقبلي مبره
ندى : بين ايخ لوكي شكرا

場面 28（翻訳）

スポーツクラブでナダの息子は空手を習っている。彼女は、クラブの外で息子が出てくるまで待っていた。

女性：どうぞ入ってください。どうして外で待っているのですか？

ナダ：アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように。ありがとう。

rabb- ina yihallii- ki šukran

[名詞]-[複一] [動詞未完了・単三男]-[単二女] [名詞対格]

主- 私たちの置くように- あなたを感謝

私たちの主があなたを安泰でいさせますように。ありがとう

Why not 『もちろんさ』

場面 29

الهربة : بفضلي اي احييتي
ندى : هيرسي اوى اوى بين ايخ لوكي . هيرسي اوى شكرا جدا
هيرسي هيرسي
الهربة : لو عردك اي شوارسيه واجزا فاخد رقمك بنك وكل لك اول خليج لص
ندى بتتل مى هيرسي اوى

場面 29 (翻訳)

女性：お菓子をどうぞ。

ナダ：どうもありがとう。アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように。どうも
ありがとう。どうもありがとう。ありがとう。ありがとう。

mersi 'awi 'awi rabb- ina yihallii- ki
[間投詞] [副詞] [副詞] [名詞]-[複一] [動詞未完了・単三男]-[単二女]

メルスイ すごく すごく 主- 私たちの 残す- あなたを
すごくすごくメルスイ。私たちの主があなたを安泰でいさせますように

mersi 'awi šukran giddan mersi mersi
[間投詞] [副詞] [名詞対格] [副詞] [間投詞] [間投詞]

メルスイ すごく 感謝 非常に メルスイ メルスイ
すごくメルスイ。大変感謝。メルスイ、メルスイ

女性：ご子息のことで、何かあったらおっしゃってください。携帯電話の番号を教えてくださいいただけますか。彼らの練習が終わってから連絡します。

ナダ：アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように。どうもありがとう。

rabb- ina yihallii- ki mersi 'awi

[名詞]-[複一] [動詞未完了・単三男]-[単二女] [間投詞] [副詞]

主-私たちの 残す- あなたを メルスイ すごく
私たちの主があなたを安泰でいさせますように。すごくメルスイ

女性：どういたしまして。

ナダ：どうもありがとう。本当にどうもありがとう。アッラーがあなたに長生きを与え
てくれますように。ありがとう。

mersi 'awi 'awi šukran 'awi 'awi rabb-ina yihallii- kum

[間投詞] [副詞][副詞] [間投詞] [副詞] [副詞] [名詞]-[複一] [動詞未完了・単三男]-[単二女]

メルスイ すごく すごく感謝 すごく すごく 主-私たちの 残す- あなたを
すごくすごくメルスイ。大変ありがとう。私たちの主があなたに長生きを与えてくれま
すように

以上の二つの場面では、13回の感謝表現が確認された。ナダは、自分の息子をスポーツクラブに連れて行った。子どもが空手の練習をしている間、ナダは、他のお母さんたちと話していた。お母さんたちの、ナダに対する好意的な態度および会話に対して、ナダは様々な感謝表現を使っている。どんな場面でも「mersi」（ありがとう）を使っているが、この場面では、何度も「šukran」（ありがとう）「rabb-ina yihallii-ki」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）の感謝表現を使用している。場面（28）と（29）で述べたとおりに、「mersi」（ありがとう）、「thank you」（ありがとう）の感謝表現は、社会の特定の階層で使用される。しかし、上記の二つの場面では、「mersi」（ありがとう）を使用すると、不適切であると思われる。談話に参加している聞き手が、同じ社会の階層でないため、他の感謝表現が使用されている。話し手が相手の身分を考え、適切な感謝表現を使用することにより、相手との関係が良好であるという「親しさ」を表すことに繋がっている。

3.2.8.2 「mersi」類（終了の機能）

エジプト方言話者は、相手の話に興味がない場合や、相手の話を聞きたくない場合など、「mersi」を多用することがある。しかし、これは非常に失礼な言い方であり、相手に対して不快感を与える可能性があるため、一般的には使わないほうが良いとされている。

場面 30

السريدة: عجبى تجرب مرة وثلاثين
 ندى: هو مش عيلزيتمرن
 السريدة: نتجاولى هتبعش تستعمل مى لعدة من اول مرة بيه مش تيري
 ندى: هيرسى

場面 30（翻訳）

(A)は息子を非難している。(B)はできる限り会話を終了したい。

A: ダーリン、一度も二度も試さないといけない。

B: もう練習したくない。

A: ここであきらめてはいけません。頑張りましょう。

B: ありがとう。

mersi

[間投詞]

場面 30 では、(A)は(B)の息子を非難している。(B) が (A) に非難されていることに、(B) が非常に怒った。しかし、(B) は続いて、(A) に怒らせた。(B) が使用した「mersi」(ありがとう)の表現は感謝として使われているが、この場面では「終了」の機能として使われている。B の答えは丁寧さの原理における謙遜の原則(他者への非難を最小限にせよ)を違反しているので、インポライトネスだと考えられる。

エジプト方言母語話者は相手のアドバイスに対して興味がなければ、できる限り「šukran」「mersi」などの感謝表現で会話を終わらせる。相手はこれらの感謝表現を聞くと、それ以上話を続けたいことが多い。

3.2.8.3 「mersi」類(断り)

場面 31

أ: بسنت حكتلى على اللى حصل امبارح . تجى نوديه للدكتور ؟

ب: لا ميرسي. هو هيبقى كويس

場面 31 (翻訳)

女性の息子は病気になり、熱もあった。女性の兄は彼女の息子の様子がいつもと違うことに気づき、医者連れて行こうとした。

男性: パサントが昨日のことを話してくれた。ユーネスを医者連れて行こうか。

女性: いいえ、ありがとう。すぐに良くなると思う。

(「直接的断り」+「感謝」+「理由」)

la' mersi huwwa hayib'a kuwayyis

[否定辞] [間投詞] [単三男] [動詞未来・単三男] [形容詞]

ない メルスイ 彼は なるだろう 良い

不メルスイ。彼は良くなるでしょう

場面 31 では、女性は兄の提案に対して、直接「la」（いいえ）で断った。しかし、断った後、「mersi」（ありがとう）という感謝表現を使った。この場面では、「mersi」（ありがとう）は感謝の意味ではなく、「断り」の機能を持つと考えられる。

この場面では相手に強い表現で「la」（いいえ）を使用することにより、相手への思いやりに欠けた発話となっているのではないかと考えられる。

3.2.9 「miš 'arfa 'aškur-ak 'ezzaay」類

「miš 'arfa 'aškur-ak 'ezzaay」は、日本語に直訳すると、「私はどうやってあなたに感謝しようかわからない」になる。次の場面で使われることが多い。

友達が試験のために一生懸命サポートしてくれたときに、試験後に「miš 'arfa 'aškur-ak 'ezzaay」という感謝表現を使用する。

また、病気で苦しんでいる時に、友人が傍にいてくれたという場面である。この場合は、友人に対して、「miš 'arfa 'aškur-ak 'ezzaay」という感謝表現を使用する。

場面 32

أ: إني في حاجة؟
 ب: الحمد لله. لنت أشارك في ه؟
 أ: الحمد لله. هيزو عامل في دل وقتي؟
 ب: الحمد لله. أسمن لغير. لئ المش عافه لترك إزاي على وفك هجا.
 أبتشركونى على في ميس لئ مع لنتش أى حاجة.

場面 32 (翻訳)

ナイラ（女性）の夫が亡くなった後、ナイラは友達にいろいろと助けられた。ナイラは感謝の気持ちを表す。

ワリード：元気、ナイラ？

ナイラ：おかげさまで。あなたは元気？

al- ḥamdu li- llaah 'inti 'ahbaar-ik 'eeh

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞] [単二女] [名詞]

称賛 に- 神 あなたは 消息- あなたの 何

アッラーに全ての称讃あり。あなたは消息は何？（おかげさま。あなたは元気？）

ワリード：おかげさまで。ミズは元気？

al- ḥamdu li- llaah miizu ‘aamil ‘eeh dilwa’ti

[冠詞]-[名詞] [前置詞]- [名詞] [能動分詞・単男] [疑問詞] [副詞]

-称讚 に- 神 ミズ している 何 今

アッラーに全ての称讚あり。ミズは今どうしてる？

ナイラ：おかげさまで、以前より気持ちが楽になった。そばにいてくれて、感謝の言葉がない。

al- ḥamdu li- llaah ‘aḥsan kitiiir

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞] [形容詞・比較] [副詞]

称賛 に- 神 より良い 多く

アッラーに全ての称讚あり。[以前より]とても良い。

miš ‘arfa ‘aškur- ak ‘ezzaay

[否定] [能動分詞・女単] [動詞未完了・単一]-[単二男] [疑問詞]

知らない 私が感謝しよう- あなたに どうやって

‘ala wu’uuf- ak ganb- ina

[前置詞] [動名詞]-[単二男] [前置詞]-[複一]

に関して 立つこと-あなたの の横に- 私たち

あなたが私たちのそばにいてくれたことについて、私はどうやってあなたに感謝しようかわからない (感謝のしようがない)

ワリード：いいえ、私は何も。

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

「al-ḥamdu li-llaah」は「アッラーに全ての称讚あり」という意味で、日本語の「おかげさまで」に相当する。つまり神への感謝を表す表現だが、日常会話では「おかげさまで」という意味合いで使われる。知人と出会った時、そして毎日会っている人に対しても、まず調子はどうかと尋ねる。親しい間柄であれば、その後、家族の近況などについても触れる。そして女性は、男性がしたことに対して「そばにいてくれて、感謝の言葉はない」という感謝を表した。男性は「いいえ、何も」という表現を用いている。上記の場面は是認の原則(b)「他者への賞賛を最大限にせよ」と、謙遜の原則(a)「自己への賞賛を最小限にせよ」2つの原則を満たした発話となる。

表 3-1 本章のデータで収集した感謝表現と出現回数

	表現	日本語直訳	数
1	šukran 感謝(対格) tušukar(動詞・未完了) あなたは感謝 されよう	ありがとう	32
2	mutšakkir 感謝している(分詞・男単) mutšakkira 同(女単) mutšakkiriin 同(複) mutšakkira giddan 感謝している(分詞・女単) 非常に	ありがとう (ございます)	15
3	šukran gaziilan, šukran giddan	ありがとうございます	5
4	baškur-ak giddan 感謝している(動詞・単)-あなた (男・対格) 非常に	感謝している	1
5	'akuun šaakir 成ろう(動詞・一単) 感謝している (分詞・男単)	ありがたい	1
4	mersi, mersi'awi, mersi giddan mersi: フランス語 merci より)	ありがとう, どうもありがとう	33
5	rabb-ina yihallii-k(i) 主 - 私たちの 置こう(動詞・三単 男) - あなた(男)、(i)女 私たちの主があなたを安泰にしよう allaah yihallii-k(i) 神 置こう(動詞・三単男) - あな た(男)・(i)女 神があなたを安泰にしよう	アッラーがあなたに長生きを与えてく れますように	21
6	tislam 'iid-ik, tislami	お手数おかけします	7
7	'aasif li-ta'b-ak すまない～ため-苦労-あなた(男)	疲れさせて	2
8	al-ḥamdu li-llaah, 'ana baḥmed rabb-ina 私 讃える(単一)主-私たち	神に感謝 (おかげさま) アッラーに全ての称讃あり	35

9	ḥabiib-i 好まれている-私の	あなたは私の大切な人(ダーリン)	5
10	'umr-i ma-hansa wa'aafit-ik di ma'aa-ya 人生-私の (否定)-私は忘れる 居ること-あなた(女) この〜と -私	そばにいてくれたことを一生わすれない こうやってあなたが私といてくれることを私は一生忘れない	1
11	miš'arfa 'aškur-ak 'ezzay (否定)-知っている(分詞・女単) - 私が感謝する - あなた(男) どうやって	感謝の言葉もない どうやって私があなたに感謝するかを「私は」知らない	4
12	miš- 'aarif 'a'uul lak 'eh (否定)-知っている(男単) 私 は言おう あなた(男)に 何を	何と申し上げたらいいのかわからない	2
13	ṭuul 'umr - ak ṣaaḥib waagib 〜じゅう 人生 - あなた(男) 持ち主(男) 義務	私はあなたに借りがある 一生、恩に着ます (アラビア語「あなたの人生」、日本語「私の人生」)	1
11	laazim ti'bal il- 'awwal 'inni 'atšakkar-ak 義務 あなた(男)が受ける (冠詞)-初め (引用) 私は感謝する - あなた(男)	感謝を受けなければならない 私があなたに感謝することを、あなたは初めに受け入れなければならない	1
12	kattar ḥeer-ak 神が増した 良いこと -あなた(男) allaah yibaarek lak 神 祝福するよう あなた(男)に	あなたの豊かさが増えるように 神があなたを祝福するように	6
13	ti'iiš あなた(男)が生きるように	アッラーがあなたに長生きを与えてくれるように	2

表3-2 ドラマで収集した感謝表現の機能

表現	機能
šukran ,šukran gaziilan, šukran gidan mutšakkir, mutšakkira,mutšakkiriin	感謝、終了
al-ḥamdu li-llaah , rabb-ina yekrmak, kattar ḥeer-ak	感謝、責める
allaah yiḥallii-k(i), rabb-ina yiḥallii-ki	感謝、依頼、怒り
mersi, mersi 'awi	感謝、終了、断り
laazim ti'bal il-'awwal 'inni 'atšakkar-ak	感謝
ṭuul 'umr- ak šaaḥib waagib	皮肉
wallaahi, ma-kan-š li lazma it-ta'b da	謝罪
tislam 'iid-ik	感謝、謝罪

3.3 非言語の種類

感謝の意を伝える非言語的表現にはいくつかの要素がある。以下のようになる。

身体動作

感謝表現には、身体動作がある。たとえば、相手に笑顔を向けたり、頭を下げたり、手を合わせたりすることが挙げられる。

声のトーンやリズム

感謝表現には、声のトーンやリズムが重要な役割を果たしている。たとえば、相手に対して明るく話したり、小さい声で話したりすることが挙げられる。

目線や視線

感謝表現には、相手の目線や視線が重要な役割を果たしている。たとえば、相手に向かって直接目を見て話したり、目を伏せて恥じらったりすることが挙げられる。

筆者は、本研究でテレビドラマと映画から非言語感謝表現を収集した。感謝の表現は文化や個人によって異なるため、言語の文脈や背景を考慮する必要がある。たとえば、エジプト人が感謝の気持ちを表現する際には、相手に抱擁することが一般的であるが、日本人にとってはお辞儀が一般的である。身体動作や視線の非言語的な要素を中心に、エジプトと日本のテレビドラマと映画に表出された非言語的な感謝表現を分析する。

3.4 アラビア語エジプト方言における非言語的な感謝表現

エジプトでは、親しい間柄では握手だけではなく、抱擁も挨拶として用いられる。抱擁は家族・親戚関係の中では自然な挨拶として日常的であるが、それ以外の場合は、女性同士、男同士または大人は子供を抱擁するにとどまっている。また、「挨拶」の場面だけではなく「感謝」の場面でも、握手や抱擁等の非言語コミュニケーションが重要であると思われる。言葉を発する際には、言語と非言語の両方が同時に働いている。次に、エジプトのテレビドラマ・映画において、同時に現れてきた言語と非言語の感謝表現を示す。

3.4.1 握手

握手とは、一般的に挨拶として用いられる身体動作である。エジプトにおいて、挨拶の時に頻繁に使われ、相手に対する敬意示す方法の一つとされている。また、相手に感謝の気持ちを表す時、次に示す場面(1)のように握手が使用される。

場面 1

أ: أيا لآسف من حق درأس اعدك.
ب: وأنا مش عجز الكتس اعني ايا ليتاذ بعدال جيد. أنا ص عرفت أنا هعمل بيه. ليتاذن أنا.
أ: معمال مة
ب: بتشكيرة
أ: خديبللك من فيسك
ب: بتشكيرة

場面 1 (翻訳)

女性の息子は困りはて、アブドイルハミード（男性）に助けを求めた。しかし、アブドイルハミードは助けることができないと伝えた。

アブドイルハミード：助けることができない。すみません。

女性：大丈夫です、アブドイルハミードさん。私は何をすべきかわかっている。そろそろ失礼します。

アブドイルハミード：では、また。

女性：ありがとう。

mutšakkira

[分詞・女単]

感謝している

アブドイルハミード：気をつけて。

女性：ありがとう。

mutšakkira

[分詞・女単]

感謝している

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』



図 3-1 握手

場面 1 では、A (男性) は B (女性) の息子を助けることができないと断ったことに対し、女性は「mutšakkira」(ありがとう)と感謝の気持ちを表した。また、感謝の言葉を表しながら、握手の非言語コミュニケーションで感謝を表した。エジプト人は別れ際にも、感謝表現として握手をする人は多いと言える。「宗教とは、人と人との関わり方を説くもの」である。イスラーム教の聖書であるコーランでは、「あなたがたが挨拶された時は、更にそれより良い(丁重)な挨拶をするか、または同様の挨拶を返せ(Sorah An-Nisa (The Women) – Verses No.86)」(イスラームのホームページ翻訳)と挨拶の大切さを伝えている。したがって、エジプト人は言葉のみならず、握手等の非言語的表現が積極的に用いる。

以上の場面では、女性同士の握手または、男性同士の握手ではなく、女性と男性の握手であるため、微妙に身体動作が異なる。具体的には、男性は手の平を合わせて、指先を軽く触れ合わせるような形で握手をしている。力を入れすぎると、相手に対して不快感を与える可能性があるため、避けるべきである。また、握手においては、右手を用いることが一般的である。

場面 2

ندی : مہنگن بس اطل بطلب من حضرتك موضو لفضل قیوس فیض لعینی وینك . عش ان التی مروال حاجات بیہ
میرعال مدرسۃ : لئید طبع انقی شال موضوع فیض ل، سر
ندی : ھیرسی او ی او ی او ی یا مدام سندن دس
میرعال مدرسۃ : جلی بیہ ؟
ندی : thank you so much
شکرا او ی . ھیرسی یقین دم شکرآ جدا
میرعال مدرسۃ ل خفالی عفوب ای
ندی : معال مہ

場面 2 (翻訳)

ナダは、自分の子どもが通う小学校に行き、校長に面会する。

女性：ユーネスは孤児で養子なのですが、そのことでいじめられるといけないので隠しておいていただけますか。

校長：ご事情よくわかります。ご心配なさらないでください。

女性：本当に本当に本当にありがとう、スンドス校長。

mersi 'awi 'awi 'awi ya madaam sundus
[間投詞] [副詞] [副詞] [副詞] [呼びかけ] [名詞] [名詞]
メルスイ すごく すごく すごく ~よ マダム スンドゥス
すごく すごく すごく メルスイ、スンドゥスさん

校長：どういたしまして。

女性：thank you so much.本当にありがとう。ありがとう。どうもありがとう。

thank you so much.

mersi ya fendim šukran giddan
[間投詞] [呼びかけ]- [名詞] [名詞対格] [副詞]
メルスイ ~よ - 大将 感謝(対格) 非常に
メルスイ、大将、大変ありがとう

校長：どういたしまして。どういたしまして。それでは。

女性：失礼します。



図 3-2 握手

場面 2 から分かるように、「šukran」（ありがとう）「mersi」（ありがとう）、「thank you」（ありがとう）の感謝表現が用いられているが、エジプト人は、家族以外や特に目上の人などに対して、これらの感謝表現が不十分だと考えている。したがって、上記の場面（1）及び（2）のように、感謝するときは、「giddan」（とても）「'awi」（非常に）「so much」（とても）などの副詞を使用する。これらのような副詞によって修飾される品詞は感謝の気持ちを表すものが多い。

場面 2 のように、自分が利益を得た場合、感謝の気持ちを込めて握手をする。ここからの「šukran」（ありがとう）は、非言語感謝表現の握手からも伝わると考えられる。

以上の場面では、女性同士の握手であり、長めの力強い握手をし、視線をしっかりと合わせる。

相手の手を握る際には、強く握れば威嚇と解釈される可能性がある。しかし、新しい仕事や役割を任された際には、相手に「私に任せてください」という気持ちを伝えるために、いつもより相手の手を強く握ることがエジプトでは一般的な常識とされている。

図 3-2 も同じであり、信頼を築くために相手の手を強く握るという形で自分の誠意と熱意を伝えている。

3.4.2 身体接触（握手以外）

身体接触は、人間関係や社会的なコミュニケーションにおいて、身体的な接触を伴う表現の一つである。身体接触は、感情を伝える手段として用いられる。また、身体接触には、信愛情、親密さや支援などを表す意味が含まれる。しかし、文化的な背景また、社会的な状況により、身体接触に対する不適切な行為となる場合もある。したがって、身体接触は、相手を尊重し、状況に応じて適切な行動をすることが重要である。

場面3

وفاء: حلس قبلي دل وقتي؟ لسة مروجوع؟
 عيادة □ إمش أوى. ال حمد لله أسمن.
 وفاء: طب أدخل معك.
 عيادة □ طالعيتي أقترب غيرك. روح عيق وش في بيتك بشكرى رين ليخ ليكي.
 وفاء: عيتي طي ال لي يتولي ده؟ بتقوليش كدة.
 عيادة: أنا عمرى ما رضيتك في م عليا.
 وفاء بسري عيادة إجازا اخوات.

場面3 (翻訳)

ワファーとアイダは姉妹である。ワファーはアイダが手術を受けた際、入院中ずっと付き添っていた。退院時に家まで送っていった場面である。

ワファー：今、体調はどう？まだ、痛い？

アイダ：そんなに痛くない。おかげさまで少し良くなった。

'aḥsan al- ḥamdu li- llaah

[形容詞比較] [冠詞]- [名詞] [前置詞]-[名詞]

より良い 称讃 に- 神

よくなった。アッラーに全ての称讃あり (おかげさまで)

ワファー：さあ、家に入ろう。

アイダ：私はここで。あなたの豊かさが増えますように。ありがとうございます。アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように。

tuškari kattar ḥeer- ik rabb- ina yihallii- ki

[動詞・未完了・受動] [動詞完了・単三男] [名詞]-[単二女] [名詞]-[複一] [動詞未完了]-[単二女]

あなたは感謝されよう 彼は増やした 良い事-あなた 主- 私たちの 残す- あなたを
 ありがとうございます(ございます)。[神が] あなたの良さを増やした。主があなたを残すように
 (アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように)

ワファー：あなた、何を言っているの。そこまで言わなくていいよ。

アイダ：ずっとそばにいてくれたこと、一生忘れない。

'umr-i ma-hansa wa'aafit- ik di ma'aa- ya

[名詞]-[単一] [動詞未来否定・単一] [名詞]-[単二女] [指示詞] [前置詞]-[単一]

人生-私の 私は忘れない 居ること-あなたの この と - 私

こうやってあなたが私といてくれることを私は一生忘れない

ワファー：気にしないで。私たちは姉妹でしょう。

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』



図3-3身体接触

場面3の会話では、「kattar kherik」（あなたの豊かさが増えますように）「toshkari」（ありがとう）「rabna yekhaliki」（アッラーがあなたに長生きを与えますように）などのような感謝表現が使用された。発話者が感謝の気持ちを表す際は、様々な形で感謝を表している。つまり、「kattar kherik」、「rabna yekhaliki」の表現で、「相手へのプラス評価」が示されている。エジプトではポジティブなポライトネス表現の使用が好まれる。話者は相手に対し、「あなたの身にたくさんの良いことが起こることを祈り、話者は相手に良いことが起こることを願うことを通じて、感謝を表明している。また、「ana omri mahnsa waafetik di maaya」（そばにいてくれることは一生忘れない）の表現で、発話者が相手に対して再び感謝の意を表している。そして、感謝表現を表しながら、同時に手振りで、非言語コミュニケーションが行われている。

図3-3からは、感謝の気持ちを表す話し手は、右手の手に手術を受けたため、「今、体調はどう？まだ痛い？」と聞きながら、左手は相手の肩に触れている。また、相手は右手と左手で発話者の肩に触れて、「気にしないで、私たちは姉妹でしょう」と発話しながら、体調を気遣っている。

エジプト文化において、同性の間での身体的接触は一般的に受け入れられている。例えば、親しい友人同士や家族同士であれば、会話中に相手の肩に手を置いたり、軽く触れたりすることがある。しかし、異性間での身体的接触は一般的に避けられる。

図3-3のように、二人は同性であり親しい友人である。この場面では、感謝の気持ちを伝えるために24秒間、右側の女性の肩に手を触れる。話者は相手に対して恩を表す

とともに、身体接触を行う。また、右側の女性は相手の気持ちを共感し、相手の肩に手を叩くという行動をする。

3.4.3 抱擁

抱擁とは、腕を広げて相手を抱きしめる行為を指す。一般的には、親密さや感情表現の手段として行われる。抱擁には、相手を支える役割や安心感を与える役割があり、愛情や親愛を表現する際にも用いられる。しかし、文化的背景により、抱擁に対する社会的な制約がある。また、性別や年齢により力加減など抱擁のルールもあるため、相手に意識する必要がある。

場面 4

ا طول مهن ضحك لو هو يبتعد قولى ال حمد
النبت : ان لبح مدين اعطيكى قتي وبلا

場面 4 (翻訳)

母親は娘に「どんな時でも神様に感謝すること」とアドバイスをした。

母：いつも健康でいられることに、「おかげさまで」と言うのですよ。

al-ḥamdu li- llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

称賛 に- 神

アッラーに全ての称讚あり (おかげさまで)

娘：お母さんとお父さんがいるから、神に感謝している。

a'ana baḥmad rabb- ina

[主格単一] [動詞進行] [名詞]-[複一]

私は 讚える 主 - 私たちの

私は私たちの主を讚える

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

場面 5

النبت : كل سنة ولتى طيبيا عتمو

ندى : thank you so much

بن : كل سنة ولتى طيبيا اماما

ندى : ولت طيبيا روح اماما

خ : واجهراق عدتغللخر اهللك لي ميس قهيت لىب محب هي تليونس
ندى : حلوة اوى اوى يا غلد . thank you

場面 5 (翻訳)

ナダの誕生日パーティー。家族が彼女にプレゼントを渡す。

子供：誕生日おめでとう、おばさん。

ナダ：thank you so much(どうもありがとうございます)

息子：誕生日おめでとう、ママ。

ナダ：ありがとう、ダーリン。

ナダの兄：プレゼントのことをよく考えたけど、ついにユーネスにプレゼントを買った。

ナダ：とても素敵、カーリド。thank you (ありがとう)

以上の場面4および場面5では、「抱擁」という非言語コミュニケーションが行われた。二つの場面とも「喜び」に対して、相手を抱きしめる。特に、エジプト人は自分の気持ちを表すときは、言葉だけでは、自分の気持ちを表すことが足りないと考えているため、「抱擁」などの身振りが重要な役割を担っていると言われる。その上、かなり親しい関係の相手には、言葉にキッスさらに、抱擁がともなう。属性に関しては、友人、恋人、家族の間、女性同士の間で抱擁が多く見られる。



図3-4 抱擁



図3-5 抱擁



図3-6 抱擁

図 3-4、図 3-5、図 3-6 には、それぞれ異なる形式の抱擁が見られる。

図 3-4 では、母と娘の抱擁である。娘は母の胸の上に頭を置きながら神に感謝の気持ちを伝え、その後に母は両手で娘を抱きしめる。

図 3-5 では、兄と妹の誕生日の場面であり、兄が妹にプレゼントを渡し、妹は「Thank you so much」という表現で感謝の気持ちを表すと共に兄の背中に片手を回して抱擁を交わす。

図 3-6 では、母と息子の抱擁である。母親が息子を熱く抱きしめる。このような抱擁は、エジプト文化において親密な関係を表す非言語的ジェスチャーとして認知されている。

「抱擁」という非言語的な表現は、本研究で取り上げたエジプトのテレビドラマや映画において、家族間で使用されている。一方で、日常生活においては、友達同士の間で、抱擁が行われる。この点について、16名（女性8名、男性8名）のエジプト方言話者を対象にし、意識調査を行った。次の表では、意識調査の概要を紹介する。

表 3-3 抱擁の非言語表現に関する意識調査

期間	2023年3月12日から2023年3月20日
方法	-googleフォームを利用したアンケート調査
目的	エジプトのテレビドラマと映画においては、これまで家族間でのみ、「抱擁」が現れた。しかし、友人間でも抱擁が見られるかどうかを確認するため、エジプト人を対象にした意識調査を行った。
対象	アラビア語エジプト方言話者

結果として、友人同士（女性）の間で「抱擁」がよく使用されていることが調査により明らかにした。日常生活において相手に感謝の気持ちを表す際に抱擁が多用されることが明らかになった。しかし、エジプトの男性同士の間では、一般的には手を握ったり、肩を叩いたり、挨拶の際に頬にキスをするなどがよく見られる。抱擁の代わりに挨拶として頬にキスをすることも一般的である。また、エジプトがイスラーム教社会であることから、家族以外でも女性同士や男性同士の間で抱擁が行われることが一般的である。

2023年の5月から6月にかけて一ヶ月間、エジプトの教員や教育省の職員ら40名が、日本の幼児教育を学ぶために来日し、福井市の福井大学教育学部附属幼稚園を訪ねた。エジプトの教員たちは、子どもたちに自発的な取り組みを促す教育方法を学ぶために、福井市の幼稚園を視察した。筆者は通訳の役割を果たしつつ、教員たちとのインタビューを行い、記録写真を得た。

本節で紹介するインタビューの協力者は6名である。6名の所属、インタビュー時期などを表3-4に示す。インタビューはアラビア語で行われたが、本節ではその内容を日本語訳で示す。インタビューは、協力者の許可を得て録音し、その後、文字化した。

表3-4 エジプト文化における抱擁についてのインタビュー調査

実施日	2023年6月7日
方法	対面インタビュー
対象者（性別・人数）	エジプト人（女性4名・男性2名）
実地場所	福井大学
使用言語	アラビア語エジプト方言

本節ではまず、4名の女性教員に対してインタビュー調査を行った。そのうち20代の女性教員1名と30代の女性教員3名を対象にし、「友人にプレゼントをもらい、親切な行動を受けた際にどのような非言語コミュニケーションを使用するか」尋ねた。

インタビュー調査の結果：

上記の質問に基づいて行われたインタビュー結果を報告する。以下に報告すべき内容をまとめ、さらに具体的な発言を例示する。

4人の女性教員の回答はほぼ同じであり、女性の友人が助けや援助をしてくれた場合には、抱擁を通じて感謝の気持ちを表すと回答した。抱擁をしないと自分の気持ちを十

分に伝えられないと感じていると述べた。また、20代の女性教員は、「幼い頃から父親に抱きしめられる機会が非常に少なかったため、常に友人との抱擁を通じてその心の空白を埋めたいと考えている」という回答を示した。

男性2人の回答は次のようであった。

男性同士が挨拶の際に抱擁を行うことがある。特に長い間会っていなかった友人や知人との再会時に、抱擁が用いられることが一般的である。また、親しい友人同士の間でも、特に長い間の絆や特別な出来事の際に抱擁が行われることがある。例えば、長期間の別れや再会、喜びや悲しみの共有など、感情的な経験や状況に対して抱擁が用いられる。また、祝祭や祭りの期間中には、男性同士が抱擁を交わすことが多い。特に宗教的な祭りや伝統行事では、人々が互いに抱擁することが一般的である。

本研修では、日本在住のエジプト人と日本人のハーフである女性がコーディネーターとして活動していた。彼女の誕生日が6月であったため、エジプト人の教員たちはサプライズで、誕生日パーティーを行った。彼女は玄関に入った瞬間、このようなサプライズを予想していなかったことから、驚きと喜びを隠せなかった。エジプト人の教員は、研修の様子および思い出を写真やビデオで記録し、準備していた。彼女がこれらの写真やビデオを見た際には、涙を流し、他の女性たちと抱擁した。図3-7および3-8は、その時の様子を写したものである。



図3-7 誕生日パーティーでの抱擁交換



図3-8 友達同士の抱擁交換

図3-7、図3-8の写真の背景について補足すると、右側の女性が多くのバルーン、ケーキ、ビデオ、写真を見て、思い出に残る素敵な誕生日サプライズを受けたため、涙が流れたのではないかと考えられる。この時、右側の女性は図3-7および図3-8のように、他の女性に抱きしめられながら涙を流した。これにより、右側の女性が感謝の気持ちを表すために抱擁を非言語的に使用したことが明らかとなる。

3.4.4 「胸に手を当てる」動作

「胸に手を当てる」という動作は、様々な意味を持っている。自信を持って発言していることをアピールしたり、意見を強く主張したりするなどの感情を表現するために多く使われる。本研究で扱ったエジプトのテレビドラマや映画でも、感謝表現として「胸に手を当てる」動作が何度も現れている。状況により、「胸に手を当てる」動作が様々な意味があるため、文脈を考慮する必要がある。以下のような場面で、この動作が使われている。

場面 6

السيدة: بفضل يي المتأذنة بفضل ي قفطي مبره
ندی: بين ايخ لوكيش كرا

場面 6 (翻訳)

ナダは息子さんが空手の練習を終わるまで、スポーツクラブの外で待っていた。それで、スポーツクラブの中にいる他の子のお母さんはナダに話しかけた。

女性: どうぞ入ってください。どうして外で待っていますか。

ナダ: アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように。ありがとう。

rabb- ina yihallii- ki šukran

[名詞]-[複一] [動詞未完了]- [単二女] [名詞・対格]

主- 私たちの 残す- あなたを 感謝

主があなたを残すように (アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように)。ありがとう(ございます)

場面 7

السرت: بفضل يي جيبتي :
ندی: هيرسي اوى اوى بين ايخ لوكيش . هيرسي اوى شكرا جدا
هيرسي هيرسي

場面 7 (翻訳)

ナダがスポーツクラブの中に入った後、他の子のお母さんたちはナダにお菓子を提供した。

女性: どうぞ、ダーリン。(お菓子)

ナダ：どうもありがとう。アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように。どうもありがとう。どうもありがとう。ありがとう。ありがとう。

mersi 'awi 'awi rabb- ina yihallii- ki

[間投詞] [副詞] [副詞] [名詞]-[複一] [動詞未完了・単三男]-[単二女]

メルスイ すごく すごく 主- 私たちの 残すように- あなたを
すごくすごくメルスイ。私たちの主があなたを安泰でいさせますように

mersi 'awi šukran gidđan mersi mersi

[間投詞] [副詞] [名詞対格] [副詞] [間投詞] [間投詞]

メルスイ すごく 感謝 非常に メルスイ メルスイ
すごくメルスイ。大変感謝。メルスイ、メルスイ

女性：用事があれば、どうぞ。私たちは息子さんの世話をする。携帯番号を教えてください。息子さんが練習を終わってから、連絡する。

ナダ：長生きしますように。どうもありがとう。

rabb- ina yihallii- ki mersi 'awi

[名詞]-[複一] [動詞未完了・単三男]-[単二女] [間投詞] [副詞]

主-私たちの 残すように- あなたを メルスイ すごく
私たちの主があなたを安泰でいさせますように。すごくメルスイ

女性：どういたしまして。

ナダ：どうもありがとう。本当にどうもありがとう。長生きしますように。ありがとう。

mersi 'awi 'awi šukran 'awi 'awi rabb-ina yihallii- kum

[間投詞] [副詞][副詞] [間投詞] [副詞] [副詞] [名詞]-[複一] [動詞未完了・単三男]-

[単二女]

メルスイ すごく すごく感謝 すごく すごく 主-私たちの 残すように- あなたを
すごくすごくメルスイ。大変ありがとう。私たちの主があなたを安泰でいさせますように



図3-9 「胸に手を当てる」動作



図3-10 「胸に手を当てる」動作

図3-9および3-10の2つの場面では、ナダは相手に対して、「胸に手を当てる」動作で感謝表現を示している。発話者は、相手をよく知らないため、身体接触が行われていない。その代わりに、相手への心の感謝や尊重の気持ちが、「胸に手を当てる」という非言語コミュニケーションによって行われていると認められる。「胸に手を当てる」という身体動作は、心から感謝しているという、表現できない心の深さを、心臓部に手を当てる非言語で表現された。場面7では、感謝する人は、相手の社会的立場が自分よりも低いと分かっているため、言語で感謝するとともに、相手に配慮した適切な非言語を選択したと考えられる。

感謝表現において「胸に手を当てる」という動作は一般的に片手で行われ、右手を胸に当てる場合が多いが、左手を使うこともある。また、場面によって、両手で胸に触れることもある。図3-9と図3-10では、同じ女性であるが、図3-9では左手で感謝の気持ちを表し、図3-10では、感謝の気持ちを表すときに、右手を当てている。意味は同じであるが、動作が異なることがわかった。

3.4.5 「悲しみ」の機能を果たす感謝の非言語コミュニケーション

非言語コミュニケーションのほうが言語コミュニケーションより適していると考えられます。その中には、喜びや悲しみ、怒りなどの非言語的な行動が含まれる。つまり、顔の表情から、メッセージを受け取ることができる。目や眉、首などの筋肉の動きによって、相手の意図や感情を読み取ることができる。次の場面では、目の視線の向きから、メッセージを受け取っている可能性がある。

場面8

بن: عامل لي هيليل!؟
 ا: لئك مام ال حمد.
 بن: بيه مشن او يبي عن يتسألني عامل لي؟
 ا: بيليني لئ انطمن عليك.
 بن: ولئ الكبيس ال حمد.
 ا: ال حمد.

場面8 (翻訳)

息子：お元気ですか、パパ？

アブドイルハミード：おかげさまで、元気だよ。

al-ḥamdu li- llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

称赞 　　に- 　　神

アッラーに全ての称讃あり（おかげさまで）

息子：私は元気かどうか聞いてくれない？

アブドイルハミード：あなたのことを信じているから心配していない。

息子：うん。おかげさまで、元気。

al-ḥamdu li- llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

称賛 に- 神

アッラーに全ての称讃あり（おかげさまで）

アブドイルハミード：おかげさまで

al-ḥamdu li- llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞]

称賛 に- 神

アッラーに全ての称讃あり（おかげさまで）



図 3-11 「悲しみ」の機能を果たす感謝の非言語コミュニケーション

場面(8)について、父親と息子の会話である。長い間、父親が息子と話をしていなかったため、息子が父親に「私には元気かどうか聞いてくれないの」という問いかけに対し、父親は「あなたのことを信じているから心配していない」と返答した。息子は、「私はおかげさまで元気だよ」と発話を続けている。その後、父親は「al-ḥamdu li- llaah」（おかげさま）と悲しそうな声で返答した。背景には、前回のようには喧嘩になることを恐れ、自分の気持ちを隠そうとしている。そのため、自分の気持ちをコントロールするために、「al-ḥamdu li- llaah」を用いている。

図 3-11 に見るように、父親は泣きそうな状態になり、「al-ḥamdu li- llaah」という表現を使用した。悲しみの感情を込めた表情とともに、相手から目をそらしている。直接見ずに、視線は伏し目がちである。また、表情では、眉毛が中心によって、眉間に縦皺が寄っている。

3.4.6 「怒り」の機能を果たす感謝の非言語コミュニケーション

感謝表現で知られる「rabb-ina yihallii- ki」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）という表現はジェスチャーやしぐさによって異なる感情を意味することも明らかである。怒りや不安を感じたりすると、発話とともに腕を組む場面が見られる。また、目の動きからも、怒りの表情を強く読み取ることができる。

場面 9

أ: ازيك يامريومة . هو اننى ليه مجتيش باركتلنا فى البيت . ده بيتك على فكرة

ب: رينا يخليكى

場面 9 (翻訳)

二人の女性が話している場面である。B は A と話すことを好まないが、A に話かけられた。

A : どうしているの、マリアム。この家はあなたの家なのに、どうして来てくれなかったのですか。

B : アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように。

rabb- ina yihallii- ki

[名詞]-[複一] [動詞未完了]-[単二女]

主- 私たちの 残す- あなたを

主があなたを残すように（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』



図 3-12 「怒り」の機能を果たす感謝の非言語コミュニケーション

場面(9)は、A は B の父親と最近、結婚した。A は B と仲良く話したかったが、B は父親の結婚に反対で、A と話したくない。B は A に対して「rabb-ina yihallii-ki」（アッ

ラーがあなたに長生きを与えてくれますように)と感謝表現を発しているが、この場面では「感謝」の機能ではなく「怒り」の機能を果たす非言語コミュニケーションである。

Bは嫌そうな表情で「rabb-ina yihallii-ki」(アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように)伝えている。また、距離を置いており、口元が閉じている。このような表情は相手に対して不快感と不満を感じている可能性がある。さらに、首を横に振っていることから、相手に対する好意が感じられず何らかの不満があると思われる。

3.4.7 「会話の終了」を表す非言語コミュニケーション

会話の終了は、相手とのコミュニケーションが終了することを意味する。挨拶や感謝の言葉を使用するとともに、会話の終了が行われる。しかし、場合によって、ネガティブな意味を表す。例えば、「See you later」といった表現が、実際には再会するつもりがない場合、ネガティブな意味で使われることがある。つまり、会話を終了するための方法である。

エジプトの方言話者は、会話がつまらなさと感じ、話が長すぎる場合に、感謝の言葉とともに会話を終えることが多い。以下に例を挙げる。

場面 10

فتة : عذرا احا لتيبرة
مشام : طلى عي الفتورة
فتة : شكرا اي لفتور

šukran

[名詞・対格]

感謝

ありがとう(ございます)

場面 10 (翻訳)

女性：患者さんが多いよ。

男性：オッケー。先生！

女性：ありがとう、先生。



図 3-13 「会話終了」の機能を果たす感謝の非言語コミュニケーション

以上の場面では、男性は女性の会話である。二人は病院で働いている。

男性の医師は同僚の女性医師に対し、「子供を養子にするという決断を急ぎ、この決断は完全に間違っている。そのため、考えをやり直す必要がある」とアドバイスしようとした。しかし、女性は男性のアドバイスを否定し、「šukran」という表現で会話を終了させようとし、「外には多くの患者がいる」と男性に言いました。女性は自分が当たり前であり、間違っていないと信じ、他人からの助言を断っている。「そういうアドバイスはいらない」等のような表現を避け、「šukran」の表現で終えたのではないかと考えられる。

場面 11

السيدة: حبيبي تجرب مرة وثلاثين
 ندى: هو مش عيلزي مدرن
 السيدة: نتج اولي هتبع عشت تهنين لمدى كدة من اول مرة فيه مش تربي
 ندى: هيسى

場面 11 (翻訳)

(A)は (B) の息子を非難している。(B)はできる限り会話を終了したい。

A: ダーリン、一度も二度も試さないといけない。

B: もう練習したくない。

A: ここであきらめてはいけません。頑張りましょう。

B: ありがとう

mersi

[問投詞]

メルスイ

Why not 『もちろんさ』

場面 11 では、(A)は(B)の息子を非難している。息子は (A) に非難され、(B) は反抗した。しかし、(B) はそれによって再び (A) を怒らせた。(B) が使用した「mersi」(ありがとう) の表現は感謝として使われているが、この場面では「終了」の機能として使われている。B の答えは「丁寧さの原理」における謙遜の原則（他者への非難を最小限にせよ）に違反しているので、インポライトネスだと考えられる。

エジプト方言母語話者は相手のアドバイスに対して興味がなければ、できる限り「šukran」「mersi」などの感謝表現で会話を終わらせる。相手はこれらの感謝表現を聞くと、それ以上話を続けたいことが多い。

3.5 本章のまとめ

本章では、エジプトのテレビドラマと映画における言語・非言語感謝表現を考察し、感謝表現の語用論的な機能を分析することができた。言語表現から考察すると、以下のようになる。

3.1 で論じたように、アラビア語には、単数と複数の感謝表現が使用される。本研究においても単数の「mutšakkir」(ありがとうございます) と複数の「mutšakkiriin」(ありがとうございます) が用いられている。名詞の「šukran」より深い感謝の表出となる。

3.2 から 3.3 の調査で談話を分析した結果、自分に利益がある場合、「allaah yihallii-k」「rabbina yihallii-ki」(アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように)、「kattar heer-ak」(あなたの豊かさが増えますように) という表現によって、「相手へのプラス評価」のポジティブなポライトネス表現を表す。つまり、話者は相手に良いことが起こることを願うことを通じて、感謝を表明している。

また、最も使用された表現は「al-ḥamdu li-llaah」「アッラーに全ての称讃あり」である。神への感謝を表す表現だが、日常会話では「おかげさまで」という意味合いで使われる。「al-ḥamdu li-llaah」の表現は宗教的背景を有するため、第 6 章で具体的に説明する。

さらに、アラビア語エジプト方言話者は異なった様々な感謝表現を使用し、感謝の談話を非常に長くする傾向があるという結果が得られた。

相手がわざわざお金や手間をかけてくれた行為に対し、「本当に疲れさせた」という謝罪表現によって感謝の意を強く表明している。

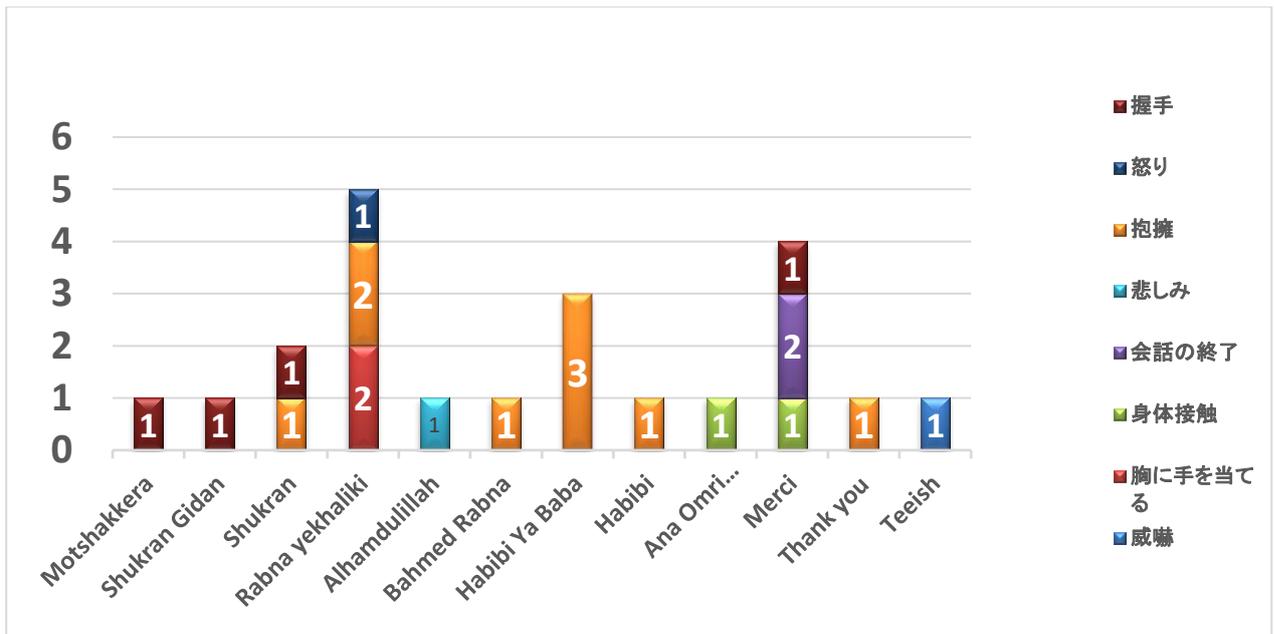
また、フランス語の「mersi」、英語の「thank you」という感謝表現が用いられているが、エジプト人は、家族以外や目上の人などに対して、これらの感謝表現では不十分だと考え、例えば「šukran giddan」など「šukran」とともに「giddan」（とても）や「'awi」（非常に）、「so much」（とても）などの副詞を使用する。相手に対して、このような副詞を使う時は、感謝の気持ちを強く表している。

次いで、エジプト方言における感謝表現の機能は、「感謝」の機能以外には、「謝罪」「依頼」「会話の終了」「怒り」「非難」「皮肉」等の機能を担うということが明らかになった。「会話の終了」に関しては、特に、エジプト方言母語話者は相手のアドバイスに対して興味がなければ、可能な限り「šukran」または、「mersi」の感謝表現で会話を終わらせる。相手はこれらの感謝表現を聞くと、それ以上の会話を続けないことが多い。

また、「allaah yihallii-k」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）の意味は、単に「ありがとう」のみならず、「お願いします」と「依頼」などにも使う。そして、「怒り」の時にも、「rabb-ina yihallii-ki」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）の表現が使用されている。相手との人間関係を維持するために、「rabb-ina yihallii-ki」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）が用いられると考えられる。

非言語の面について考察すると、エジプト社会においては、「握手」「抱擁」「身体接触」等がコミュニケーションの重要な要素である。そして、相手への心の感謝や尊重の気持ちを表すために、「胸に手を当てる」という非言語コミュニケーションが行われている。エジプト人にとっては、日常生活には、非言語コミュニケーションが多い。身振り手振りで表現したり、抱擁したり、相手に気持ちを強く伝えるために、言葉とともに、非言語コミュニケーションがより大切である。

グラフ 3-1 に、「エジプト方言における感謝表現の言語と非言語の回数」を示した。



グラフ 3-1 エジプト方言における言語と非言語の回数

グラフ 3-1 の結果から、エジプト方言のデータに最も多く使われている非言語コミュニケーションは「抱擁」「握手」であるということが明らかになった。また、「šukran」「mersi」（ありがとう）の感謝表現で気持ちを表すと同時に、「握手」「抱擁」が多用される。また、「allaah yihallii-k」「rabb-ina yihallii-ki」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）という表現は、「胸に手を当てる」の動作が伴っている。エジプト社会では、感謝場面で、様々な表現が使用され、会話を非常に長くする。加えて、非言語は不可欠であると思われる。例えば、ほかの人に慰められた場合、抱擁・身体接触などの非言語コミュニケーションは重要である。

エジプト人が会話を非常に長くすることで感謝を表す背景には、エジプト人の言語・非言語感謝表現の使用に影響を与えるいくつかの要因がある。その要因の一つに「宗教」的な思想・文化が存在する。換言すれば、宗教的背景は、エジプト人に言語・非言語の使用に影響を与える最も重要な要因の 1 つだと考えられている。聖典クルアーン（イスラーム教の教え）に感謝の言葉が何度も繰り返しているからであると考えられる。また、イスラーム教はその信徒にあらゆる状況で感謝の言葉を使うことを奨励している。それらの感謝表現は人間だけではなく、「アッラー」（神様）にも感謝の気持ちを表す必要がある。そして、イスラーム教の教えにも、握手の使用を奨励している。したがって、本調査にも感謝表現の使用に伴い「握手」が何度も見られた。

また、もう一つの要因として、エジプト社会は感情的な社会であると言われる。つまり、感情を表現する事に抵抗がなく、感情表現が豊かであると言えよう。対人関係を

発展させるためには、言語に加え、表情や身体接触などの非言語的な方法も重要であると思われる。コミュニケーションにおいて「話す力」も「聞く力」も必要であるにも関わらず、エジプト人が感情を重視していることが読み取れる。例えば、エジプトのテレビドラマには、「怒り」を感じる時に、感謝の言葉を表すとともに、顔には「怒り」の感情をコントロールすることができないということが明らかであった。すなわち、エジプト人は心に感情を隠すことが苦手であると思われる。相手の前に正直に表すと言える。

初対面であっても、知り合いでも、エジプト社会にも非言語的の手がかりは重要な要素を担っている。したがって、コミュニケーションをとるときには、言葉のみに頼るのではなく、非言語も十分に配慮する必要がある。

エジプト人にとって握手する、肩に手を回す、抱き合う、キスするなどのようなコミュニケーションも重要な要素であることが明示された。今回のデータには、キスのコミュニケーションが少なかった。しかし、日常生活には、友達間（男性同士、女性同士）のキスが挨拶として重要である。エジプト式キスは、頬と頬を合わせ、音を出すものである。感謝の言葉とともに、キスも多く見られる。エジプト人（男性同士、女性同士）が他人の前でキスをすると、他の文化圏の人々の目には異様に映るが、身体接触が最も多い文化の端的な例と言えよう。また、初対面の人にも「握手」または、「胸に手を当てる」というような非言語コミュニケーションを使用することが多い。

第4章：日本語における感謝表現

4.1 日本語における感謝表現の先行研究

日本語における感謝に関わる研究の中では、「謝罪表現が感謝場面で使用される」という一連の研究の蓄積があり、多くの先行研究では日本語の感謝場面における謝罪表現の研究に焦点が当てられてきた。そして、このような言語現象は、すべての感謝場面で有効というのではなく、社会的役割に相当する行動に対する感謝の場合は、謝罪の言語行動をとらないと指摘されてきた。佐久間（1983）は、「すみません」と「ありがとうございます」の使い分けについて、「すみません」は相手に対する恐縮の表現（他人志向的）であるに対して、「ありがとう」は自己の喜びの表現（自己志向的）であると述べている。また、水谷修（1988）は「ありがとう」と「すみません」の使い分けを自分がその好意に値しないと感じた時や、その好意を期待しなかった時、「すみません」が感謝の表現として使われると考察している。

小川（1995）は、世代の異なる社会人にアンケート調査を行い、若い世代は「すみません」の表現を軽い感謝の言葉として目上の人や外の人に多用する傾向があると指摘している。

以上の先行研究は、日本語の感謝の場面に謝罪表現が使われている理由を考察しているものである。

本章では、日本語における感謝表現の機能を捉え、テレビドラマや映画の発話から収集し、語用論的に分析を行う。

4.2 調査方法と収集したデータ

本章では、日本語において日常会話に近い日本の現代ドラマ及び映画の談話を分析し、発話のデータを収集した。ドラマ及び映画を選択する際、現代のものに限定した。

4.2.1 「ありがとうございます」類

「ありがとうございます」は、日常会話に最も多く用いられている感謝表現である。社会では「ありがとうございます」は、日本語の丁寧な表現であり、感謝の気持ちを表す表現である。「ございます」は敬語の一つであり、相手に対する敬意を示す言葉でもある。一方で、「ありがとう」は、親しい間柄で使用されている。

日本の教科書には社会性や礼儀作法、感謝の意を示すことが重要視されており、これらの価値観は日常の生活やコミュニケーションの中で自然に教えられている。日本の教育では、幼稚園や小学校などの初等教育段階から、生徒たちには挨拶や謝罪、感謝の意

を表すことが大切だと教えられている。先生や家族、友人などに対して「ありがとう」という言葉を使用することが教えられている。

文部科学省検定済教科書の道徳教科書は、小学校の2年生から6年生にかけて使用される。

2年生の道徳教科書には、「ありがとうって言われたよ」という項目があり、三人の子供が一人の友達に手伝ってもらったから、一人一人は「ありがとう」の言葉を使用した。このように、相手に手伝ってもらった場合に、「ありがとう」の言葉が使用されるのが一般的であると教えられている。

3年生の道徳教科書には、「いつもありがとう」という項目があり、家族や生活を支えてくれている人々、そして現在の生活を築いてくれた高齢者に対して、尊敬と感謝の気持ちを持って接することが大切であると教えられている。

5年生の道徳教科書には、「ソフトボールに恩返しを」という項目があり、日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝することが教えられている。

6年生の道徳教科書には、「おかげさまで」という項目があり、「はい、ごちそうさま。おかげさまでおいしくいただきましたよ。」という表現が使用された。「おかげさまで」という表現は、祖母の口癖である。祖母は、相手と話すときは、「おかげさまで」を何回も繰り返す。

自分がお世話になっている人に「ありがとう」という気持ちを伝えること。また、身の回りにいる人だけではなく、魚を捕ってくれたり、お米を作ってくれたりするなど、自分の生活を支えてくれている人に「ありがとう」という気持ちを伝えること。以下の写真は、6年生の道徳教科書に載せている。



図4-1 祖母の言動や様子(小学 生きる力6年 2019:32)

これまで、身近な家族や友人、また世話になっている人々に対して感謝の気持ちを伝えることができるようになる。さらに、高齢者に対しても尊敬と感謝の心を持ち、敬意を持って接することができるのではないかと考えられる。これにより、自分自身が多くの人々の支えの中で自己の生き方について深く考えるようになる。このような経験は、子

供たちの成長に意義深く与えられられる。

場面1（写真館で）

写真家：緊張しているか？そんな顔してたらお前受かるもんも受からなえぞ。もっと明るい顔。

男性：どんな顔したらいいんですかね。僕笑顔が作れないんですよ。

写真家：よし。もういいよ。

男性：ありがとうございます。よろしくお願いします。

『世界の中心で、愛を叫ぶ』

場面2（病院で）

上原君が倒れ、菜緒ちゃんが救急車を呼んで彼は病院に運ばれた。

医者：心配ないですよ。疲労と睡眠不足。あとは、軽い栄養失調が重なったかな。

2～3日ゆっくり休んでちゃんと食べれば大丈夫。

菜緒：はい、ありがとうございます。

『グッドモーニング・コール』

場面3（バス停の前で）

菜緒がバス停の前で彼氏を待っている。非常に寒くて店員さんにカイロをもらう。

店員：あんた、ずっと待ってるけど寒くないの？

菜緒：あ、大丈夫です。こうやって体動かしてたほうが体あったまるんですよ。

店員：そう？風邪ひかないようにね！これ、できたて、あったかいよ。

菜緒：え？いいんですか？！ありがとうございます。

『グッドモーニング・コール』

上述の場面（1）から（3）のでは、いずれも目上に対して感謝の意を表す表現である。あまり親しくない関係では、相手のことに配慮し、「ありがとうございます」を使用している。いずれも話し手と聞き手との社会的距離が遠い場合、特に年配の人に対しては「ありがとうございます」を使用する傾向が見られる。

場面4（家での会話）

女性は、ハウスキーパーとして、男性の家で働いている。

男性：網戸 掃除しましたよね？

女性：あッ すいません 勝手に。

男性：あッ そうじゃなくて。土曜の朝 カーテンを開けたら、いつもより部屋が明るくて、何でだろうって思っただけ。あッ 網戸だって。網戸が きれいなんだって。気がついて。すごく気分がよくて。 ありがとうございました。

以上の場面では、女性が網戸を掃除した後、男性は「ありがとうございました」と感謝の気持ち表現している。

場面（1）から（4）では、「ありがとうございます」および「ありがとうございました」が使われた。

「ありがとうございます」と「ありがとうございました」は、両方とも「ありがとう」という感謝の気持ちを表すが、使い方には違いがある。

「ありがとうございます」は、現在進行形で、現在の状況で何かをしてくれたり、協力してくれたりした相手に感謝の気持ちを表す場合に使われている。例えば、レストランで店員さんが料理を運んでくれたときに「ありがとうございます」の表現が使用される。

「ありがとうございました」は、過去形で、過去の状況で何かをしてくれたり、協力してくれたりした相手に感謝の気持ちを表す場合に使う。例えば、友人が昨日手伝ってくれたときに「昨日は本当にありがとうございました」と言うような場合である。つまり、「ありがとうございます」は現在形で、「ありがとうございました」は過去形として、それぞれの場面で適切に使い分けることが大切である。

語用論的な観点から見ると、「ありがとうございます」と「ありがとうございました」は、話し手の言語行動によって異なる役割を果たす可能性がある。

「ありがとうございます」は、話し手が相手に直接何かを依頼した場合や、相手が何かをしてくれた場合に使われることが多く、感謝の意を表すと同時に、相手に対して何かしらの要求や期待を示す場合がある。

以上から分かるように、「お礼」に関する表現には、現在形と過去形の両方で表すものがある。通常、手伝ってもらった場合には、「ありがとうございます」の表現が用いられ、中心的な作業が終了してからは「ありがとうございました」が使用される。

場面 5

高校の同僚は二人で、道で歩きながら話している。女性のほうは、引越してしてからどんな気持ちを話している。

女性：大変だよ、一人暮らしって。

男性：なんだよ！もういやになったのか？

女性：え？ううん。

男性：ならいいけど。何かあったらすぐ連絡してこいよ。

女性：うん。ありがとう！

『世界の中心で、愛を叫ぶ』

場面 6

まりな：なんか今日朝から変。元気ないし。

菜緒：ううん。ちょっとおなかすいただけだから。

まりな：本当に？

菜緒：うん、本当。

まりな：菜緒が笑ってないと私も調子狂うんだからね。

菜緒：ありがとう、まりな。

まりな：ううん。

『グッドモーニング・コール』

場面 5 では、男性がもし何かあった場合はすぐに連絡するようにと伝え、女性はその言葉に対して「ありがとう」を用いて感謝の気持ちを表している。このように、自分を気遣ってくれた相手に対して、感謝の気持ちを表す。女性は、男性が自分を心配してくれたことに対して感謝の気持ちを表した。また、場面 6 では、まりなが菜緒のことを心配しており、菜緒が落ち込んでいることに気づいたことから、菜緒はまりなに「ありがとう」という表現を用いて感謝の気持ちを表している。

以上のように、「ありがとう」という表現は、相手が自分に心配や気遣いを示したときに使われる。友達や家族など親しい間柄でのコミュニケーションにおいては、「ありがとう」という言葉を使うことが一般的である。

4.2.2 「サンキュー」類

「サンキュー」は、英語の「thank you」をカタカナ表記したものであり、日本でも広く使われる感謝の表現である。「サンキュー」は、丁寧さや敬意を表す言葉ではないが、

主に男性が親しい間柄での日常会話で使用し、相手に対する感謝の気持ちを表すために使われる。

場面7

二人の高校生がラーメン屋に行く。そこではもう一人のクラスメイトがあるバイトして二人に対してサービスしている。

菜緒：はいはいはい、私からのサービス。

まりな：いいの？

光石：サンキュー。

『グッドモーニング・コール』

場面8

場面(8)の用例では、父親と喧嘩して、友達の家で3日間泊まっている。そこで、アパートの鍵を菜緒に借りる。

一星：吉川！家の鍵貸してくれねえか？

菜緒：鍵？

一星：あの外出る時、鍵開いてたら物騒だろ！

菜緒：あ、そうか。

一星：サンキュー。

『グッドモーニング・コール』

上述の用例では、「ありがとう」の代わりに「サンキュー」が使用されている。「サンキュー」は英語の「thank you」に由来している。以上の二つの場面では、「サンキュー」という感謝表現を使った話し手は若者である。「ありがとう」と「サンキュー」の違いについて、場面(7)と(8)では、「サンキュー」は、同級生に対して用いられているが、見知らぬ人または目上の人には使えないと思われる。聞き手と話し手の関係という制限があり、目上の人に使用するのは不適當である。

4.2.3 「ごめん」類

「ごめん」という表現は、謝罪の気持ちを表す表現であり、日常会話に使われる表現の一つである。話し手と聞き手の関係性や言葉を発する場面により言外の意味も異なる。「ごめん」は、親しい間柄で使用されることが多く、目上の人に対して使用すると、失礼な印象を与える。一般的には、「ごめん」は「謝罪」の場面で用いられる表現である

が、「感謝」の機能として使われることも多い。例えば、友人が助けてくれたときに、「ごめんね、ありがとう」というように、「ごめん」という言葉によって感謝の気持ちを表現することがある。いわば、「ごめん」という表現は、「謝罪」の機能をのみならず、「感謝」の機能も担い、日常会話で頻繁に使用される。

場面 9

阿部は菜緒が調理室の道具を片付けるのを手伝ってあげた。

菜緒：ごめんね、あべっち手伝ってもらっちゃって。

阿部：ううん。いいよ。今日は大事な日だからな。

『グッドモーニング・コール』

場面 10

菜緒が学校のロッカーで制服を探していたが、見つからなかった。それで、同級生が見つけて持ってきてくれた。

女性：これ廊下に落ちてたけど、吉川さんのじゃない。

女性2：ええ！？菜緒！制服落としたの？

菜緒：ああ。そうかも。ごめん、ありがとう。

『グッドモーニング・コール』

上記の二つの場面では、「ごめんね」（場面9）と「ごめん、ありがとう」（場面10）が使われている。このような感謝の場面で「ごめん」を用いる現象は、話し手は相手に負担がかかっていると解釈できる。二つの場面で「ごめん」を使用したのは、女性である。この点に関して、三宅（1994）は文化・社会的な要素の影響から分析した。感謝の場合は、日本人の女性によっては「ごめん」「すみません」が多く使われている表現である。また岡本（1992）は、感謝する場合には、その際、自分の利益に注目するか、相手の負担に注目するか、このどちらに注目するかが、感謝と謝罪の分かれ道であると述べている。「謝罪+感謝」表現の効果について、「すみません」というより「すみません+ありがとう」という形で感謝を表すことで、感謝の気持ちが倍になり伝わるのだと考えられる。

4.2.4 「すみません」類

「すみません」は、相手への謝罪や感謝、依頼などの気持ちを表す表現である。しかし、その使用方法には複数の解釈がある。また、文頭や文末で使用される場合によって、

どのような意味を表しているのか、どのような機能を担っているのかを検討する必要がある。そこで、語用論的な観点から「すみません」の機能を検討した結果、本研究で資料として扱った日本のテレビドラマと映画に表出された「すみません」の表現は「謝罪」以外に、「感謝」の意味として使われる場面が確認された。日本語母語話者の会話によって、それぞれ異なる機能を持つということがわかった。次のような場面において「すみません」の表現が出てきた。

場面 11

卓也が菜緒にプレゼントをあげる場面。

卓也：これお口に合うか分からないですけど。

菜緒：あ、すみません。お気遣いいただいて。

卓也：いえいえ。いつも久志がお世話になってるお礼ですから。

『グッドモーニング・コール』

場面 11 では、菜緒が卓也にプレゼントをもらった。菜緒が感謝の気持ちを表すのに「すみません」で感謝の気持ちを表した。この事例の「すみません」は「ありがとう」の意味で使われ、（あなたは私のために苦勞をしてくれた）という含意がある。つまり、何らかの利益を受けた相手に対する負担に配慮し、謝罪することによって感謝を表すことができる。「ありがとう」ではなく、「すみません、お気遣いいただいて」という表現によって感謝の意を強く表明している。相手がわざわざお金や手間をかけて、自分のためにプレゼントを用意してくれた。その目的は自分を喜ばせることであると理解しており、自分のうれしい気持ちを相手に表明することが感謝表現として機能する。

4.2.5 「助かる」類

「助かります」と「助かりました」という表現は感謝の意味を表す。しかし、「助かります」は現在形であり、未来のことを示している。一方で、「助かりました」は過去形であり、過去のことを示している。

語用論的に分析すると、「助かります」という表現は、未来に向けた依頼やお願いを表す際に使用される。一方、「助かりました」は、過去に何かを手伝ってもらった際に、その感謝の気持ちを表すために使用される。したがって、文脈によって使い方が異なる。

場面 12

菜緒は上原と病院にいたが、そろそろ帰るところである。

菜緒：じゃあ、私はここで。

女性：あんたお礼の一つぐらい言いなさいよ。

上原：いろいろ助かった。

菜緒：うん。お大事に。

『グッドモーニング・コール』

場面 13

大地：これ、去年のテスト用紙。勉強に使えるかなって思って。

菜緒：ありがとう。助かる。

『グッドモーニング・コール』

上記の場面（12）では、上原が倒れて、菜緒が病院まで連れて行った。その後、上原の義姉は、上原が入院したことがわかって病院まで行った。菜緒がこのまま帰ろうとした時、上原の義姉に止められた。「あんたお礼の一つぐらい言いなさいよ」と上原に言った。上原は「いろいろ助かった」という表現を用いている。この表現の使用に関して、三宅（1994）は、日本語では「助かった」のような話し手の利益に注目した表現が好まれているという。

場面（13）では、大地が去年のテスト用紙を菜緒に渡したところ、菜緒は「ありがとう。助かる」と答えた。語用論的に分析すると、「助かる」という表現は、相手からの手伝いに対して、感謝の気持ちを表している。「助かる」という表現は、受け取ったものが役立つことを期待しているのを示し、感謝する人は何かを手伝ってもらった場合に使われる感謝の表現として一般的に使われている。

「助かった」「助かります」のような表現は、相手によってもたらされた利益や恩恵などを受け、自分にとって良い結果を得たということを表明するものであると思われる。

表 4-1 本章のデータで収集した感謝表現と出現回数

日本語の感謝表現	数
ありがとう、いつもありがとう、わざわざありがとう	41
ありがとうね	7
ありがとうな	3
ありがとうございます、お心遣いありがとうございます、お忙しいところありがとうございます	35
ありがとうございました	8

ありがたく	1
感謝の気持ちを込めて	1
どうも、わざわざどうも	10
サンキュー	6
ごめん、ごめんね	2
すいません、わざわざすいません	6
どうもすいません	1
ごめんありがとう	1
すごい感謝していますよ	1
手伝ってもらいました	1
お世話になっている、お世話になりました、大変 お世話になりました、お世話になっているお礼	7
どうもお世話になります	1
助けてくれて	1
色々助かった、助かりました、助かった、来てく れて本当に助かりました、助かる	5
お待たせ、お待たせしました	5

表4-2 日本のドラマで収集した感謝表現の機能

表現	機能
ありがとうございます、ありがとう、あ りがとうね、ありがとうな、ありがた く、サンキュー	感謝
すごい感謝します、感謝の気持ちを込め て	感謝
お世話になっている、お世話になりまし た	感謝
手伝ってもらいました	感謝
助けてくれて、いろいろ助かった、助 かる	感謝
ごめん、ごめんね、すいません、わざわ ざすいません	感謝、謝罪
どうも	感謝、挨拶

どうもすみません	感謝、謝罪
お待たせしました	感謝、謝罪

4.3 日本語における非言語的な感謝表現

鈴木（2014）は、相手の意図と感情を把握するために、顔のみならず、体全体を使って、コミュニケーションするのが必要であると主張している。また、水沼（2004）によると、言語表現に比較すれば非言語表現のほうが隠すことが難しいのである。それは、多くの場合、無意識に非言語行動を行っているからである。対人コミュニケーションの主な担い手は送り手と受け手である。送り手は自分の伝えたいメッセージを伝達するために、様々な方法を使用する。しかし、メッセージが伝達されただけでなく、受け手がメッセージの内容を理解したかどうかによってコミュニケーションは成立つと考える。例えば、以下の例文は「抱擁」「お辞儀」が日本のテレビドラマと映画を通じて同時に言語と非言語の感謝表現が現れた場面である。

4.3.1 抱擁

抱擁は感情表現の一つであり、親密な関係や感謝、喜び、悲しみなど、さまざまな感情を伝える手段として使われる。

日本の伝統的な文化では、身体的な接触を避ける傾向があるため、親しい友人や家族といえども、抱擁は特別な場面や特別な感情を表す際に行われることが一般的である。しかし、近年では国際交流や異文化間のコミュニケーションが増えるにつれ、ハグのような抱擁も一部で受け入れられるようになってきていると考えられる。特に若い世代や国際的な環境での交流では、ハグが挨拶や感謝の表現として使われることが増えてきていると推測される。

場面 (1)

光石：大地先輩 お世話になりました。

大地：サンキュー!



図4-2 抱擁



図4-3 抱擁

場面(1)では、大地の卒業式で、後輩が「お世話になりました」という感謝を表している。「お世話になった」のような表現は、実際に助けてもらったり何かしてもらったりしたときに用いられている。図4-1では、感謝の言葉に「抱擁」の非言語の感謝も伴っている。先輩がこれから大学に進学することで別離を迎えるため、後輩たちは先輩と抱擁して感謝の気持ちと別離を惜しんでいる場面である。先輩の新たな道への激励など多義的な抱擁であると考えられる。日本では、人々の間の物理的距離に関しては、他者と肌を触れ合うようなコミュニケーションをとることがほとんどない。

図4-3は、夫婦の抱擁の場面である。場面の背景を補足すると、夫婦間の危機を乗り越えた二人である。ある日、別々に祭りを見に行ったとき、偶然に会った場面である。妻は「ありがとう」の言葉で感謝の気持ちを表しながら、二人は抱擁を交わした。この

場面では、感謝の気持ちを表すのに、「ありがとう」と、「好きだ」と相手への気持ちを伝えるなどの愛情表現も見られた。

4.3.2 お辞儀

「お辞儀」は、日本の伝統的な礼儀作法の一つであり、相手に対する敬意と感謝の意を表すために行われる身体的な動作である。一般的には、腰を曲げて頭を下げる姿勢をとるが、状況によって異なる種類のお辞儀が存在する。

例 (2)

女性1：はじめまして。香田と申します。

男性：あっ、ご長女の方？

女性2：はじめまして。浅野の家内でございます。お忙しいところありがとうございます。

女性1：父が大変お世話になりました。



図4-4 お辞儀



図4-5 お辞儀

図4-4 および図4-5では、「お忙しいところありがとうございます」「大変お世話になりました」という感謝表現と同時に非言語であるお辞儀の動作が見られた。図4-4では、右側の女性は、左側の女性の父が死ぬまで、世話をしてくれたことに対して、「父がお世話になりました」という表現で左側の女性が感謝の気持ちを表す。本論の研究データでは、感謝表現に伴い、お辞儀が多用された。また、図4-5では、遠方からお葬式に

来ただいたことに「お忙しいところありがとうございます」の表現で、相手に強く感謝の気持ちを表した。したがって、日本社会のコミュニケーションにおいては、感謝を表す非言語伝達の中の最も重要な要素は「お辞儀」であると言える。

4.4 本章のまとめ

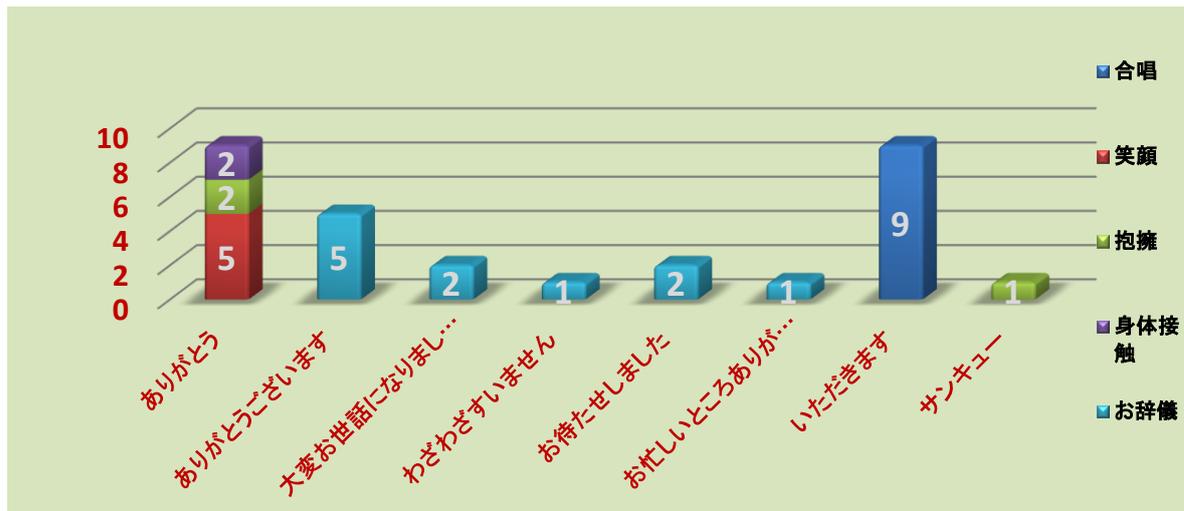
本章では、日本のテレビドラマと映画における言語・非言語感謝表現を考察し、感謝表現の語用論的な機能を分析した。言語の面から考察すると、日本語には、話し手と聞き手との社会的距離が遠い場合、特に年配の人に対しては「ありがとうございます」と敬語を使用する傾向が見られる。また、「サンキュー」は、家族や同級生など親しい間柄に対して用いられているが、聞き手と話し手の関係という制限があり、目上の人に使用するのは不適當である。

次に、日本語の一つの特徴として、感謝の気持ちを「すいません」「すみません」等の謝罪表現を用いて表すことが明確になった。例えば、何らかの利益を受けた相手に対しての負担に配慮し、謝罪することによって感謝を表すことができる。また、相手から何らかの行為を受けた場合「すいません、お気遣いいただいて」という表現によって感謝の意を強く表明されることも確認された。

そして、「助かった」「助かります」のような表現は、相手によってもたらされた利益や恩恵 などを受け、自分にとって良い結果を得られた際に感謝の言葉として用いられていると思われる。

感謝表現では、言語とともに働く非言語的表現は「身体接触」「抱擁」などの非言語コミュニケーションが非常に少ないという結果を得た。その中でも、日本社会の日常生活においては「お辞儀」が最も多く見られた。他者との良好な関係を作るために、「お辞儀」が必要であり、つまりそれは非言語コミュニケーションの重要な要素と考えられる。お辞儀は挨拶・感謝・謝罪等の様々な感情を表す非言語コミュニケーションであり、言語的な表現とともに多用されることがわかった。

次に、日本語における言語また非言語感謝表現をグラフ 4-1 に表した。



グラフ 4-1 日本語における言語・非言語感謝表現

結果、「お辞儀」「抱擁」「合掌」「笑顔」「身体接触」が現れた。しかし「抱擁」「身体接触」等の非言語コミュニケーションは非常に少なく、これに対して、「お辞儀」がもっとも多く見られた。そして、「お辞儀」は「ありがとうございます」「大変お世話になりました」「わざわざすみません」等の表現に伴って使われていた。本調査では、異なる感謝表現が使用されている。一方では、非言語感謝は「お辞儀」と「合掌」に限定されているということが明らかになった。

「抱擁」hall (1966) では、対人距離では、日本人は距離をとるのが一般的なので、堅苦しいとか友好的でないという印象を与えてしまう。日本はお辞儀の文化であり、握手の文化でないので、対話するときの人と人の間の空間が欧米より少し大きい。反対に欧米人の対人距離は日本人にとっては近すぎて、圧迫感を感じてしまうということが指摘された。しかし、八代 (2009) は、集団主義の文化では「和」の言葉が重要であり、「和」を乱すことは極力避ける。「集団の秩序を重んじ、互いに相手への思いやりと配慮を重視し、自己主張を控える。らせん的な話し方や飛び石的な話し方、お辞儀の挨拶は、相手への配慮の表れである」八代 (2009 : 83)

次に、日本人の表情に着目すると、「ありがとう」「どうも」等の感謝表現を発話とともに「怒り」の気持ちを表現する場面では、表情を読み取ることは難しいことがわかった。このような場面では、「ありがとう」「どうも」等の感謝表現が「怒り」の意味を表すのを判断することが複雑である。日本人は、相手に不快感を与えかねない場合は相手との衝突を避け、受信者の気持ちを悪くさせるような直接的な言葉を控える。つまり、誤解の恐れがあっても、自己より相手の気持ちを大切にすることが好ましいである。したがって、日本人は本心とは異なる表情表出が多いから、表情による感情表出への信頼性が低い可能性がある。

マツモト・工藤 (1996) は、実際に感じている感情と顔で表出する感情が食い違うの

は、日本人の大きな特徴とも言えると述べている。また、(Ekman & Friesen, 1975)によれば、日本人は表情による感情表出を抑え、社会的場面に適切な感情を表出するように表情をコントロールする傾向がある。つまり、日本人は相手と良い関係を作り、自己の感情より相手の感情を重視しがちであると言える。テレビドラマや映画にも、感謝の場面では、「すみません」「すいません」「ごめん」等の謝罪表現が使用された。つまり、「助かった、ありがとう」等のポジティブな気持ちになるだけでなく、「あの人に迷惑をかけてしまった」「悪かったな」という感情も生じてしまうのである。日本社会においては自己の感情より相手に深い思いやりや礼儀を考慮しながら、距離を置くというのは、日本人の美意識であると考えられる。

第5章：テレビドラマと映画に関する調査結果の分析と考察

本研究で収集したデータは、言語・非言語の面から分析し、語用論的な分析も行った。日本語とアラビア語エジプト方言における感謝表現の共通点と相違点を明らかにすることが本研究の目的の一つである。また、一部の場面では、感謝表現の機能が不明であるため、意識調査を行い考察する。

5.1 意識調査とインタビュー概要

日本語及びアラビア語エジプト方言のテレビドラマや映画で現れた感謝表現に関して意識調査を実地した。意識調査には、感謝表現が現れた場面を書き表し、それらの場面で使用されている感謝表現はどのような機能を担っているのかを明らかにすることが目的である。

感謝表現の多くの場面では、「感謝」の意味を表しているのが明らかである。しかし、感謝表現の使われ方は「感謝」の意味だけとは限らない。日本語における感謝表現の機能を明確にするため、両言語母語話者を対象に調査を行った。本章では、日本語及びアラビア語エジプト方言について、それぞれの母語話者を対象に意識調査を行った。

インタビュー調査の概要は研究資料として扱った日本のテレビドラマと映画に現れた「サンキュー」に関して、日本語母語話者を対象にインタビュー調査を行った。

一方、アラビア語エジプト方言については、「thank you」、「mersi」に関して、アラビア語エジプト方言話者を対象にインタビュー調査を行った。

日本語の意識調査対象は、20代から70代の日本語母語話者を対象とした。方法としてオンラインによる意識調査を試みた。以下の表5-1に具体的な情報を述べる。

表 5-1 日本語母語話者を対象にした意識調査の情報

期間	2022年2月から2022年3月（2ヶ月）
方法	グーグルフォームで質問を提示し、選択形式で回答を得る
目的	日本のテレビドラマと映画に現れた感謝表現の機能について調査する。一部の場面では、映像のみでは感謝表現の機能が不明であるため、意識調査を採用した。例えば、一部の場面では、感謝表現は「感謝」または、「謝罪」「挨拶」等のような機能を持つが、筆者は自分で判断が難しく、日本語母語話者を対象とした調査を行った。
対象	日本語母語話者（20代から70代の大学生から社会人）

次に、エジプト方言の意識調査であり、意識調査対象は、20代から70代のエジプト方言母語話者を対象とした。エジプト方言話者にはエジプト方言で調査を行った。方法としてオンラインによる意識調査を試みた。アラビア語エジプト方言の意識調査エジプト方言母語話者は93人である。以下の表5-2に意識調査の情報をまとめた。

表5-2 エジプト方言母語話者を対象にした意識調査の情報

期間	2022年2月から2022年3月(2ヶ月)
方法	グーグルフォームを利用した調査
目的	エジプトのテレビドラマと映画に出た場面の中に現れた感謝表現の機能について調査し、一部の場面では、映像のみでは感謝表現の機能が不明であるため、意識調査を採用した。
対象	エジプト方言母語話者(20代から70代の大学生から社会人)

そして、日本のテレビドラマと映画に現れた「サンキュー」の表現に関してインタビュー調査を行った。インタビュー協力者は241名であり、10代から60代にかけて日本語母語話者を対象とした。インタビュー対象の属性は、高校生から社会人である。以下の表5-3にインタビュー調査の情報をまとめた。

表5-3 日本語母語話者を対象にしたインタビュー調査の情報

期間	2022年9月(1ヶ月)
方法	オンラインインタビューおよび、対面インタビュー
質問内容	日常生活で「サンキュー」という表現を使うかどうか
対象	日本語母語話者(10代から60代の高校生から社会人)

インタビュー調査によって得られた回答は次の表5-6のようになった。

表5-4 「サンキュー」の使用(日本語母語話者)

年齢	男性		女性		合計	
	はい	いいえ	はい	いいえ	男性	女性
10代	11	6	34	10	17	44
20代	32	7	30	16	39	46
30代	0	0	3	4	0	7
40代	2	0	20	6	2	26

50代	1	1	26	11	2	37
60代	1	2	13	5	3	18
合計	47	16	126	52	63	178

本調査から「サンキュー」の表現が男性のみならず、女性も日常生活によく使うという結果が得られた。そして、テレビドラマと映画に表出された「サンキュー」は20代の男性のみに用いられているという結果に対して、今回のデータでは男性も女性も10代から60代のほぼすべての年代で使用していることがわかった。

エジプト方言話者を対象に、インタビュー調査を行った。インタビュー対象者は95名、10代から50代にかけてエジプト方言話者を対象とした。以下の表5-7にインタビュー調査の情報をまとめた。

表5-5 エジプト方言話者を対象にしたインタビュー調査の情報

期間	2022年10月（1ヶ月）
方法	オンラインインタビューおよび、対面インタビュー
質問内容	日常生活で「thank you」「mersi」という表現を使うかどうか
対象	エジプト方言話者（10代から50代の高校生から社会人）

表5-6 「Thank you」の使用（エジプト人）

年齢	男性		女性		合計	
	はい	いいえ	はい	いいえ	男性	女性
10代	1	6	12	1	7	13
20代	2	7	8	5	9	13
30代	2	10	9	2	12	11
40代	0	6	2	10	6	12
50代	0	6	1	5	6	6
合計	5	35	32	23	40	55

表5-6のように、「Thank you」の表現については、女性は日常生活でよく使っていることが認められた。そして、特に10代から30代にかけて「Thank you」の表現を多

く使用しているということがわかった。一方、男性は「Thank you」の使用が非常に少ないという結果が得られた。

表 5-7 「mersi」の使用（エジプト人）

年齢	男性		女性		合計	
	はい	いいえ	はい	いいえ	男性	女性
10代	5	2	13	0	7	13
20代	4	5	13	0	9	13
30代	9	3	10	1	12	11
40代	5	1	10	2	6	12
50代	0	6	3	3	6	6
合計	23	17	49	6	40	55

「mersi」について、表 5-7 から男性も女性も日常生活によく使うという結果が得られた。そして、テレビドラマと映画で表出された 20 代、30 代が使用しているという結果と照らし合わせると、男性も女性も 10 代から 40 代にかけて多く使用していることが分かった。若い世代の使用が多いという同じような傾向にあるものの、年代の幅が広いことが示された。

5.2 日本語母語話者の意識調査

日本語のテレビドラマや映画で使用されている感謝表現を収集したデータをもとに、感謝表現の使用を語用論の観点から分析を行った。しかし、一部の場面では、感謝表現の機能が不明であるため、意識調査を採用し、これについては本節で考察する。以下のように、感謝表現の機能が不明である場面を選び、日本人母語話者を対象に調査を行った。結果は、以下、表 5-8 のとおりである。

例 (1)

女性 1：これ廊下落ちてたけど、吉川さんのじゃない。

女性 2：ええ！？菜緒！制服落としたの？

菜緒：ああ。そうかも。ごめんありがとう。

質問 1：「ごめんありがとう」という表現はどのような機能を表しているのか

表 5-8 「ごめんありがとう」

機能	N	%
感謝	74	89.2
謝罪	2	2.4
感謝と謝罪	7	8.4
全体	83	100

表 5-8 について、「ごめんありがとう」は、感謝と謝罪の両方の機能を表しているという回答もあったが、感謝の機能を示すものが 89.2% と最多であった。

例 (2)

卓也：これお口に合うか分からないですけど。

菜緒：あ、すいません。お気遣いいただいて。

卓也：いえいえ。いつも久志がお世話になっているお礼ですから。

質問 2：卓也は菜緒にプレゼントをあげる場面。この「すいません」はどのような機能を表しているのか。

表 5-9 「すいません」

機能	N	%
感謝	74	89.2
謝罪	4	4.8
感謝と謝罪	3	3.6
どちらでもない	1	1.2
優しく気を使ってくれた言葉と、プレゼントに対して感謝の気持ちを込めつつ、謙遜の気持ちも込めて言っている。	1	1.2
全体	83	100

表 5-9 について、「すいません」が感謝の機能を持つという結果が一番多く得られた。先行研究と結びつけて考察すると、感謝場面における謝罪表現の使用は、日本語の典型的な配慮言語行動の一つであると考えられる。

日本語では「すみません」「ごめん」「申し訳ありません」などの謝罪の言葉が感謝の場面において重要な存在であると言える。

例 (3)

リン： どうも、リンです。

質問3：どうもはどのような機能を表しているのか。

表 5-10 「どうも」の使い分け

機能	N	%
挨拶	78	94
感謝	2	2.4
どうもは、挨拶の一種ですが、先生にはあまり使わないかも	2	2.4
話しかける（挨拶をするための）、きっかけの言葉です。これだけでは、挨拶にも感謝にもならないです。むしろ目上の方には失礼な言い方です。	1	1.2
全体	83	100

表 5-10 の結果から、「どうも」は挨拶の機能を持つということがわかった。この場面では、「どうも」という言葉が20代の女性により、40代の先生に対して使われている。しかし、回答の中には、「どうもは、挨拶の一種だが、先生にはあまり使わない」「目上に失礼な言い方である」等のような答えもあった。

例 (4)

お待たせしました

質問4：「お待たせしました」という表現はどのような機能を表しているのか。

表 5-11 「お待たせしました」

機能	N	%
謝罪	60	72.3
感謝	12	14.5
感謝と謝罪。待たせたことへの謝罪と、待ってくれたことへの感謝	3	3.6
礼儀としての発言	1	1.2
感謝・謝罪・挨拶	2	2.4
挨拶	4	4.8
敬意	1	1.2
全体	83	100

表 5-11 の結果から、72.3%が「お待たせしました」は謝罪の機能であるという回答を得た。しかし、日本語学習者にとっては、日本のテレビドラマと映画で聞く「お待たせしました」という言葉は、「感謝」か「謝罪」のどちらの機能かということを理解するのは、困難である。

5.3 エジプト方言話者の意識調査

アラビア語エジプト方言のテレビドラマや映画で使用されている感謝表現を収集した。そして、収集したデータをもとに感謝表現の使用を語用論の観点から分析を行った。しかし、一部の場面では、感謝表現の機能が不明であるため、意識調査を採用し、これについては本節で考察する。以下のように、感謝表現の機能が不明である場面を選び、エジプト人を対象にして調査を行った。結果は、以下のとおりである。

例 (5)

ا : إزيك؟
 بنة 1: ال حمد
 ا : مالك نة كده ليه؟
 بنة 2: نة عشان مويطله
 ا : حني زعل عشان مويطله مسرق . طب ال حمد . لة مسرق عشان ت عفى يتوكزى
 بنة 1: ببلا الشيخ إزيك لة مخزقة ومطيفة وب الك ده .
 ا : طب خ ص . اهو (مويطل جيدي)
 بنة 1: ليه ده؟ ده لجلي مراللى كان معلي . بيبي ويبلبا
habibi ya baba

例 5 (翻訳)

携帯が盗まれた後、父親は娘を落ち着かせようとしている。

父親：元気？

娘 1：おかげさまで

al-ḥamdu li-llaah

父親：何がそんなに悲しい？

娘 2：携帯が盗まれたから悲しい。

父親：携帯電話を盗まれて、怒っている人がいる？盗まれたからおかげさまで。勉強できるから。

al-ḥamdu li-llaah

娘：お父さん！アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように、この話をやめてく

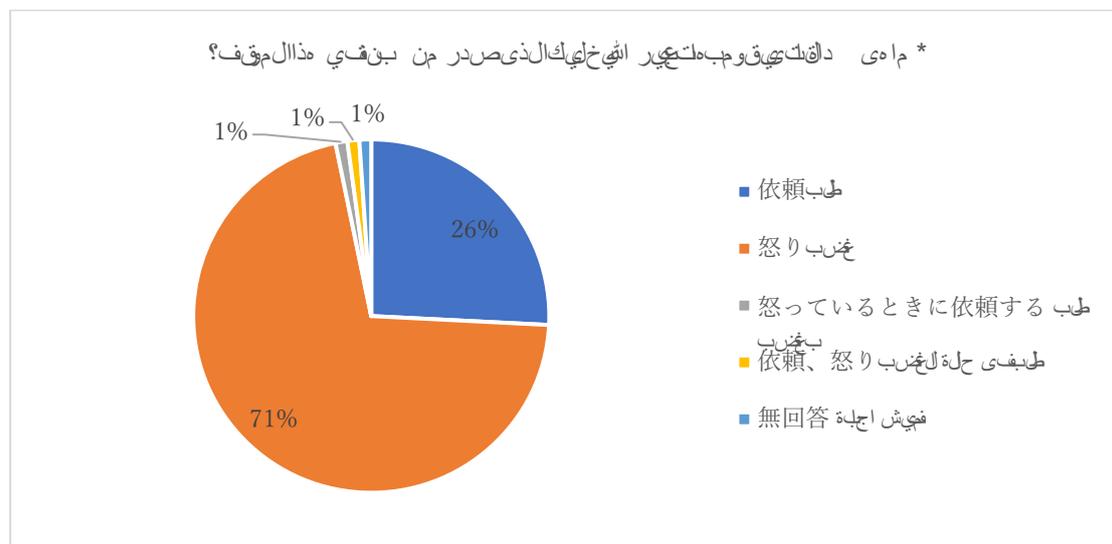
れる？もう本当に怒っているから。

allaah yihallii-k

父親：わかった。わかった。これ！（新しい携帯電話を買ってあげた）。

娘：え？本当？すごい！持っていた携帯電話よりもこのほうがいい！私の大切なパパ。

ḥabii-bi ya baba



グラフ 5-1 エジプト方言における「allaah yihallii-k」

質問と答えの翻訳

*質問： この場面では、「allaah yihallii-k」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）の表現はどのような機能を持つのか。

例（5）では、感謝表現は「al-ḥamdu li-llaah」「al-ḥamdu li-llaah」「allaah yihallii-k」「ḥabii-bi ya baba」の4回確認された。そして、それぞれの意味は異なる。まず、お父さんは娘の具合をたずねた時、娘は悲しい声で「al-ḥamdu li-llaah」（おかげさまで）という表現で返事をした。これは話者が自己の「悲しみ」を表現している。エジプト人は悪いことであっても「al-ḥamdu li-llaah」という表現を使っている。日常生活には、エジプト人は「アッラー」の意志と受け取り感謝する。

次に、お父さんは「al-ḥamdu li-llaah」の表現を使ったが、「悲しみ」と違う意味になり、お父さんは携帯電話が盗まれたことを感謝していると解釈できる。そこで、娘が「allaah yihallii-k」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）という表現でお父さん（ほっといてください）という願いをしている。「allaah yihallii-k」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）は、単に「ありがとう」の意味だけでなく、「お願いします」と何か頼む時などにも使う。この場面では、依頼の機能を持ち、「お願いします」という意味として使用されているということがわかった。しかし、こ

の場面では「allaah yihallii-k」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）は「依頼」も「怒り」の機能も担う可能性があるため、エジプト方言話者に対して意識調査を行った。

グラフ 5-1 の結果をみると、この場面で使用されている「allaah yihallii-k」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）の表現は依頼の機能を持つのは、26%であるに対して、怒りの機能を持つのは、71%を占めているということが明らかになった。つまり、「怒り」の機能を担っていることがわかった。

例(6)

أقبل مقولك في اكرم أنت في شو أفشنى تقبل ل لى بشكرك .
 ب: طبعاً اعمرى ما انا نزل وس يه .

例 6 (翻訳)

男性が二人。A が B のタクシーに乗って、タクシーの中に莫大な金額を忘れてしまい、B が A にこのお金を返した。

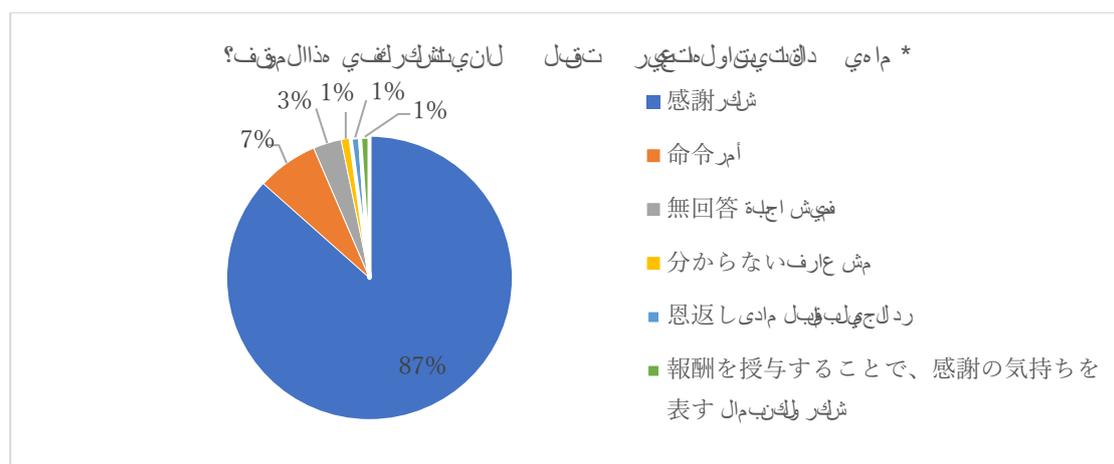
A：アカラム！あなたが私を救ってくれたことについて話す前に、感謝を受けなければならない。(お金をあげる)

laazim ti'bal il-'awwal 'inni 'atšakkar-ak

義務 あなた(男)が受ける (冠詞)-初め(引用)私は 感謝する - あなた(男)

私があなたに感謝することを、あなたは初めに受け入れなければならない。

B：いいえ、無理。このお金を絶対に受け取れない。



グラフ 5-2 「laazim ti'bal il-'awwal 'inni 'atšakkar-ak」

質問と答えの翻訳

* 質問： この場面では、「laazim ti'bal il-'awwal 'inni 'atšakkar-ak」（感謝を受けなければならない）の表現はどのような機能を持つのか。

「救ってくれた」のような表現は、相手によってもたらされてきた利益や恩恵を受け、自分にとって良い結果を得たということを表明するものである。(A)は「理由」について説明する前に、「laazim ti'bal il-'awwal 'inni 'atšakkar-ak」(感謝を受けなければならない)という表現で感謝の気持ちを表している。命令の機能を持つという回答は、7%であるに対して、感謝の機能を持つのは、87%を示している。上記の例では、(A)はシリア人、(B)はエジプト人である。(A)は自分のお金が返金されたから、(B)に謝礼を出した。アラブ社会ではシリア人だけではなく、なくしたものを相手が見つけた場合は、謝礼を出すというのは、一般的なことと言える。



図 5-1 怒りの機能を果たす感謝の非言語コミュニケーション

例 (7)

أ: ازيك يامريومة . هو انى ليه مجتيش باركتلنا فى البيت . ده بيتك على فكرة

ب: رينا يخليكى

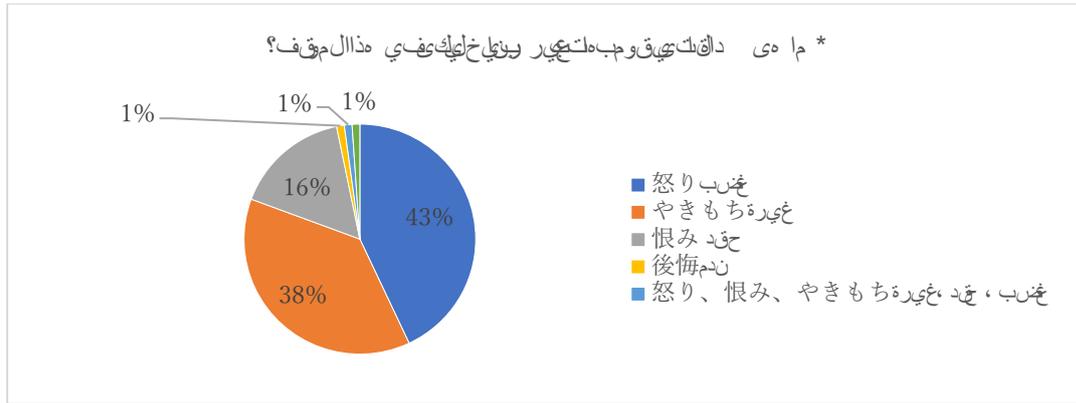
例 7 (翻訳)

二人の女性が話している場面である。BはAと話すことを好まないが、Aに話かけられた。

A: どうしているの、マリアム。この家はあなたの家なのに、どうして来てくれなかったの。

B: アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように。

rabb-ina yiḥallii-ki (女性形)



グラフ 5-3 エジプト方言における「rabb-ina yihallii-ki」

質問と答えの翻訳

* 質問：この場面では、「rabb-ina yihallii-k」(アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように)の表現はどのような機能を持つのか。

例7について、場面における話の背景は、AはBの父親と結婚した。AはBと仲良く話したかったが、Bは父親の結婚に反対で、女性Aと話したくない。BはAに対して「rabb-ina yihallii-ki」(アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように)と感謝表現を使っている。

一番多かったのは、怒りの回答である。次いで、やきもち 38%、恨み 16%であった。

例 (8)

ا : أنا عجزتك بكلمة خالك ل هاردة موييس ال علكى تليم .
 بنة : مش هكلمه ال مفروض مؤللى يتصل بي ا .
 ا : طلى . افتكر تخرك

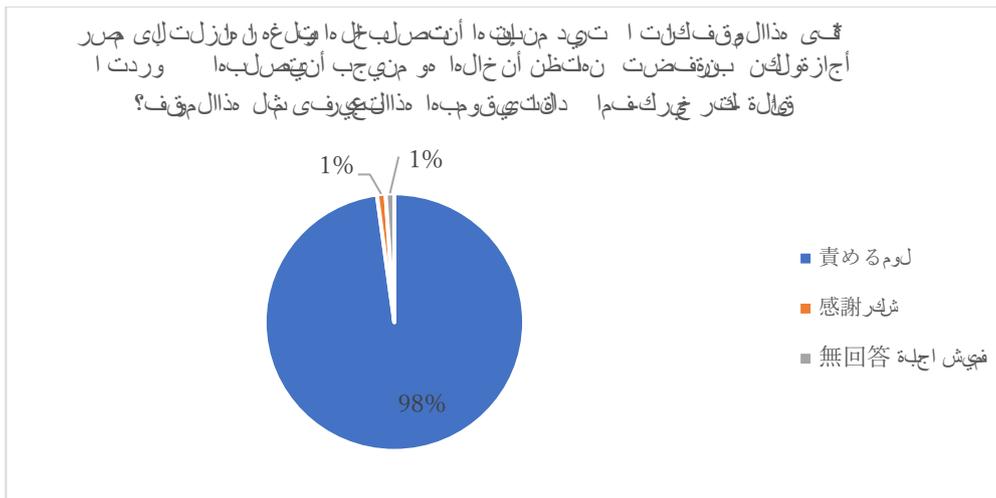
例 8 (翻訳)

母：今日はおじさんに連絡してほしい。いつもあなたのことを聞いているよ。

娘：私は連絡しない。彼が私に連絡したいなら、いつでもどうぞ。ただし、私のほうからは連絡しない。

母：わかった。あなたの豊かさが増えますように。

kattar heer-ik, allaah yibaarek lik
 彼が増す 良いこと -あなた(女) 神 祝福するよう あなた(女)に



グラフ 5-4 エジプト方言における「kattar heer-ik」

質問と答えの翻訳

* 質問：娘は海外から一時帰国した。お母さんから「おじさんに連絡してね」というお願いをしたが、彼女はお母さんの願いを断った。お母さんは、「kattar heer-ik」(あなたの豊かさが増えますように)と感謝表現を使用した。
 「kattar heer-ik」(あなたの豊かさが増えますように)の表現はどのような機能を持つのか。

例 8 について、娘は海外から一時帰国した。お母さんから「おじさんに連絡してね」というお願いをしたが、彼女はお母さんの願いを断った。お母さんは、「kattar heer-ik」(あなたの豊かさが増えますように)と感謝表現を使用した。この場面では、お母さんは娘を非難している。「kattar heer-ik」は感謝の機能ではないことが明らかである。エジプト方言では、依頼を断った時は、感謝の言葉を発しながら、言外の意味としては相手を非難している。



図 5-2 威嚇の機能を果たす感謝の非言語コミュニケーション

いる。Aは同じ表現を用い「アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように、サクル」を使っている。この場面のAの発話はどのような機能を持つのか、エジプト方言話者を対象にした意識調査の結果では、「威嚇」の機能を持つということが明らかであった。BはAの弟を誘拐したため、Aは非常に怒り、このような表現で相手を威嚇したと考えられる。

5.4 両言語における感謝表現の類似点と相違点

5.4.1 感謝します/ mutšakkir

例 (10)

先輩：僕今日の練習試合あってさ。

後輩：そっか。だよね！忙しいのにごめんね。

先輩：お前本当追い詰められないと全然やらないタイプだもんな。夏休みの宿題 自由研究 読書感想文。

後輩：全部大ちゃんに手伝ってもらいました。

先輩：俺もうちょい感謝されてもいいと思うんだけどな。

後輩：してるよ大ちゃん。すごい感謝しています！

先輩：頑張れよ！じゃあな！

後輩：うん、ありがとう。じゃあね。

例 (11)

أجوك طبع ان كنتزعل على الفراق بسال بيها مش بتقف. الشغل بيدهى لواحده عن أحزله.
ب: مش عارف أولك بيه. لأ بتشكر جدا.
أ: على بيه.
ب: بتسأه مع مزة رأس.

例 11 (翻訳)

女性：死別は辛いですが、人生は止まらない。たくさん仕事をすれば悲しみが忘れられる。

男性：何も言えない。本当に感謝している。

mutšakkir giddan

感謝している(分詞・男単) 非常に

大変ありがとう(ございます)

女性：いえいえ。

男性：笑顔(何も言わない)

例 (12)

ص ح : happy birthday

ندی : هيسى اوى اوى

例 12 (翻訳)

男性：誕生日おめでとう。

女性：どうもありがとう。

mersi 'awi 'awi

男性：これはちょっとしたプレゼントだよ。

女性：これは最高だよ。プレゼント、感謝しているよ。

mutšakkiriin

(分詞・複) 感謝している

日本語談話例 (10) の場合は、後輩が先輩に負担をかけたため、素直に深い感謝を伝えようとして、「すごい感謝しています」という表現で感謝を伝えている。エジプト方言談話例(11)と(12)では「mutšakkir gidan」 「mutšakkiriin」が使われている。例(11)では、「mutšakkir gidan」は親しくない者同士の場面で使用されているが、例(12)では、男性が女性に誕生日プレゼントを手渡し、女性は「mutšakkiriin」と感謝を表明している。特別親しくない者同士でも、親しい者同士でも「mutšakkir (a)」 「mutšakkiriin」の使用回数が多かった。しかし、本調査では、このような表現の使用は一回に対して、エジプト方言のほうが多く使用されている。

5.4.2 外来語の感謝表現

日本語でもアラビア語エジプト方言でも「thank you」の感謝表現は感謝の意味を表している。本調査の日本語のテレビドラマと映画では、「サンキュー」の表現は男性のみが使うという結果を得た。しかし、日本語母語話者を対象にし、インタビュー調査を行ったところでは、「サンキュー」の表現は男性のみならず、女性も日常生活においてよく使うという結果が得られた。そして、テレビドラマと映画に出た「サンキュー」は20代の男性のみが用いているという結果に対して、本調査の結果では男性も女性も10代から60代のすべての年代層において使われていることが分かった。

エジプト方言のテレビドラマと映画では、「thank you」はすべて女性によって使用されている。エジプト方言話者を対象にし、インタビュー調査を行ったところでは、女性は日常生活によく使うに対して、男性は「thank you」の使用が非常に少ないという結果が得られた。女性は10代から30代にかけて「thank you」の表現を多く使用しているということが示唆された。

「mersi」については、男性も女性も日常生活によく使うという結果が得られた。そして、テレビドラマと映画で表出された「mersi」は20代、30代が多く使用しているという結果に対して、インタビュー調査では男性も女性も10代から40代にかけて多く用いているということが分かった。

加えて、エジプト方言話者は「thank you」よりフランス語の「mersi」のほうが多かった。「mersi」は外来語にも関わらず、エジプト方言話者は日常的に多用している。日本語話者は親しい同僚や友人に対して「サンキュー」の感謝表現を使用しているが、目上の方や、上司などにお礼を伝えるときには、「サンキュー」は使用されていない。一方で、エジプト方言話者は「mersi」の表現は軽い感謝表現として用いられているが、エジプト方言母語話者は、相手との立場に関係なく外来語の「thank you」および「mersi」で感謝を表していることが多い。また、「merci」は感謝の意味に限らず、「断り」「会話終了」の機能も担うということが明らかになった。「thank you」はすべて若者によって使用されているのに対して、「mersi」は幅広い年齢層の男女に使用されている。しかし、男性より女性の方が頻繁に使うことが観察された。

5.5 感謝の機能を持つ謝罪表現

5.5.1 日本語の用例

例 (13) : (菜緒の母が上原に何かをあげる場面)

菜緒：お待たせ。

菜緒の母：はい。上原君、どうぞ。

上原：すいません。

例 (14) : (卓也が菜緒にプレゼントをあげる場面)

卓也：これお口に合うか分からないですけど。

菜緒：あ、すいません。お気遣いいただいて。

卓也：いえいえ。いつも久志がお世話になってるお礼ですから。

5.5.2 アラビア語エジプト方言の用例

例 (15)

أ: والله مكشراي هـ ده التبع دهيا .
ب: تبع لي بس . بيه حاج قسيطة. كان فيسى أعمال أفتنر من كدة.
أ: تبعم لي هـ؟ انت مثال مفسر وضعت عمل حاجة.

例 15 (翻訳)

(男性二人の会話である。B は A の娘さんの婚約式に出席し、プレゼントをあげた場面)
A は B にプレゼントをあげる。

A : 本当に疲れさせたね。そんなことをする必要はない。

wallaahi, ma-kan-š li lazma it-ta'b da, 'aasif li-ta'b-ak

神にかけてなかった私に義務(冠詞)-苦労 このすまない～ため-苦労-あなた(男)

本当に、この苦労はかけてはいけなかった、あなたの苦労、申し訳ない

B : 気に入ってもらえるといい。もっとしたかったのに。

A : 何を?! これ以上はいらないよ。

上記の例 (15) では、男性同士は親友であり、旧知の仲である。気持ちを表す表現は、「ありがとう」ではなく、「本当に疲れさせた」という表現によって感謝の意を強く表明している。相手がわざわざお金や手間をかけて用意してくれた。相手の目的は自分を喜ばせることであると理解しており、自分のうれしい気持ちを相手に表明することが感謝表現として機能する。A は、相応な贈り物を渡しにもかかわらずいいプレゼントを買ったのに、「もっとしたかったのに」という表現で自分を謙遜している。

例 (13) と例 (14) では、謝罪型表現「すいません」が使用されている。このように、何らかの利益を受けた際、相手の負担に配慮して謝罪することによって感謝を表すことができる。感謝の場面で使用される謝罪表現は日本語もエジプト方言も同様であるということがわかった。ただし、エジプト方言話者と比べ、日本語母語話者のほうが他人から恩恵を受ける際に、感謝表現より謝罪型表現の選択をする傾向が見られた。

5.6 日本語における「どうも」

「どうも」は、日本語における一般的な表現であり、さまざまな文脈で使用される。語用論的な分析では、「どうも」は、日本語での感謝の意を表すときに使われることがある。例えば、店員に対して商品を渡されたときに「どうもありがとうございます」というように、礼儀正しさを示すために用いられる。この場合、「どうも」は、相手に対する敬意や感謝の気持ちを示す表現となる。以下、例 (18) に示す。

例 (16)

タワポン : 鈴木さん、冬休みに友達とスキーに行きたいんですが、

どこかいい所ありませんか。

鈴木 : 何日ぐらいの予定ですか。

タワポン : 3日ぐらいです。

鈴木：それなら、草津か志賀高原がいいと思いますよ。

温泉もあるし……。

タワポン：どうやって行くんですか。

鈴木：JRでも行けますが、夜行バスなら、到着きますから、便利ですよ。

タワポン：そうですか、どちらが安いんですか。

鈴木：さあ……。旅行会社へ行けばもっと詳しいことがわかりますよ。

タワポン：それからスキーの道具や服は何も持っていないんですが……。

鈴木：全部スキー場で借りられますよ。心配なら、旅行会社で予約もできるし…。

タワポン：そうですか。どうもありがとうございました。

『みんなの日本語初級Ⅱ』第35課、「会話」、p.77

『みんなの日本語』の会話において、「タワポン」が「鈴木」にスキーに行ける場所について情報を聞き、「鈴木」が詳しく情報を教える場面である。情報を教えてもらった後に「タワポン」が「鈴木」に「どうもありがとうございます」の表現を用いて、感謝の気持ちを表している。次に、「どうも」が現れた場面を提示する。

例 (17)

男性：みくりさん？

女性：ああ どうも 先日は。

おすまいこの辺なんですか？

男性：すぐそこです。津崎さん まだ残業してましたよ。

『逃げるは恥だが役に立つ』

以上の例では、「どうも先日は」は軽い感謝として使われている。『大辞林』によると、「どうも」は感謝や謝罪の気持ちを表すものである。また気楽な挨拶として用いられている。「どうも」は様々な意味を持ち、前後の文脈を見なければ感謝なのか謝罪なのか判断しにくい。例 17 では、「ありがとう」の代わりに「どうも」で済ませている。しかし、「どうも」は、様々な意味として使われるから、次に示す例 (18) および (19) に「挨拶」の意味で使われている例文を挙げる。

例 (18) 女性：どうも。リンです。

例 (19) 男性：あ、どうも こんにちは。

日本語では、人と会った際に「どうも」という言葉を挨拶としてよく使用している。「どうも」は挨拶として多く使用され、初めての出会いにも用いられている。「先

日はどうも失礼いたしました」「お土産どうもありがとうございます」「どうも先日はお世話になりました」等の表現がある。「どうも」は様々な意味を用いて、感謝のときに「ありがとう」の代わりに「どうも」ですませ、友達と顔を合わせて「こんにちは」の代わりに「どうも」であいさつする。「どうも」は日本語の便利な表現であると言える。

5.7 アラビア語における命令の感謝表現

例 (20)

أقبل مقولكواكرمأت في شواأقشنى تقبل للى تشكرك .
ب: طعأأ عمرى ما اءاظللوس بيه .

例 (20) (翻訳)

男性が二人。A が B のタクシーに乗って、タクシーの中に莫大な金額を忘れてしまい、B が A にこのお金を返した。

A: アカラム! あなたが私を救ってくれたことについて話す前に、あなた感謝を受けなければならない。(お金をあげる)

laazim ti'bal il-'awwal 'inni 'atšakkar-ak

義務 あなた(男)が受ける (冠詞)-初め(引用) 私は感謝する - あなた(男)

私があなたに感謝することを、あなたは初めに受け入れなければならない。

B: いいえ、無理。このお金を絶対に受け取れない。

例 (20) では、B に対し、A は感謝したが、命令の形で感謝を表した。つまり、相手は感謝を受けなければならないという意味として使われている。感謝をした話し手はシリア方言話者であるが、エジプト方言話者でもこの場面で感謝の表現を使う際は、エジプト方言で命令の感謝表現を使用する。一方で、日本語のデータでは、命令の感謝表現は一つも見られなかった。

5.8 日本語における「お世話になる」の表現

例 21 後輩: 大地先輩! お世話になりました。

例 22 (卓也が菜緒にプレゼントをあげる場面。)

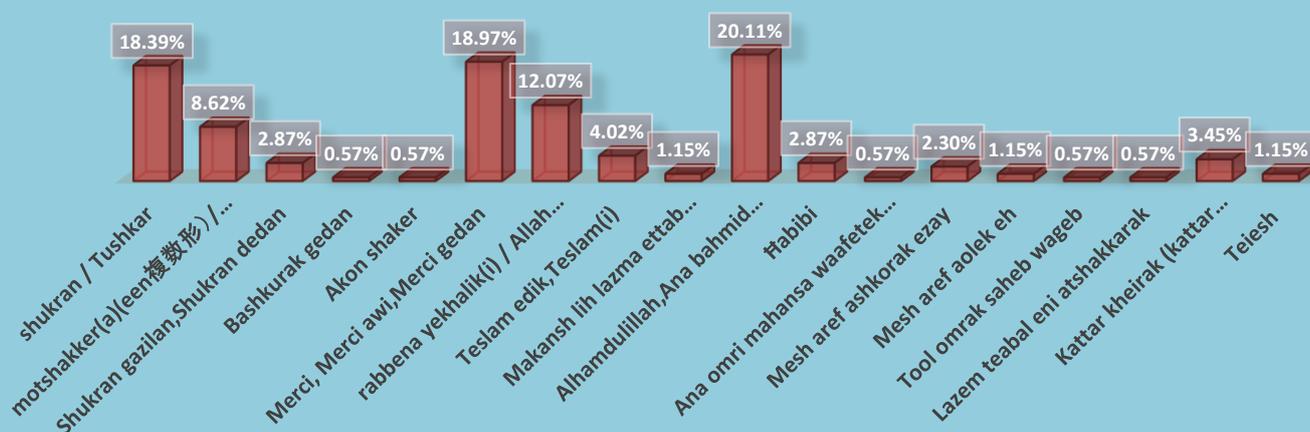
卓也: これお口に合うか分からないですけど。

菜緒：あ、すいません。お気遣いいただいて。

卓也：いえいえ。いつも久志がお世話になってるお礼ですから。

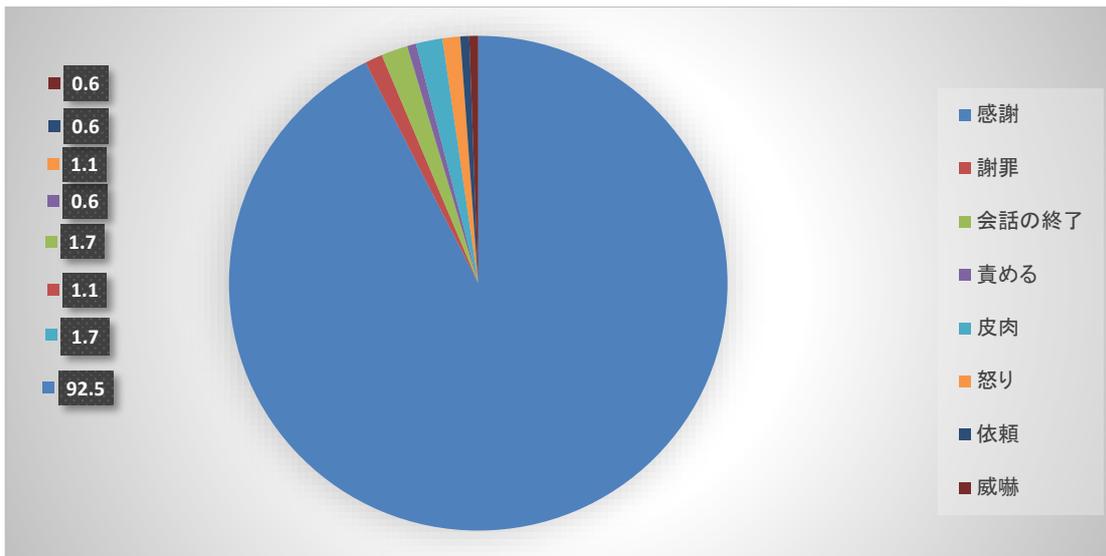
「お世話になります」という表現は、実際に助けてもらったり何かの行為に対して使われている。また、実際に相手の世話などを受けていない場合にも用いられる。例えば、メールを送る際に、最初に「お世話になっております」という挨拶から書き始める人が多い。こうした冒頭の挨拶を欠くと、本文がいくらしっかりしていてもマイナス評価につながってしまう可能性が高い。

5.9 調査結果のまとめ



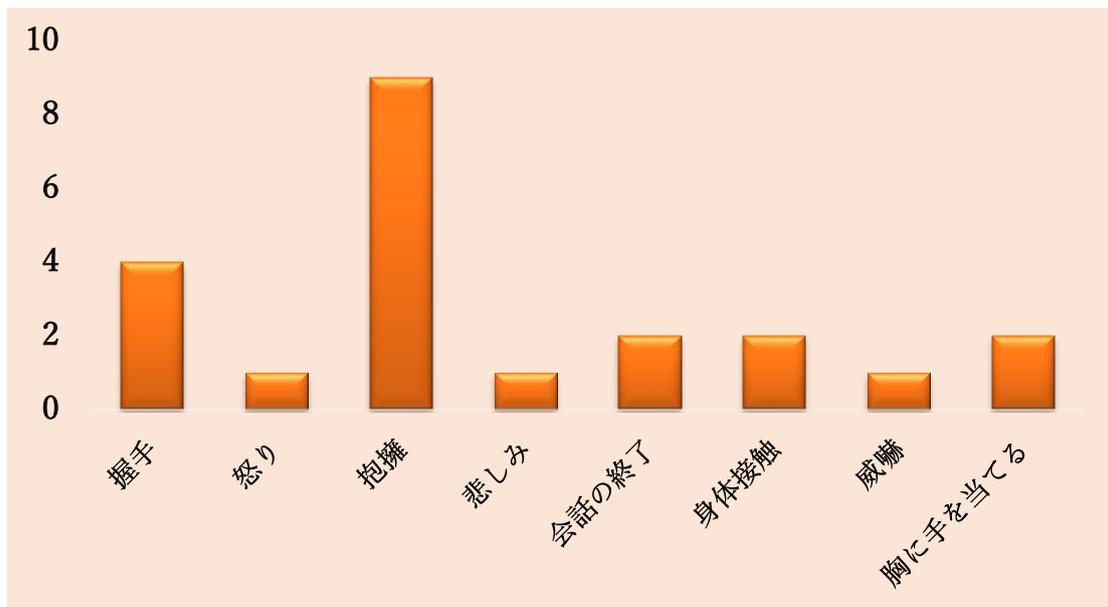
グラフ 5-6 アラビア語エジプト方言における感謝表現

調査結果では、最も使用されているのは、「al-ḥamdu li-llaah」（おかげさまで）である。また、フランス語の「mersi」（ありがとう）は女性に多く使われている。グラフから分かるように、アラビア語エジプト方言における感謝表現は様々であり、日常生活の中では、多くの感謝表現が用いられている。また、「šukran」（ありがとう）の表現も多用された。その他、エジプト方言話者は、相手に直接感謝するだけでなく、「allaah yihalli-k」（アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように）等のような表現を用いて、相手に良いことが起こることを願うことを通じて、感謝を表明している場面も多く見られた。そして、日常会話では、アッラー（神様）に「al-ḥamdu li-llaah」（おかげさまで）という表現で感謝の気持ちを表すということが明確である。



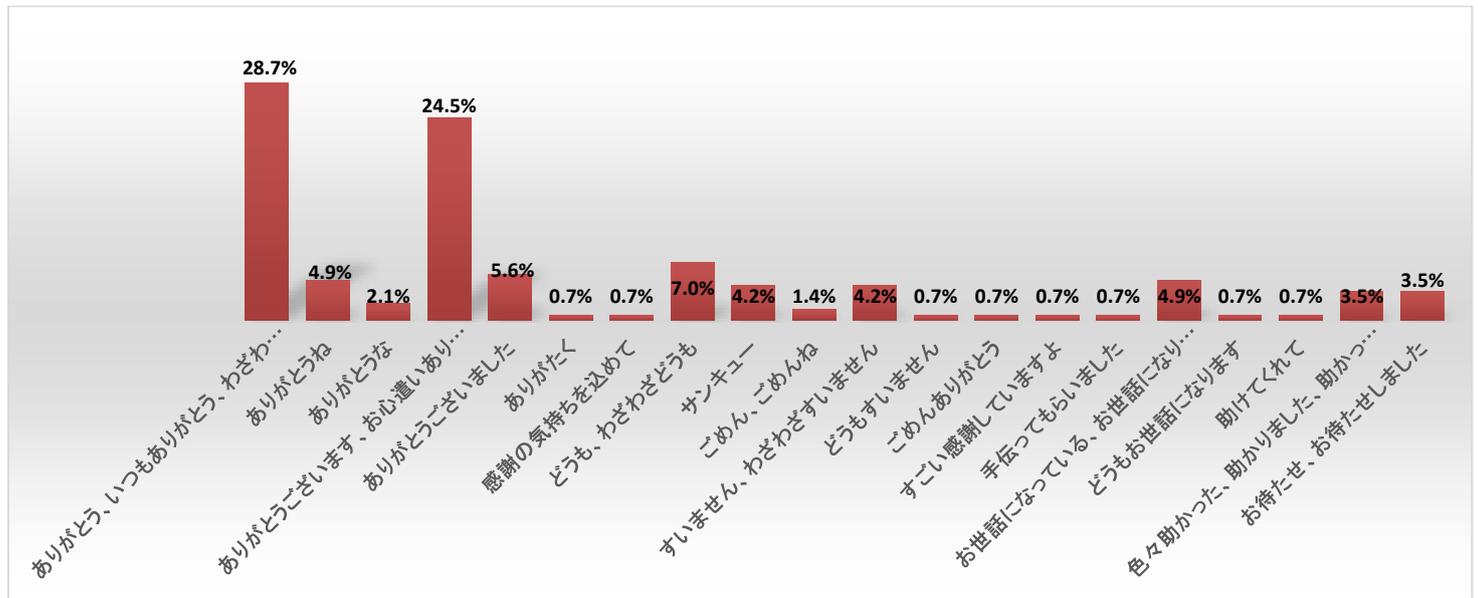
グラフ 5-7 アラビア語エジプト方言における感謝表現の機能

グラフ (5-7) の結果から、エジプト方言の感謝表現は「感謝」以外にも、「断り」「依頼」「非難」「皮肉」「怒り」「威嚇」「会話の終了」「謝罪」の機能が含まれているということが認められた。そして、その中でも「感謝」の使用頻度が著しく高いことが明示された。また、感謝表現は「会話終了」の機能を持つということが明らかになった。相手からアドバイスもらった時に、このアドバイスが気に入らなかった場合は、「šukran」「mersi」(ありがとう)等の感謝表現を用いて、会話を終了する。



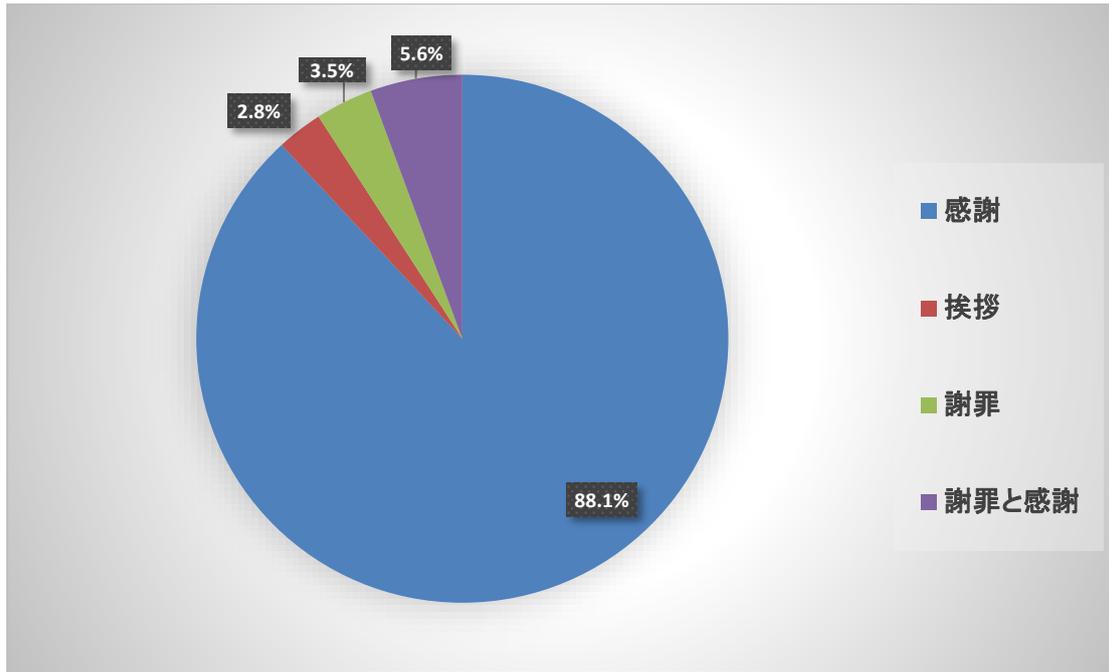
グラフ 5-8 アラビア語エジプト方言における非言語的な感謝表現

グラフ (5-8) から、非言語的な感謝表現には「抱擁」が最も多く使用されている。家族の間で感謝を表明するときは、感謝の言葉は少なく、「抱擁」などの非言語表現が多く見られた。また、初対面や親しくない相手に対しては感謝の言葉を使い、「握手」の非言語も多用される。エジプトの文化では、言語より、抱擁などの非言語表現が強いと考えられる。



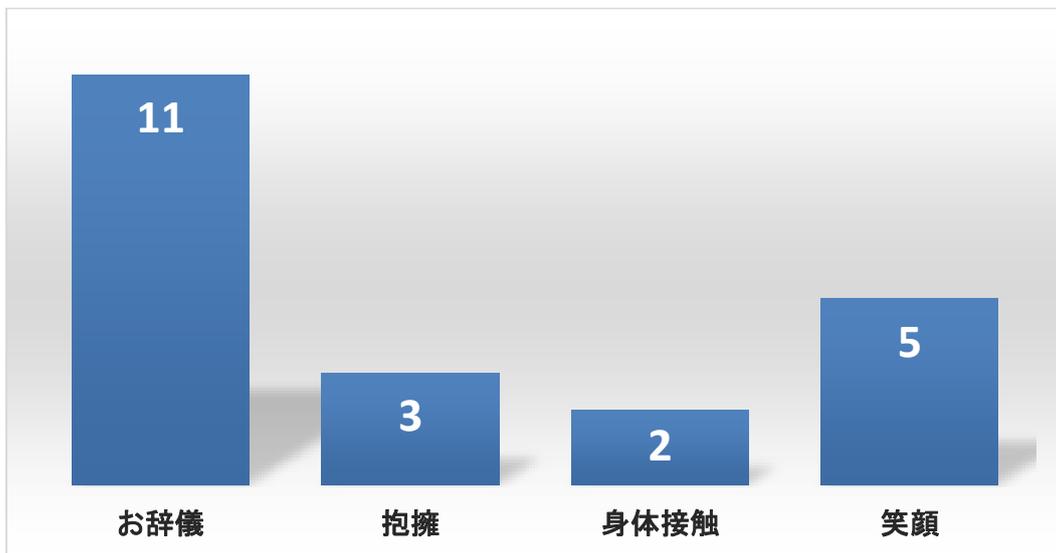
グラフ 5-9 日本語における感謝表現

グラフ 5-9 から見ると、日本語では日常でよく使われている表現は「ありがとう」「どうもありがとう」「ありがとうございます」等の表現である。しかし、「ありがとう」はカジュアルで、友達や家族の間で使われているが、目上の人などに対して失礼な印象を与える可能性が高い。そして、日本語の感謝表現には、一つの特徴が見られた。それは、親しくない相手や目上の人に対して「すみません」「わざわざすみません」等の謝罪表現が使われることである。何らかの利益や恩義を受けた際に、他人に対して「ありがとう」の代わりに「すみません」の表現を使うことが認められた。また、「お世話になりました」は、何かしてもらったり助けってもらったりしたときに使われている。そして、相手が自分に良いことをしてくれたと評価している。気持ちを表す表現は、「ありがとう」と言うより、「助かった」「いろいろ助かった」のほうが、感謝の意を強く表明できると思われる。相手によってもたらされてきた利益や恩恵などに対し、自分にとって良い結果を得たということを表明するものである。



グラフ 5-10 日本語における感謝表現の機能

グラフ 5-10 に示されているように、感謝表現の機能は全体の約 90%が感謝であり、その他、「謝罪と感謝」約 5%、「謝罪」は約 3%という値であった。「感謝」の機能の使用頻度が高いことが認められた。そして「どうも」の挨拶表現は「感謝」「謝罪」「挨拶」の機能も表すということがわかった。

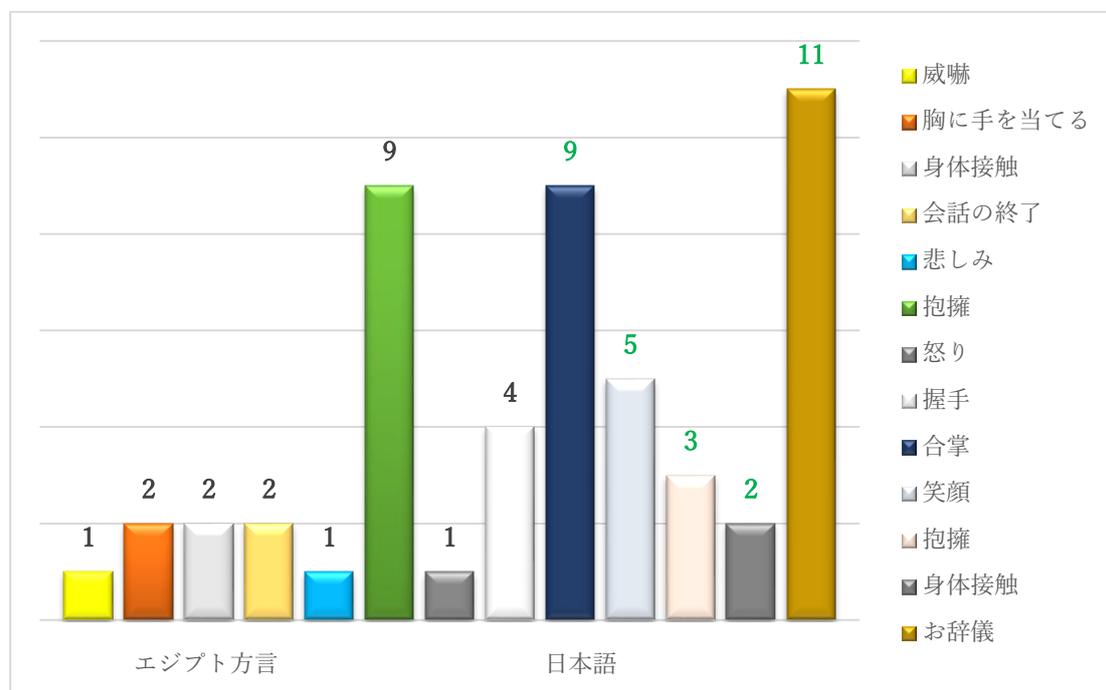


グラフ 5-11：日本語における非言語的な感謝表現

グラフ (5-11) から分かるように、日本語における非言語的な感謝表現には「お辞儀」がもっとも多い。

家族の間で感謝を表明するときは、感謝の言葉は少なく、抱擁などの非言語がみら

れた。また、親しい間柄では「ありがとう」の言葉を使う代わりに、「笑顔」のみで、感謝の気持ちを伝える場面が多く見られた。「抱擁」「身体接触」も現れたが、それほど高くなかった。



グラフ 5-12 日本語とエジプト方言における感謝出現の回数

グラフ 5-12 に、日本語とアラビア語エジプト方言における感謝表現の割合をまとめた。非言語表現は全部で 13 項目である。「黒色」で書かれている数字は、アラビア語エジプト方言の非言語感謝表現である。「緑色」で書かれている数字は日本語の非言語感謝表現で示した。日本語における非言語コミュニケーションは「合掌」「笑顔」「抱擁」「身体接触」「お辞儀」であるのに対し、エジプト方言における非言語コミュニケーションは「威嚇」「胸に手を当てる」「身体接触」「会話の終了」「悲しみ」「抱擁」「怒り」「握手」である。

日本とエジプトにおける日常的な挨拶を見ると、日本の場合は、「お辞儀」が一般的な挨拶である。エジプトの場合は、「抱擁」が多い。エジプト方言話者は相手に感謝すると、「抱擁」が多かった。これに対して、日本人は「お辞儀」が多かったという結果を得た。

第6章：感謝表現に対する文化の影響

第3章以降、日本語とアラビア語エジプト方言における感謝表現の種類とその機能について言語・非言語の両面から分析と考察を重ねてきた。

アラビア語エジプト方言における感謝表現の使用はイスラーム教と密接な関係があることがわかった。また、エジプト人に限らず、アラブ人は相手との会話で、「アッラー」について述べる。しかし、日本人の場合は、日常生活の会話では、「神」に触れることはほとんどないように思われる。つまり、日本人は日常生活の中で、人に対して「助かった」「お世話になります」「ありがとう」等の感謝表現を用いるのが当然であると考えている。

本章では、以上の結果を踏まえて文化面から考察していきたい。

6.1 感謝表現に対する宗教の影響

日本の日常生活には感謝表現が頻繁に使用されている。本節では、宗教と学校教育の影響があるかどうかについて考える。

日本人の生活に儒教の影響は少なからず存在するであろう。食事の前に、「いただきます」で表現し、頻繁に「ありがとう」も使用する。日本では、感謝の気持ちを態度できちんと表すことが、礼儀として重要視されている。それは、儒教の教えが強かったからだと考えられる。日本人は子どものころから、「挨拶」「礼」等のような儀礼を学校などで学ぶ。一見すると日本人は無宗教のようにも見えるが、実際には、儒教の教えが日常生活に溶け込んでいると考えられる。たとえば現在の小学校の5年生の授業科目の一つである新しい道徳の中には、「ありがとう上手に」というタイトルが、教科書の目次の第1課に記されている。つまり、感謝の言葉は日本人の生活に不可欠であると言える。

木村(2005)は次のように指摘している。儒教は正義や義の精神を育む考え方であり、武士階級によって忠義の道として教えられた。明治新政府成立により、日本の教育政策に大きな変革をもたらされ伝統的な仏教教学や儒教に基づく道徳教育から知識中心の教育へ転換された。明治10年代には儒学者たちが新制度に対する批判を示し、元田永孚も天皇中心の儒教主義的教育を重視し、道徳教育の必要性を主張した。明治13年の教育令改正では、「修身」が重要視され、自学自習時間が増えるなどの対策が取られた。元田は『幼学綱要』を著し、道徳教育の儒教化に努力した(木村2005:88)。

大淵(2015)は、日本における儒教について次のように述べている。明治時代に政府は儒学から西洋実学への文教政策変化を図りつつも、儒教は国家の思想統制にも利用された。儒教は学問として尊重されるいっぽうで宗教性は少なく『論語』や朱子学の教えは今でも挨拶文などで引用され、日本人に道徳や倫理の古典として受け入れられている。

儒教の思想内容の詳細については知られていないが、慣習や儀礼を通じて日本人の行動に影響を与えている可能性もあるとする。

牧野ら（2011）では、儒教の道徳は思いやりの心として捉えられ、このような考え方は教育勅語以降に広がったとする。明治時代に学校制度が始まり、「修身」が道徳科目として導入されたがその内容は日常マナーに焦点が当たっていた。しかし、1879年にはアメリカの制度にならって「自由教育令」が導入された。その過程で、儒教教育の要素を道徳教育に取り入れるよう提案があり、1880年に道徳教育が重要視されるようになった。大正時代には、子供たちの自発性が尊重され、以後の教育方針が確立された。

齊藤（2015）によれば、大正時代には自由教育運動が起き、John Dewey の教育思想など新しい教育運動が日本に影響を与えた。しかし、政府が定める学科課程に従う必要があったため、学校での教育は宗教的色彩を強く出すことはなく、宗教教育の色合いは控えめであった。第二次世界大戦後、宗教教育は国公立学校で行われなかったが、特定の宗派から離れた抽象的な宗教的情操教育ができるかどうかについて論議が続いた。

山中ら（2012）によれば、明治5年に学制が公布され、翌6年には師範学校が「小学生徒心得」を刊行した。これを受けて全国各地で40以上の「生徒心得」が出版された。これらは学校生活の礼法に焦点を当てており、その成果を基に学校教育を通じて社会生活全般に関わる礼法を確立しようとする試みも現れた。明治14年には「小学校教則綱領」が定められ、修身の一環として「作法」が教えられるようになり、以後多くの礼法に関する教科書が出版された。この時期の教育における礼法に関する呼称は「作法」だけでなく「礼式」「礼法」「容儀」とも呼ばれた。

以上の検討から、儒教はさまざまな形で教育政策に取り込まれ、道徳教育の中核的な位置を占めてきたと言える。そして、ときには知識中心の教育と対立しながらも、教育を通じて慣習や儀礼・礼法の面で日本人の行動に影響を与え続けている。ただし、儒教のもつ宗教的色彩は教育の場では抑えられてきた側面もある。

6.2 感謝表現としての「すみません」の使用

相手に負担（金銭的な負担など）をかけた場合、感謝の意味を表す謝罪表現「すみません」が多用される（佐久間 1983）。本研究データからも、感謝場面において、相手との人間関係がそれほど親しくない場合や目上の人に対して「すみません」「すいません」等の謝罪表現によって感謝の意味を表す場面が見られた。

土居（1975：27-28）は、「すみません」「すまない」等のような表現が頻繁に使用される理由について、日本人の親切な行為に対する感謝だけでなく、相手の迷惑を気にし、非礼や好意の喪失を避けるために「すまない」と詫げる傾向があると論じ、そして詫げ

は、長期的な甘えや関係維持を希望するために生じるものと言及している。

エジプト方言のデータにも、相手から恩恵を受けた話者は、相手への感謝を表すときに、謝罪表現が使用される場面が見られた。谷口・ハーネム (2016)によれば、「maʕliff」(ごめん) や「ʔana m. ʔa:sif」(すみません) といった表現は謝罪の意味で使用されるものの、感謝の場面においては、感謝の意を示す代わりに謝罪表現が使われると指摘している。しかし、感謝と謝罪の両方の意味を持つ「すみません」に関しては、日本の文化に馴染みのないエジプト方言話者にとっては容易に理解できるものではない。日本で暮らしているエジプト人は「すみません」という言葉は謝罪を表し、「ありがとう」という言葉が感謝を表すことは知っている。ところが、謝罪表現の「すみません」が感謝の場面で心理的に使用されるという意識は非常に低い。第二言語の文化への理解を深め、言葉の含意を考慮すべきである。

6.3 エジプト文化とイスラーム教徒

エジプトでは、人口の約 90%がイスラーム教徒である。多くのエジプト人にとって「アッラー」が日常生活において非常に重要な存在である。例えば、多くのエジプト人は、他人から手助けを受けた際、その助けを提供してくれた人は「アッラー」の意志に従って行動していると考え、まずアッラーへの感謝を心に持つ。この信念はイスラーム教の教えに由来しており、他人の善意や援助はアッラーの導きに従って実現しているという考え方が広く根付いている。エジプト人が他者からの支援や恩恵を受け取ったとき、彼らはまずアッラーに感謝し、その後、その恩恵を与えてくれた人に感謝する。これは、すべての良いことはアッラーの意志によってもたらされるという信仰に基づいている。以下に、この信仰に基づくエジプトの日常生活の中での具体的な表現について説明する。

イスラーム教はアラビア語を母語とするアラブ人の間で生まれ、聖典クルアーン(イスラーム教の教え)に基づく宗教である。聖典クルアーンには「al-ḥamdu li-llaah」(おかげさまで) (おかげさま) という表現が 23 回現れる。本研究の調査結果でも、「al-ḥamdu li-llaah」の表現が多用された。「al-ḥamdu li-llaah」は、「すべての称讃はアッラーにあり」という意味である。日常では誰かが我々の状態を尋ねると、「al-ḥamdu li-llaah」と答える。

また、人生で良いことがあっても悪いことがあっても、「al-ḥamdu li-llaah」の感謝表現が多用される。しかも、聖典クルアーンの中に、後述の (1) から (6) が記されている。

(1) 彼らは言うだろう。「アッラーに賞賛あれ、私たちから嘆きを拭い去る岡谷、本当に私たちのしゅはもっともよく赦し、もっとも感謝に報いる」(35章 34節. 創造

者(ファーティル)、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター)

いわゆる、彼らの悲しみをぬぐい去ったアッラーに「al-ḥamdu li-llaah」という言葉で感謝している。

(2) もしあなたが彼らに「空から雨を降らせ、それにより死んだ後の大地に生をもたらすのは誰か」と尋ねたら、彼らは必ず「アッラー」というだろう。言いなさい。「アッラーに賞賛あれ」。いいや、彼らの多くは考えようとしなさい。(第 29 章 63 節・アルアンカブト、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター)

ここでは、「al-ḥamdu li-llaah」の言葉が明確に書かれ、聖典クルアーンの中に感謝の思想があふれている。

(3) 「あなたがたの主が、こう宣言したときのこと「思いなさい」。「もしあなたがたが感謝するなら我らは必ずあなたがたに対する恩恵を増やすだろう」

(第 14 章 7 節、イブラヒーム、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター)

「al-ḥamdu li-llaah」以外にも、間接的に感謝の意味が含まれている表現が何度も繰り返されている。

(4) 「あなたがたが感謝し、信じるようなら、どうしてアッラーがあなたがたを罰するだろうか。アッラーはもっとも感謝に報い、すべてを知っている」

(第 4 章 147 節、アンニサーウ、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター)

(5) 「あなたがたに聞く耳と見る目を、また諸々を感知する心を持たせたのは御方。あなた方のうち、感謝する者はわずかであるが」

(第 23 章 78 節、アル・ムウミニーン、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター)

(6) 「その御方はその慈悲から、あなたがたのために、あなたがたその中に憩うよう、またその御恵みを求めるよう夜と昼を設けた。あなたがたは、感謝するようになるだろう」

(第 28 章 73 節、アル・カサス、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター)

聖典クルアーンが示しているように、イスラーム教はその信徒にあらゆる状況で感謝の言葉を使うことを奨励している。感謝という言葉とその派生語は、聖典クルアーンで 75 回使用され、その中で「al-ḥamdu li-llaah」の言葉は 23 回繰り返された。本稿のデータにおいても、宗教的な感謝表現が多く、「šukran」(ありがとう)「šukran gidan」(ありがとうございます)以外には、「allaah yihallii-k」「rabb-ina yihallii-k」「rabb-ina yikremak」(アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように)などのような表現も多用された。これらの表現は、相手に良いことが起こるように願っているという意味を表している。つまり、感謝の言葉には宗教的な特徴があることが明示された。

上記のように、聖典クルアーンにおける感謝の例文を挙げたが、イスラーム教には、クルアーンだけではなく、預言者ムハンマドの「ハディース」⁵に対しても感謝に関する教えがあり、宗教の教えとして広く伝えられている。

イスラームの教えに従う人々は、形だけの感謝の言葉を述べていない。聖なる預言者ムハンマドは、相手に感謝の気持ちを表さない者は、アッラーに対しても感謝の気持ちを表さないと教えている。感謝を表すことは、真のイスラーム教徒にとって、信仰上の重要なことである。

6.4 エジプト文化における「mersi」の言葉

本研究のデータには、「mersi」「thank You」の表現が見られたが、「mersi」が「thank you」を上回る結果を示した。ハーネム（2021）によれば、エジプト方言における感謝表現ではフランス文化の影響が強く、特に女性によって「mersi」の表現が多用されていると述べている。

1798年にフランスで権力を握ったナポレオンがエジプトに侵入した。フランスがエジプトの土地を占領した期間はわずか3年であったにもかかわらず、フランス語が浸透した。19世紀には、フランス語はアラビア語に続く基本的な言語として使用された。

フランス文化の影響は、言語を含む教育、音楽、ファッションや流行等に影響を与えた。今日でも、社会的地位の高い階層の中にはエジプトにあるフランス学校で学ぶ傾向が強く見受けられる。加えて、「mersi」「bonjour」等のような言葉を使うエジプト人が多い。

そして本研究のデータにおいても、「mersi」が頻繁に使用され、同様の結果が示された。年齢を問わず、男性と高学歴の女性により多く使われていることが確認された。

6.5 「allaah」と「rabb-ina」の違い

第3章では、アラビア語エジプト方言における感謝表現についての分析を行った。その結果、「rabb-ina yihallii-k」や「allaah yihallii-k」などの宗教的な感謝表現が頻繁に用いられていることが明らかになった。ただし、「allaah」と「rabb-ina」の使用には微妙な違いが存在するため、本節ではその詳細について述べる。

「allah」とは、アラビア語で「神」という意味である。これは、イスラーム教徒が唯

⁵ ハディースは、「物語」・「話」という意味であるが、預言者ムハンマドのハディースと言え、預言者ムハンマドの生活態度をまとめた伝承録を意味とする。ハディースはクルアーンに次ぐ第二の法源として重要である。ムスリムは、預言者ムハンマドの生き方をフォローしている。

一神を信仰するという信念に基づき、アッラーが唯一の神であることを強調するために使用される。また、「allah」は、神が有限ではなく、永遠に存在するという信念も表す。聖典クルアーンにも記されているように、「アッラーは、凡てのものの創造者であり、また凡てのものの管理者である」(第 39 章 62 節、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター) である。

「本当にアッラーは、あなたがたを創り、またあなたがたが、造るものをも (創られる)。」(第 37 章 96 節、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター) である。

一方で、「rabb-ina⁶」か「rabb-ana⁷」とは、アラビア語で「私たちの主よ」という意味である。イスラーム教での祈りの中で、神に対して直接呼びかける際に使用される。この言葉は、神が全てのものを創造し支配する全能であることを示し、神の全体的な支配者としての側面を表している。「アッラーは唯一の神であり、彼には比較できるものは何也不会ありません」という信念を持つイスラーム教徒は、神と特別な関係があると考え、すべてを神に任せることになる。聖典クルアーンには、祈りや願いに使用される節が多数存在している。以下に、その節がどのような場合に使われるかを説明する。

かれは (祈って) 言った。「主よ、本当にわたしは自ら不義を犯しました。どうかわたしを御赦し下さい。」(第 28 章 16 節、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター) である。

「主よ、現世でわたしたちに幸いを賜い、また来世でも幸いを賜え。業火の懲罰から、わたしたちを守ってください。」(第 2 章 201 節、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター) である。

「主よ、わたしたちの様々な罪や行き過ぎた行いを赦して下さい。わたしたちの足場を固め、不信心な者たちに対して力を与え助けて下さい。」

(第 3 章 147 節、東京ジャーミイ・ディヤーナト トルコ文化センター) である。

以上のように、「allaah」に願う時は「rabb-ana」(主よ) の言葉が最も多く用いられる。

本研究のデータには、「rabb-ina yihallii-k」 と 「rabb-ina yekrimak」 (アッラーはあなたの人生を長生きしますよう) 等の表現が多数見られた。加えて、日常会話では、エジプト方言話者はアラビア語標準語ではなく、エジプト方言で話すため、「rabb-ana」ではなく、「rabb-ina」と発話される。

以上に述べたように、「rabb-ina」という単語は、アッラーによって創造されたすべて

⁶ エジプト方言には、「rabb-ina」の発音がする。「a」の発音ではなく、「i」の発音になる。

⁷ アラビア語標準語の発音は「rabb-ana」である。

のものの支配者や管理者を意味する一般的なアラビア語の用語である。これは、「アッラー」という単語と同様に、イスラーム教で非常に重要な概念である。

エジプト人は一般的に「rabb-ina」を使用することで、アッラーとの親密なつながりを表現している。アッラーとの関係は個人的なものであり、直接的であると感じられるため、「rabb-ina」という用語がより親密な関係を表現するのに適していると考えられている。エジプト人が相手に良いことを願う時、「allah」と「rabb-ina」という表現を使用する。

「rabb-ina」という表現をより多くの場面で用いる理由について、エジプトは古代から多くの宗教が言及され、その中でキリスト教やイスラーム教が大きな影響を与えてきたという歴史的背景がある。そのため、エジプト人はイスラーム教徒であっても、キリスト教的な影響を受けている場合がある。とりわけ「rabb-ina」という表現が広く使われる。

6.6 日本文化におけるお辞儀とエジプト文化における抱擁と握手

異文化コミュニケーションにおける非言語の重要性を把握する必要があると考えられる。アラブの非言語コミュニケーション文化は日本の非言語コミュニケーション文化と異なる部分が少なくない。したがって、自文化を深く知り、接触する相手の文化について理解を深める必要がある。「感謝」「謝罪」「挨拶」等を行うとき、非言語コミュニケーションを用いて、相手と接する場合がある。

本研究では、「感謝」に関する非言語行動を考察した結果、エジプト人は「抱擁」と「握手」の非言語行動が多く見られた。これに対して、日本人は「お辞儀」が最も使用されている。

エジプトにおける非言語の感謝表現に関しては、友達（男性同士・女性同士）、家族間で感謝を表明する場面では感謝の言葉とともに、「抱擁」として頻繁に見られた。エジプトの文化では、「抱擁」が非言語表現の中で重要視されていると考えられる。これに関しては、Alaaeldin(2018)にも、抱擁は他人との親密な関係を表していると主張している。抱擁を交わすのは、男性同士、女性同士、または大人が子供を抱擁する。そして、同じ家族の中で、夫婦、親子の場合、抱擁は自然な行為である。例えば、両親、兄弟、友達からお土産または、プレゼントをもらった場合は、「抱擁」が最も使われる。エジプト人は、親しい相手、仕事の仲間や家族に感謝の気持ちを強く表したい場合は、「抱擁」を使うことが多い。

次に、握手について述べる。エジプトでは、日常的な挨拶の中で行われることが多い。「握手」はさまざまな文化や宗教において、世界中で最も一般的な挨拶と見なされている。イスラーム教の教え（ハディース）として、人と挨拶する際に、相手が同性の場合

は、右手で握手をする。Alaaeldin (2018:36)は「握手や抱擁がうまくできなかつたら相手に不快感または戸惑いを与えるので、この場合は適切な挨拶を行ったと言えない。例えば、初めて会った男性同士の場合、通常握手をするが、相手の手を握る力加減が重要である。相手の手を強く握れば、威嚇だと思われる可能性がある。一方、握る力が弱いと「弱い人」または、「相手は自分より目上だと認めている」という意味になりかねない。男性と女性の場合、もっと慎重になる必要がある」と説明している。

以上のように、エジプトでは「握手」、「抱擁」等の身体接触がコミュニケーションの重要な要素であると言える。

日本人は、日常生活で頻繁にお辞儀をする場面がある。お辞儀は「挨拶」のみならず、「感謝」「謝罪」等の場面でも用いられている。

中村 (1995 : 124) は、「お辞儀は、もちろん意味のない行為ではない。今日でも古い世代の人達は深々と頭を下げるし、畳の上でこの傾向は著しい。戸外や現代風の室内で会するときも体を曲げているし、また体を曲げないまでも、少なくとも頭は下げている。それをしないと、「頭が高い」と不評を買うし、反対に「腰が低い」人は一般に評判が良い」と指摘している。また、また、井上忠司 (1982 : 118-119) は「武家の社会においては、目上と目下の関係は、目下のものが目上の者から一方的に見おろされるという関係にあった。(中略)したがって、あまりに見すえられると、目をそらすだけが、民衆に許された自由だったのである。面を伏せる。伏し目がち。あるいはまた、目をそらす-そんな視線の演技が、人間関係の場面における民衆の一般的な対面形式だったのである」と述べている。

日本人は相手に対してお辞儀をするが、1日5回礼拝するムスリムは、礼拝時に深々と頭を下げて神に向かってお辞儀をする。イスラーム教徒は、人間に対する「座礼」のお辞儀をすることが禁じられている。したがって、日常生活において、相手に対して「握手」と「抱擁」が最も多く使用される。エジプト文化と日本文化における感謝表現の大きな違いがこの点にある。

また、日本語の「感謝」の言葉は人にも神様にも使われている。アラビア語エジプト方言も同じである。しかし、「al-ḥamduli-llaah」(アッラーに全ての称讃あり)が日常生活で使用されているが、この「al-ḥamduli-llaah」(称讃)はアッラーに対してのみ使用される。人には「al-ḥamduli-llaah」(アッラーに全ての称讃あり)と言う言葉は使えない。日本語で「称賛」は「相手を褒める」時に用いられるが、「すべては神様に対する称讃」という言語表現は日常生活では見られない。

第7章：ポラトネス理論の再検討

B&Lの提唱したポラトネス理論は多くの言語文化に適用できるユニバーサルなものだと考えられている。しかしながら、筆者が本研究を進める過程で従来の考え方に対する疑問が生じてきた。本章ではこの点について考察したい。

第3章、第5章においてエジプト方言を日本語に翻訳して提示してきた。先行研究においても同様の作業が行われ、当然のこととされてきた。しかし、エジプト方言の感謝表現は、日本語に翻訳可能なのであろうか。また、エジプト方言話者が感謝表現を使う時の思考過程は、日本語話者と同じなのであろうか。このような疑問について、本章ではエジプト方言の感謝表現をさらに探求してみたい。本節では言語間の翻訳時に生じる意味のズレやニュアンスの違いについて詳細に分析する。

7.1 エジプト方言とその日本語訳との関係

本節では次の(1)から(3)の感謝表現を取り上げて議論したい。まず、第3章の分析の要点を整理する。

(1) 「al-ḥamdu li-llaah」(アッラーに全ての称讃あり)

例1 (再掲)

عبدالحميد : علي دة لقرض بنوافق علي ه .
علي دة بجد؟ ال حمد ال حمد ال حمد .
عبدالحميد : اجنا بينا م علي اي علي دة .
علي دة : ال حمد ال حمد .

例1 (翻訳)

夫婦の会話である。

アブドイリハミード：アイダ！融資がもらえる！

アイダ：本当？おかげさまで。おかげさまで。おかげさまで。

al- ḥamdu li- llaah al- ḥamdu li- llaah al- ḥamdu li-llaah

[冠詞]-[名詞] [前置詞]-[名詞] [冠]-[名] [前]-[名詞] [冠]-[名] [前]-[名]

-称讃 に- 神 -称讃 に- 神 -称讃 に- 神

アッラーに全ての称讃あり アッラーに全ての称讃あり アッラーに全ての称讃あり

アブドイリハミード：アッラーは傍にいるよ、アイダ。

アイダ：うん。おかげさまで。おかげさまで。

al- ḥamdu li- llaah al- ḥamdu li- llaah

[冠詞]- [名詞] [前置詞]-[名詞] [冠詞]- [名詞] [前置詞]- [名詞]

神があなたを残すように（繰り返し）「アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように」

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

聖典クルアーンには、神様を指す言葉は二つにあり、「allah」「rabb-ana」である。そのため、日常会話には、相手の幸運を願う時は、「allah」または「rabb-ina」が使用できる。

「allaah yihallii-k」「rabb-ina yihallii-ki」の表現は、必ずしも相手から何らかの行動をしてもらった時に使うとは限らない。「おめでとう」と祝辞を受けたときや、「わが家へようこそ」と招かれたときの返事として「rabb-ina yihallii-ki」を使用する場面も見られた。また、相手に何か良いことを願うときに使われることが多い。

「allaah yihallii-k」「rabb-ina yihallii-ki」は、文字通りには（神があなたを残すように）という意味を表す。日本語に訳すと、「アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように」になる。

「アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように」という表現は、相手の長寿や健康を祈る意味合いを持つ。アラビア語エジプト方言において、動詞の「残す」は、生命の継続や存在の持続を示す文脈で使用される。この動詞は、神が人をこの世に「残す」、つまり生存させるという意味で使われることが一般的である。このような文脈での使用は、相手の長寿を祈るという深い意味を持っている。

イスラーム教には、人の寿命や健康も、アッラーの意志によって定められていると広く信じられている。そのため、誰かが亡くなったときや病気になったときなど、その出来事はアッラーの意志として受け入れられる。日本語の「長生きしますように」という表現は、相手の健康や長寿を心から願う意味を表す。この表現は、誕生日のお祝いや、相手の健康や幸福を祈る場面で使われる。しかし、日本の文化や宗教的背景を考慮すると、この表現は特定の神の存在の意志を直接指すものではない。一般的に願い事や祈りとして使われるもので、特定の宗教的背景を持つわけではない。

(3) 「kattar heer-ak」 (あなたの豊かさが増えますように)

例 5 (再掲)

عبدالحميد: ألو. طيوهيفلندم.؟؟ كاتر خير كيهفلندم. شركرا جي؟ شركرا جي؟
إنش؟□؟ المفرة لكون عهد جنيتكشركرا. بشركر جدا.

例 5 (翻訳)

携帯電話での会話である。銀行員はアブドイリハミードに連絡して、銀行は融資をすることに同意した。

アブドイリハミード：もしもし。はい。本当？

あなたの豊かさが増えますように。本当にありがとうございます。本当にありがとうございます。 インシャアッラー、明日行きます。ありがとう、ありがとうございます。 失礼します。

'aalu 'aywah y- afendim

[間投詞] [間投詞] [呼びかけ]-[名詞]

もしもし はい ~よ- 大将

もしもし、はい、大将（目上の男性）

wa- llaahi kattar heer- ak y- afendim

[前置詞]-[名詞] [動詞完了・単三男] [名詞]-[単二男] [呼びかけ]-[名詞]

にかけて- 神 増やした(単三男) 良さ-あなたの ~よ- -大将

本当に、[神が]あなたの良さを増やすように、大将（目上の男性）

šukran gaziilan šukran gaziilan

[名詞対格] [副詞] [名詞対格] [副詞]

感謝 非常に 感謝 非常に

ありがとうございます、ありがとうございます

'in šaa' allaah bukra 'akuun 'ind ḥaḍratak

[接続詞] [動詞完了] [名詞] [副詞] [動詞未完了・単一] [前置詞] [名詞]

もし 望んだ 神 明日 私はなろう のところ あなた様

もし神が望んだら、明日私はあなた様のところにいましょう

（確かに、明日まいります）

šukran mutšakkir giddan

[名詞対格] [能動分詞・男単] [副詞]

感謝 感謝している とても

ありがとう、大変ありがとう

(Abu elarosa) 『花嫁のお父さん』

上述の例では、話者は相手の豊かさを願い、感謝を表明している。「kattar ḥeer-ak」の文字通りの意味は「あなたの豊かさが増えることを願います」であり、日本語の機能としては「ありがとう」という意味で使われることが多い。この「kattar ḥeer-ak」という表現は、「アッラーがあなたの豊かさが増えますように」という意味合いを持つ。この表現は、人間の力によるものではなく、アッラーの意志と力によって相手の豊かさが増えることを願っている。イスラーム教において、人が「kattar ḥeer-ak」と発する際は、相手の人生における善と祝福が増えることを心から願っているのである。また、

している。手 (*'iid*) は行動や作業を象徴するため、この表現は直接的にその人の努力や行動に対する感謝を示している。

7.2 感謝表現を使用する時のエジプト方言話者の思考過程

多くのエジプト人はイスラーム教徒であり、アッラーへ信仰が日常生活の中で頻繁に現れる。本研究で扱った感謝表現においても、アッラーが登場する表現が顕著であった。

まず、感謝表現として多用される言い方「*al-ḥamdu li-llaah*」が挙げられる。この表現は直訳では「アッラーに全ての称讃あり」となるが、ポライトネス理論から直接に導き出すことはできない。

「*al-ḥamdu li-llaah*」のようなアラビア語の感謝表現において、アッラー（神）の名前が登場するため、ポライトネス理論の適用が難しい場合がある。ポライトネス理論は、人々のコミュニケーションにおける親疎関係や権力関係を理解するための枠組みであり、宗教的な要素が含まれる場合には適用が難しくなるものと考えられる。

本節では、アラビア語エジプト方言における感謝表現は他者専用感謝・「アッラーへの感謝」・「他者専用感謝（宗教的要素あり）」に分類し、表7でまとめた。

表7 他人専用感謝とアッラーへの感謝

感謝表現	分類	意味
šukran 類 šukran šukran gaziilan šukran giddan mutšakkir mutšakkira mutšakkiriin mersi	他者専用感謝	ありがとう、ありがとうございます
al-ḥamdu li-llaah 'ana baḥmad rabb-ina	アッラーへの感謝	アッラーに全ての称讃あり
rabb-ina yiḥallii-k 類 rabb-ina yiḥallii-k (男性形)	他者専用感謝（宗教的要素あり）	アッラーがあなたに長生きを与えてくれますように

allaah yiḥallii-k (男性形) rabb-ina yiḥallii-ki (女性形)		
kattar ḥeer-ak (男性形) kattar ḥeer-ik (女性形)	他者専用感謝 (宗教的要素あり)	あなたの豊かさが増えますように
tislam 'iid-ak (男性形) tislam 'iid-ik (女性形)	他者専用感謝 (宗教的要素あり)	あなたの手が安全であるように

「他者専用感謝」・「アッラーへの感謝」・「他者専用感謝 (宗教的要素あり)」は次のような特徴を持つ。

1. 「他者専用感謝」：他人に何かをもらった場合、一般的な感謝表現が使われ、相手に感謝の気持ちを伝えるために使用されている。このカテゴリーの感謝表現は、相手への感謝を直接的に示すものである。日常的な人間関係の中での礼儀正しさや敬意を示すためのものであり、特定の宗教的要素を含まない場合が多い。他者専用感謝は、日常生活の中での人間関係を円滑にするための基本的なコミュニケーションとして使用される。

2. 「アッラーへの感謝」：アッラーへの感謝は、イスラーム教の信仰に基づくものであり、日常的な感謝だけでなく、すべての善意や幸福に対する感謝をアッラーに向けて表現する重要なものである。感謝の概念は、イスラーム教の教えや文化的な習慣に深く根ざしている。アッラーへの感謝は尊敬の表れであり、すべての恩恵や出来事がアッラーの意志によるものであるという信念から来ている。

3. 「他者専用感謝 (宗教的要素あり)」：アラビア語エジプト方言では、感謝表現に宗教的な要素を取り入れることが多い。エジプト文化において、宗教的要素を含む感謝の表現は、日常的なコミュニケーションの中で頻繁に使用される。これらの表現は、他者への感謝を示すと同時に、アッラーの力や存在を認識し、それを強調するためのものである。例えば、アッラーの名前を含めて感謝を表現することで、感謝の気持ち

をより深い意味で表現することができる。まずアッラーのことを考え、相手に幸運を願うという形をとる。

なぜこのようなことが起きるのか。その理由は、対人よりも先に、神（アッラー）に対する信仰の力が働くからである。これらの感謝表現は、人に対してではなく、神に対して用いられているからである。従来のポライトネス理論を適用するだけでは説明しきれない部分が残る。

B&L のポライトネス理論は、社会言語学で非常に重要な位置を占めている。この理論は、人間関係を円滑にするための言語ストラテジーである。しかし、ポライトネス理論をそのままエジプト方言の感謝表現「アッラーへの感謝」に適用するのは困難な場合があると言える。

エジプト人は日常生活の中でアッラーの存在を常に意識しており、人との会話の中でもアッラーに関する言及が頻繁に行われる。感謝、謝罪、依頼、不満などの様々な場面でアッラーの存在が意識されている。このため、ポライトネス理論を直接適用するのではなく、異なるアプローチや原理の適用が考慮されるべきである。

アラビア語エジプト方言における感謝表現の先行研究は、この点には触れていない。また、ポライトネス理論はこれまでの研究で主に人間関係に焦点を当てて適用されてきたが、人に対しての感謝とアッラーへの感謝の関わりについては検討されていない。本章では、ポライトネス理論を再検討し、新しい提案の探求を行いたい。以下のように、図 7-1 と図 7-2 を用いて人に対しての感謝とアッラーに対しての感謝を説明する。

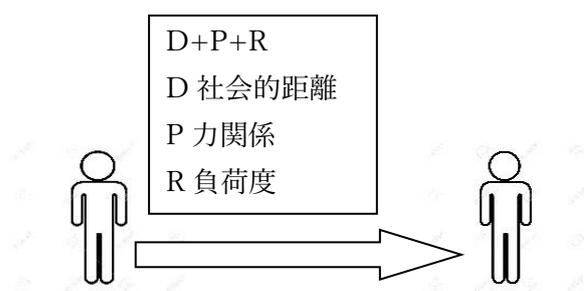


図 7-1 従来のポライトネス理論

図 7-1 は、従来のポライトネス理論である。人々がコミュニケーションの中でどのように言語的配慮を表現するかに焦点を当てている。B&L (1987) の理論は、3 つの主要な社会的要因を提唱している。これらは、話し手と聞き手の間の「社会的距離」(social distance: D)、「力関係」(power: P)、そして「負荷度」(ranking of imposition: R) である。

親しい関係にあるかどうか(D)、相手が目上の人であるか、目下の人であるか、相手の社会的地位が高いか低い(P)、その文化の中でどのような重要性があるか(R)を勘案して、相手にかかる負荷度を見積もるのである。異なる文化や社会的な通念によって、その言語行動の負荷度や解釈は変わってくる。従来のポライトネス理論の特徴は、謝罪や依頼といった類似の機能を果たす複数の言語表現が直線的に並んでおり、どの言語表現を選択するかは D+P+R によって産出されたフェイスの侵害度によって決定されるとする点にある。

B&L (1987) の理論は、広く受け入れられ、どの言語にも通ずるものとして普遍性を持った理論として位置づけられている。しかしながら、本研究で得られた結果から、エジプト文化における感謝表現においては、ポライトネス理論には新しいアイデアを取り込む必要があるのではないかと考えられる。そこで、図 7-2 はエジプト文化における感謝表現の捉え方について説明したものである。

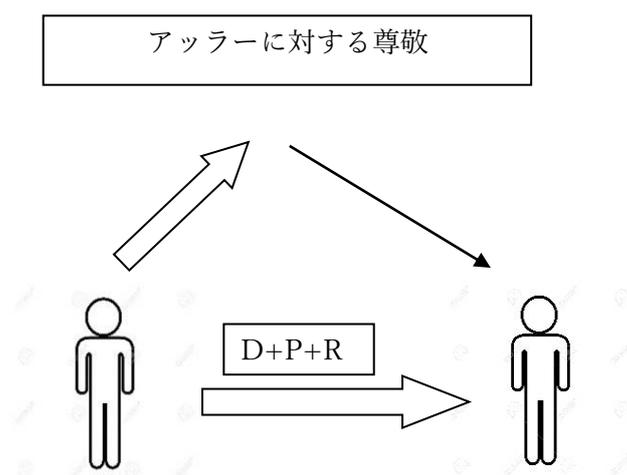


図 7-2 エジプト文化におけるポライトネスの表現方法

図 7-2 のように、エジプト文化では、対人コミュニケーションのみならず、アッラーの存在も考慮されている。表 7 に示した通り、エジプト方言における感謝表現は、「他者専用感謝」、「アッラーへの感謝」、および「他者専用感謝 (宗教的要素を含む)」の 3 つに分類される。エジプト方言での感謝表現、例えば「šukran」や「šukran giddan」のような表現は、他者に対して使われる。しかし、他者が自らの努力や時間を使って何かをしてくれた場合であっても、エジプト人の思考過程の中には常にアッラーの存在が意識されている。つまり、他者へ感謝を表すと同時に、アッラーは常に意識の中にいるに違いない。したがって、エジプト人の思考過程においては人と人との関係を大事にする

と同時に、アッラーへの尊敬にも言及する必要があると考えられる。

従来のポライトネス理論は、このような宗教的背景を十分に考慮していないと言える。そのため、図 7-2 のように、エジプト文化における感謝表現にポライトネス理論を適用する際には、新しい要素を取り入れる必要があると考えられる。本研究の結果から、エジプト方言の会話においては、アッラーの名前が登場する場合でもアッラーの名前が登場しない場合でも、エジプト人の意識の中には常にアッラーの存在が意識されており、それが感謝表現にも反映していると考えられる。その思考が最も顕著に表れているのが「アッラーへの感謝」である。「他者専用感謝（宗教的要素を含む）」にも言語的な影響を及ぼしていると言える。このように、図 7-2 のような枠組みを採用すれば、エジプト方言の感謝表現における「他者専用感謝」、「アッラーへの感謝」、および「他者専用感謝（宗教的要素を含む）」は直線上に順番に配置できるものではなく、異なるルートで産出される表現であるという説明が可能になる。

この「アッラーに対する尊敬」への理解は、アラビア語の学習や研究、さらには異文化間コミュニケーションにおけるエジプト文化の理解を深める上で極めて重要である。特に、言語と文化を研究する社会言語学の分野において、この新しい要素の導入は不可欠であると考えられる。

7.3 アラビア語学習者用テキストの検討

アラビア語には様々な感謝表現があり、文脈によって使い分けられている。しかし、日本語話者向けのアラビア語学習教材を調べたところ、感謝表現が非常に少なく、語用論的な機能もほとんど教えられていないことが分かった。東京外国語大学と大阪外国語大学にはアラビア語専攻があるが、この節では東京外国語大学のアラビア語学科で使われている教材を調査し、以下の感謝表現と感謝場面を収集した。

表 8 アラビア語教材における感謝表現

表現	分類	説明	出典
šukran	他者専用感謝	ありがとう	『大学のアラビア語表現実践』（第 1 章 挨拶されたらアッラーで）
šukran gazilan	他者専用感謝	大変ありがとうございます	『アラビア語あいさつ集』16・ありがとう
šukran ktir	他者専用感謝	大変ありがとうございます	『アラビア語あいさつ集』16・ありがとう

mutšakkir 'awi	他者専用感謝	ありがとうございます	東京国語大学言語モジュール (学習者用・エジプトのアラビア語)
mutšakkira'awi	他者専用感謝	ありがとうございます	東京国語大学言語モジュール (学習者用・エジプトのアラビア語)
Mutšakkir giddan	他者専用感謝	ありがとうございます	東京国語大学言語モジュール (学習者用・エジプトのアラビア語)
jazakum allaah ħairan ⁸	他者専用感謝 (宗教的要素あり)	アッラーがあなたに報酬を与えますように	『大学のアラビア語表現実践』(第8章 祭りは多いにこしたことはない)

アラビア語には多様な感謝表現が存在し、様々な場面で使われている。しかし、以上の表から分かるように、日本語話者向けのアラビア語学習教材には、感謝表現が非常に限られており、その語用論的な機能がほとんど教えられていないという問題がある。以下の場面において感謝表現が使われているが、感謝の意味のみの場面である。

例 1

أ: إننا نبتشكره أوى على ما مس اعتك لى فى ال عزال من كاجيوم.
 ب: ال عفو على طيه لى فيه أى حاج تترقى، قول لى عفى أى وقت
 أ: طاب فضل دي حاج ميسرى طمحل لى ات عملت طيقسى.
 ب: لى ميسر لك لى فى ده . نبتشكر أوى
 أ: ال عفو على طيه . ده أنت لى فى
 ب: اى خدمه.

例 1 (翻訳)

A: この間は引越しを手伝っていただき どうもありがとうございました。

mutšakkira 'awi

B: どういたしまして。また何かあったらいつでも言ってください。

A: ええと…つまらないものですが、これは自分でつくったお菓子です。

⁸ 「jazakum allaah ħairan」は正則アラビア語の感謝表現である。イスラーム教徒の間でよく使われる表現です。「jazakum」は複数形で、「jazaka」は単数形である。したがって、一人の人に感謝する場合は「jazaka allaah ħairan」と言い、複数の人に感謝する場合は「jazakum allaah ħairan」と言う。

B: 気をつかわなくてもいいのに。 ありがとうございます。

mutšakkir 'awi

A: どういたしまして。お世話になりました。

いえいえ。

東京国語大学言語モジュール (学習者用・エジプトのアラビア語)

例 2

(أ): (أ) أنصف تال عربي في امل
(ب) (ب) شكرا . خد دلي إشر بش اى
(أ) (أ) تشكر اوى
(ب) (ب) و خد الينطلون ده كم ان ليك
(أ) (أ) تشكر جدا بس بلى دل وقتى أطول فى الينطلون ده يدخ شرفي ه

例 2 (翻訳)

(A): ライラさん、車を洗いました。

(B): ありがとう。これ（お金）でお茶でも飲んで。

šukran

(A): ありがとうございます。

mutšakkir 'awi

(B): このズボンも君の子供に。

(A): どうもありがとうございます。でも、実はこちらの子は今僕より背が高いのです。

このズボンは彼には入りません。

mutšakkir giddan

東京国語大学言語モジュール (学習者用・エジプトのアラビア語)

以上の二つの場面では、「šukran」、「mutšakkir 'awi」、「mutšakkira 'awi」、「mutšakkir giddan」という感謝表現が使われているが、日常会話では、他の感謝表現も多く使用されている。

多くのアラビア語学習者用テキストには、「他者専用感謝」(šukran) が取り上げられている。しかし、「アッラーへの感謝」「他者専用感謝 (宗教的要素を含む)」がほとんど見られない。アラビア語やエジプト方言学習者用テキストが人と人との関係を中心とした感謝表現を重視しているためである。エジプト文化では、人々の思考過程にアッラーの存在が深く根付いているが、学習者には主に「他者専用感謝」だけが教えられている。図 7-2 「エジプト文化におけるポライトネスの表現方法」のような枠組みは採用されていない。

第8章：本論文のまとめと今後の課題

8.1 結論

(1) から (4) はテレビドラマと映画で使用されたエジプト方言と日本語の感謝表現に見られる類似点と相違点を整理したものである。(5) はポライトネス理論の再検討に関するものであり、(6) はアラビア語学習者向けテキストでの感謝表現の取り扱いに関するものである。

(1) エジプト方言における感謝表現は「感謝」の意味以外にも、「依頼」「断り」「非難」「皮肉」「怒り」「威嚇」「会話の終了」「謝罪」の意味が含まれているということがわかった。一方、日本語では、「感謝」「謝罪」「挨拶」の意味を表すということが確認された。

(2) エジプト方言データでは、様々な感謝表現を使い、感謝表現を非常に長くするという結果が得られた。発話の長さで、感謝の気持ちを深く伝えようとすると考えられる。そして、感謝の言葉だけではなく、具体的な事情、相手からの恩恵についても詳しく説明する。これに対して、日本語データでは、単純な言葉が使われ、場面による感謝表現の長さに変化が少ないという傾向がある。つまり、特定の型を繰り返す傾向があるということである。10時間単位での感謝表現の使用頻度がエジプト方言より日本語のほうが多いということもわかった

(3) 人称・呼称に関して、エジプト方言話者は感謝の際、個人名または「ḥabiib-i」（ダーリン）という表現を多用する。「ḥabiib-i」（ダーリン）という言葉は、エジプト人のみならず、アラブ人の間で多用される言葉である。アラブ人は「ḥabiib-i」（男性用）、「ḥabibt-i」（女性）という単語を習慣的に感謝の言葉の後に用いる。一方、日本語話者は個人名を呼ばずに感謝表現を用いるという傾向が見られた。また、相手に感謝する時に、愛称等も使われない。しかし、同年代および年下・目下の親族や親しい年下の相手に対しては、感謝表現の前に個人名が使われる例も確認された。

(4) 両言語では、外来語の「thank you」が使われている。エジプト方言のデータには、外来語由来の「mersi」が使用された会話例も多く現れた。エジプト方言における感謝表現では今日においてもフランス文化の影響を受けていることに起因し、年齢を問わず、社会的地位の高い階層に積極的に用いられることがわかった。

(5) ポライトネス理論を再検討し、エジプト方言の感謝表現を日本語に翻訳する際の

課題や、エジプト方言話者の思考過程に焦点を当てて考察した。エジプト方言話者は「他者専用感謝」だけでなく、「アッラーへの感謝」・「他者専用感謝（宗教的要素あり）」も多く使用する。エジプト人の思考過程におけるアッラーの存在が影響しているのである。従って、従来のポライトネス理論をエジプト文化に適用する際には、この宗教的背景を考慮する必要がある。具体的には、「アッラーに対する尊敬」という新しい要素をポライトネス理論に導入することを提案する。

従来のポライトネス理論は、コミュニケーションの中での言語的配慮の表現に焦点を当て、B&L (1987) の理論では「社会的距離」、「力関係」、「負荷度」の3つの要因を提唱している。しかし、エジプト文化における感謝表現を考察すると、アッラーの存在が常に意識されており、その影響が感謝表現にも反映されていることが明らかとなった。特に、「他者専用感謝」・「アッラーへの感謝」・「他者専用感謝（宗教的要素を含む）」は異なるルートで表現されると考えられる。

(6) アラビア語学習者用テキストには、感謝表現が少なく、「感謝」の機能のみが取り上げられている。そのため、アラビア語の教材に異なる感謝の場面も取り入れて、感謝表現の語用論的な機能を学習者に教える必要があると考えられる。多くのアラビア語学習用テキストでは、「šukran」という他者専用の感謝表現が主に取り上げられている。しかし、「他者専用感謝（宗教的要素を含む）」は、これらのテキストにはほとんど採用されていないことが確認された。エジプト方言話者は思考過程にアッラーの存在が深く影響しているにも関わらず、学習者にはこの側面が十分に伝えられていない。

両言語間の対照研究としての本研究は、両言語の学習者にとっても参考になると考える。また、エジプト文化と日本文化の特徴とその違いについても述べ、感謝表現の種類と機能を明らかにした。また、本研究では両言語を比較しその違いの明確にしたことで、両言語・文化と社会への理解にも役立ち、交流と相互理解に貢献する研究になることが期待できる。

対照研究を行ったことで、筆者は、母語（エジプト方言）について気づかなかった多くの点に目を向けることができた。特に、エジプト方言の感謝表現は日本語と比べて大変豊かであるということがわかった。今回の研究では、日本語の感謝表現に関して新しい発見は少なかったが、対照研究の重要性を再認識した。エジプト方言の感謝表現を考慮すると、ポライトネス理論の再検討が必要であると強く感じた。本研究を通じて、対照研究の価値と、異なる言語文化間での深い理解の重要性を改めて確認することができた。

8.2 今後の課題

本論文の最後に今後の課題を挙げておきたい。

(1) 研究目的で述べた日本語とアラビア語エジプト方言に現れた感謝表現の文化的背景の説明が不十分であったことを反省し、今後は文化的背景を中心に考察を深めていきたい。

(2) テレビドラマと映画を用いた感謝表現の収集、意識調査およびインタビュー調査だけでは明らかにできなかったことがあると考えられる。より詳細な調査を実施したい。

(3) 第7章では、アラビア語エジプト方言の感謝表現に関してポライトネス理論を再検討し、新しい要素を取り入れる必要があると考えて提案を行った。今後、実証的な研究を行って検証する必要があると考えている。

(4) 本研究の成果を教育の現場でどのように活用するかについて、さらに深く探究する必要があると考えている。

参考文献

- 相原茂 (2007) 『「感謝」と「謝罪」はじめて聞く日中”異文化”の話』 講談社
- 阿満利磨 (1996) 『日本人はなぜ無宗教なのか』 筑摩書房
- Alaaeldin Soliman (2018) 「アラビア語の社会・文化的特質－挨拶と邪視を中心に－」
『アジア諸語の言語類型と社会・文化的多様性を考慮した CEFR 能力記述方法の開発研究』 33-42
- 池田浩 (2015) 「組織における「感謝」感情の機能に関する研究」 Transactions of the
Academic Association for Organizational Science 1:120-125
- 磯友輝子・木村昌紀・桜木亜希子・大坊郁夫 (2003) 「発話中のうなずきが印象形成に
及ぼす影響-三者間川場面における非言語的行動の果たす役割-」 『信学技報』 25:31-
40
- 井上忠司 (1982) 『まなざしの間関係:視線の作法』 講談社
- 伊礼武志 (1997) 「非言語コミュニケーションに関する一考察」 『商経論集』 25:141-153
- 岡本真一郎 (1992) 「感謝表現の使い分けに関与する要因」 『愛知学院大学文学部紀要』
22:35-44
- 小川治子 (1995) 「感謝とわびの定式表現－母語話者の使用実態の調査からの分析－」
『日本語教育学会』 85:38－52
- 大淵憲一 (2015) 「伝統的価値観の国際比較－日本、韓国、中国、米国における儒教的
価値観－」 『文化』 79:1-24
- 柏木厚子 (2015) 「映画・テレビドラマにみる日米謝罪表現の差異－オリジナル言語版お
よび吹き替え版の分析から－」 昭和女子大学学苑 11-25
- 神原正明 (2001) 『快読・日本の美術:美意識のルーツ』 勁草書房
- カブリエル・キャスパー (2004) 「語用論研究におけるデータ収集」 ヘレン・スペンサ
ー編著 『異文化理解の語用論』 研究社 134-169
- 金田一秀穂(1987) 「お礼とお詫びのことば」 『月刊言語』 16:75-83
- 熊取谷哲夫 (1990) 「日本語の「感謝」における表現交替現象とその社会言語学的モデ
ル」 『表現研究 / 表現学会』 52:36-44
- 木村和夫(2005) 「日本の教育改革－明治・昭和・平成に見る－」 『豊橋市教育委員会連
携講座』 22:85-94

- 久保田真弓 (2009) 「会話における非言語コミュニケーションの役割」 *Speech Communication Education* 22:141-161
- 蔵永瞳・樋口匡貴 (2011) 「感謝の構造－生起状況と感情体験の多様性を考慮して－」 *Japanese Journal of Research on Emotions* 18:111-119
- 小泉保 (2001) 『入門 語用論研究』 研究社
- 古閑博美(2012) 「辞儀への一考察：礼の身体技法」『嘉悦大学研究論集』 1:57-71
- 斉藤泰雄 (2015) 「学校における宗教教育の取扱い－日本の経験－」 広島大学教育開発国際協力研究センター 『国際教育協力論集』 1:119-134
- 栄谷温子・ハーネムアハマド・谷口龍子 (2014) 「お詫び表現の形式のバリエーションと機能との関わり－日本語教育に向けた日本語とアラビア語との対照研究－」 東京外国語大学国際日本研究センター 1:16-28
- 佐久間勝彦(1983) 「感謝と詫び」 水谷修編 『話し言葉の表現』 筑摩書房
- 佐藤綾子 (2003) 『非言語的パフォーマンス－人間関係をつくる表情・しぐさ－』 東信堂
- サルマ モハメド (2018) 「語用論の観点から日本語とアラビア語における配慮表現－謝罪表現を中心に－」 修士論文 カイロ大学文学部日本語日本文学科
- 柴田寛・高橋純一・行場次朗 (2015) 「お辞儀の主観的印象と社会的文脈に対する適切さ」 『心理学研究』 6:571-578
- 秦秀美 (2008) 「日本語と韓国語における感謝・謝罪表現の研究」 博士論文大阪大学
- 水沼和夫(2004) 「人間の行う非言語伝達行動について」 『八戸工業大学紀要』 23: 231-239
- 鈴木晶夫・春木豊 (1989) 「対人接触に関する試験的研究」 『早稲田心理学年報』 21:93-98
- 鈴木晶夫 (2014) 「非言語行動を手がかりとした人間関係研究－身体接触を中心に－」 早稲田大学人間科学学術院 『心身健康科学』 1:5-9
- 高木幸子 (2005) 「コミュニケーションにおける表情および身体動作の役割」 『早稲田大学大学院文学研究科紀要』 25-36
- 田中恭子・佐藤愛・垣本由紀子(2006) 「車同士のコミュニケーションに関する研究」 『実践女子大学生活科学部紀要』 43:104 -113

- 谷口龍子 (2010) 「詫びおよび感謝表現の選択と文・談話構造との関わりー日本語と中国語のヴォイスに注目してー」『東京外国語大学論集』 80:179-198
- 谷口龍子・榮谷温子 (2011) 「アラビア語のエジプト方言における詫びおよび感謝表現の語用論的機能」横浜国立大学『横浜国立大学留学生センター教育研究論集』 19:29-38
- 谷口龍子・榮谷温子 (2012) 「儀礼的方略としてのアラビア語エジプト方言“maflijj”の使用」東京外国語大学国際日本研究センター 2:141-154
- 谷口龍子 (2016) 「アラビア語エジプト方言における詫び表現の機能とストラテジー」『国際日本研究センター国際日本語教育部門3ヶ年プロジェクト成果報告論文集』 2:89-98
- 大坊郁夫 (2005) 「社会的場面における人間の非言語的な行動と親和性の向上」『バイオメカニズム学会誌』 29:118-123
- 土居健男 (1975) 『「甘え」の構造』弘文堂
- 銅直信子 (2001) 「日本におけるポライトネスの現れ方」『敬愛大学国際研究』 8:53-79
- 中村啓佑 (1995) 「日仏文化比較試論ー挨拶を考える」『追手門学院大学文学部紀要』 31:113-131
- 中村真 (1996) 「表情とコミュニケーション」『織消誌』 1:4-9
- 西尾純二 (1998) 「マイナス待遇行動の表現スタイルー規制される言語行動をめぐってー」『社会言語科学』 1:19-28
- 三宅和子・野田尚史・生越直樹 『「配慮」はどのように示されるか』ひつじ書房
- ネルケ無方 (2014) 『日本人に「宗教」は要らない』ベスト新書
- HANAN Rafik Mohamed (2008) 「外国語教育と異文化コミュニケーションー日本語とアラビア語の会話教育の視点から」『世界の日本研究』 73-84
- ハーネム アハマド (2018) 「アラビア語エジプト方言における依頼談話のパターンとポライトネスに関する一考察」東京外国語大学国際日本研究センター『日本語・日本学研究』 8:141-154
- ハーネム アハマド (2021) 「日本語教育に向けたアラビア語エジプト方言における感謝表現の考察」『Bulletin of the Faculty of Arts』 6:82-105
- 東山 安子・ローラ フォード (2003) 『日米ボディトークー身ぶり・表情・しぐさの辞典ー』三省堂

- 福田一雄 (2013) 『対人関係の言語学－ポライトネスからの眺め－』 開拓社
- ヘレン・スペンサー (2004) 『異文化理解の語用論』 研究社
- 牧野 彦・青木 俊明 (2011) 「日本人の道德観の起源と歴史」 土木学会東北支部技術研究
発表会
- マツモト・工藤 (1996) 『日本人の感情世界－ミステリアスな文化の謎を解く－』 誠
信書房
- マジヨリー・F・ヴァーガス(1987) 『非言語コミュニケーション』 新潮選書
- 水沼和夫 (2004) 「人間の行う非言語伝達行動について」 『八戸工業大学紀要』 23:231-
239
- 三宅和子 (1993) 「感謝の意味で使われる詫び表現の選択メカニズム」 『筑波大学留学生
センター 日本語教育論集』 8:19-38
- 三宅和子 (2011) 『日本語の対人関係把握と配慮言語行動』 ひつじ書房
- 三宅茂雄・三宅なほみ (2014) 『教育心理学概論』 NHK 出版
- 森山卓郎 (1999) 「お礼とお詫び－関係修復のシステムとして」 『国文学－解釈と教材の
研究』 6:78-82
- 八代京子、山本喜久江 (2007) 『多文化社会の人間関係力』 三修社
- 八代京子・町恵理子・小池浩子・吉田友子(2009) 『異文化トレーニング』 三修社
- 八代京子 (2009) 「異文化コミュニケーションと国際理解」 『麗澤学際ジャーナル』 2:73-
87
- 安美蘭 (2005) 「日本語、中国語、朝鮮語における感謝表現の対照研究」 『日本語教育
と異文化理解』 愛知教育大学国際教育学会 4:1-9
- 山岡政紀・牧原功・小野正樹 (2010) 『コミュニケーションと配慮表現』 東京：明治書
院
- 山中真代 (2012) 『明治時代に礼法はいかにして伝えられか』 平成 24 年度筑波大学附属
図書館特別展資料
- 山本とも子 (2003) 「感謝の謝罪表現「すみません」－「すみません」が感謝と謝罪の
両方の意味を持つわけ－」 『信州大学留学生センター紀要』 4:1-13
- 柳田国男 (2013) 『毎日の言葉』 新潮文庫

英語文獻

- Albert Mehrabian (1972). *Nonverbal communication*. Aldine-Atherton.
- Brown, P. and S. Levinson (1987). *Politeness*. Cambridge: Cambridge University.
- Desmond Morris (2002). *Peoplewatching: The Desmond Morris Guide to Body Language*. Vintage.
- Ekman, P. (1973). *Cross-cultural studies of facial expression*. In P. Ekman (Ed.), *Darwin and facial expression*. NY: Academic Press.
- Ekman, P. & Friesen, W. V. (1975). *Unmasking the face*. Englewood Cliffs, NJ: Prentice-Hall
- Geoffrey Leech (1983). *Principles of Pragmatics*. London and New York: Longman.
- Hall Edward T. (1959). *The Silent Language*. Doubleday.
- Hall Edward T. (1966). *The Hidden Dimension*. New York: Doubleday
- Harwood, N. K., Hall, L. J., & Shinkfield, A. J. (1999). Recognition of facial emotional expressions from moving and static displays by individuals with mental retardation. *American Journal on Mental Retardation*, 104, pp.270-278
- Knapp, M (1972). *Nonverbal Communication in Human Interactions*, New York: Holt, Rinehart & Winston
- Matsumoto, D. (1990). Motivation and Emotion, *Cultural similarities and differences in display rules* 14, pp.195-214
- Marjorie F. Vargas (1987). *An Introduction to Nonverbal Communication*. Ames: Iowa State University Press
- McCullough, M. E., Kilpatrick, S., Emmons, R.A., & Larson, D. (2001). Is gratitude a moral affect? *Psychological Bulletin*, 127, 249–266
- Ray L. Birdwhistell (1970). *Kinesics and Context: Essays on Body Motion Communication*. University of Pennsylvania Press
- Rehab Morsi (2010). *The speech act of thanking in Egyptian Arabic*. Ball State University, Indiana

参考にした教科書

青山 弘之・イハーフ アハマド エベード (2013)『大学のアラビア語表現実践』東京外国語大学出版会

加藤博 (2006)『アラビア語あいさつ集』ニーズ対応型地域研究推進事業

スリーエーネットワーク (2013)『みんなの日本語初級 I』スリーエーネットワーク

東京国語大学言語モジュール (2003)『学習者用・エジプトのアラビア語』インターネット教材

資料 I テレビドラマと映画の会話（アラビア語）

)1(

الطلب: نفضل واعلى ال لمتب
للفتاة: لمتب مين؟ ل ا عملتش حاجة
الطلب: عملتش حاجة لبتشرى موظف عش انطيل علىك شهادة هي د بينك من راجل غير بلوه وعملتش حاجة.
الطلب: بتشكرينى ا لمتاذ بعدال حيد

motshakreen

بعدال حيد بتشكرينى على بي مبس . ده واجى

場面 1（翻訳）

喫茶店で公務員と女性と警察官の談話である。

場所：喫茶店

警察官：静かに警察署に一緒に来て。

女の人：警察署って何？！（驚いている）私は何もしていない。

警察官：何もしていない？父親以外の男性から息子の出生証明書を発行するために、公務員に賄賂を贈ったことが、何もしていないといえるのか？！

警察：アブドイリハミードさん、ありがとうございます。

男性：感謝する必要はない。これは私の義務だ。

)2(

أ: بيها عم ل ا مشقولك بتصل شى اعلى الصبح كدة . ل ا الم عفة لمتش ريت
ب: طول عمر كصاحب واجب

tol omrak saheb wageb

場面 2（翻訳）

二人の男が道端で会話している。

A: 「朝早く私に電話しないで」と言ったじゃないか？知り合いではなかったら、答えなかっただろう。

B: そうだね！私はあなたに借りがあるよ。

以上の例では、B が A に朝早く連絡してきたことに、A 非常に怒った。B が使用した表現は感謝として使われているが、この場面では皮肉として使われている。B は、A に怒られて、皮肉を込めた言い方で (tool omrak saheb wageb) という表現を使っている。皮肉な意味合いで言われることが多い。B の答えは丁寧さの原理における謙遜の原則（他者への非難を最小限にせよ）を違反しているので、インポライトネスである。

)3(

بنة بي اوتها ك انى ظفنى يسرقش ال مويل . ه عيش من غير ال مويل ازى !
ا بشكر اوتى شكريا

shukran shukran

場面3 (翻訳)

携帯電話が盗まれ、女性が泣いている場面である。

娘：私の携帯電話を盗む代わりに私を誘拐したほうがいいのに。携帯がないとどうやって生活するのか。(泣いている状態)

お母さん：ありがとうお姉さん。ありがとう。

)4(

ا : م م ا ع ل ت ف ح ط ب ت غ ل ش ي ا م ر ز و ق و ا و ع ي ت ك د ب ي ا ح ي ي ب ت و ع ن ي ل ك م ش ن ق ع م ل ك د ق ت ل ي .

بن : أو عدك

ا : ط ب ي . ق أولك مادام وع ن ي ل ا ه ح ي ل ك ال ي ن ط ل و ن

بن : ح ي ي ي ل ي ل ا

habibi ya baba

場面4 (翻訳)

お父さん：間違える事を恐れてはいけません。絶対嘘はつかないで。こんなことをもう二度としないと約束してくれる。

息子：約束する。

お父さん：じゃ、帰ろうか。あ、待って。約束してくれたからほしいズボンを買ってあげるよ。

息子：私の大切なパパ。(息子さんはお父さんを抱きしめた)

)5(

ا : إ ن ي ك ؟

ب نة 1 : ال ح م د

Alhamdulillah

ا : م ال ك ن ة ك دة ل ه ؟

ب نة 2 : ن ة ع ش ا ن م ه و ط ل ه ا

ا : ح د ي ز ع ل ع ش ا ن م ه و ط ل م ش ر ق . ط ب ال ح م د ال م ش ر ق ع ش ا ن ت ح و ي ت و ك ز ي

Alhamdulillah

ب نة 1 : ب ل ا الل ه ا ل ه ل ك ل ا م خ و قة و م ن ط ي قة و ب ال ك د ه .

allah yekhalilk

ا : ط ب خ ص . ا ه و) م ه و ط ل ج ي د (

ب نة 1 : ل ي ه د ه ؟ د ه ل ج ل ي د ل ال ل ي ك ا ن م ع ل ا . ح ي ي ي ل ي ل ا

habibi ya baba

場面5 (翻訳)

携帯が盗まれた後、父親は娘を落ち着かせようとしている。

父親：元気？

娘1：おかげさまで。

父親：何がそんなに悲しい？

娘2：携帯が盗まれたから悲しい。

父親：携帯電話を盗まれて、怒っている人がいる？盗まれたからおかげさまで。勉強できるから。

娘：お父さん！長生きしますようにこの話をやめてくれる？もう本当に怒っているから。

父親：わかった。わかった。これ！（新しい携帯電話を買ってあげた）。

娘：え？本当？すごい！持っていた携帯電話よりもこのほうがいい！私の大切なパパ。

(娘さんはお父さんを抱きしめた)

)6(

عبدالحميد : مش لغير دهيا لغيرة . لغير غيركوا حتى يام انا تكتي يارب .

katr kherek

場面6 (翻訳)

携帯電話での会話

アブドイリハミード：それは、たくさんだよ、ガリヤ。あなたの豊かさが増えますように。

神様よ、あなたはとても寛大です。(自分に話している)

)7(

أ : عماد أخ عزيز علي الولي مو عزيزه عيال له .

ب : لغير غيرك . صاحي عزيزي فطر أموكا .

katr kheirak

場面7 (翻訳)

)8(

لظنائة : أنا نزل فا . هيسى أوى .

merci awi

الشراب : ليه .

場面8 (翻訳)

女性と男性の会話である。女性はタクシーを呼びたいが、携帯電話の電源が切れてしまった。友達の携帯電話をかり、タクシー呼び、そして二人でタクシーに乗った。

女性：ここで降りる。どうもありがとう。

男性：いいえ、いいえ。

)9(

لظنائة : ميسى أوى يا كرم .

merci awi

الشراب : على لي ميس ويليتى .

لظنائة : أنك وصليتنى . ميسى أوى

merci awi

場面9 (翻訳)

女性と男性の会話

女性：どうもありがとう、アカラム。

男性：何のため？

女性：送ってくれたから。どうもありがとう。

)10(

أ: لتي زلتى اخوتك من غير طار؟
بنة: حوتول في امام! أنا عمري أعمل كدة؟ عملت هم طبع الورد دوشات .
أ: بيلس على كيدي اه اجر. مفيش فيك تين.
بنة: ميس يي اعدال حيني اسيبي .

場面10 (翻訳)

merci

母親：あなたの兄弟が朝ご飯を食べないで学校に行ったの？

娘：私はこんなことをしないはずでしょう？もちろんサンドイッチを作ってあげた。

父親：あなたのような人はいない！ハーガル（父親は娘を抱きしめた）

娘：ありがとうアブドイリハמיד（ダーリン）。

)11(

أ: من: بتعمل كدة أنا عمل تليل عليا .
ولهد بش كيري انا من. ميس يي لحيبي .
tushkar ya ayman . merci ya Habibi

場面11 (翻訳)

男性同士の会話である。

アイマン：できることはすべてやったと思う。

ワリード：ありがとう、アイマン。ありがとう、ダーリン。

)12(

أ: والله مكش لى ه مة لتعب دجا .
wallahi makansh loh lazma eltaab da
ب: بتعب لي ميس . بي ه حاج قسيطة. كان فيس ي أعمل أكثر من كدة.
أ: بتعمل لي ه؟ لت مثال مفر وضت عمل حاجة.

場面12 (翻訳)

男性二人の会話である。BはAの娘さんの婚約式に出席し、プレゼントをあげた。

BはAにプレゼントをあげる。

A：本当に疲れさせたね。そんなことをする必要はない。

B：気に入ってもらえるといい。もっとしたかったのに。

A：何を?! これ以上はいらんよ。

)13(

عبدالحميد : إنيك ؟
غلد:الحمد .

Alhamdulillah

عبدالحميد: ازى أمك واخوتك ؟
غلد:الحمد .

Alhamdulillah

عبدالحميد: إنتل متمام ؟
غلد:الحمد .

Alhamdulillah

場面 13 (翻訳)

アブドイリハミード：元気？

カーリド：おかげさまで。

アブドイリハミード：お母さんと兄弟は元気？

カーリド：おかげさまで。

アブドイリハミード：すべて大丈夫？

カーリド：おかげさまで。

)14(

بنة: إنيك ؟
بن:الحمد .

Alhamdulillah

ا : عاملة لي هي اؤينة ؟
بنة:الحمد . ياحييتى كويسة.

Alhamdulillah ya habibti

ا : إنيك ؟
بنة :الحمد .

Alhamdulillah

ا : عاملة لي هي اؤينة ؟
بنة:الحمد . ياحييتى كويسة.

Alhamdulillah ya habibti

場面 14 (翻訳)

母親と娘と息子の会話である。

娘：元気？

息子：おかげさまで。

母親：元気だよ、ダーリン。あなたは？

娘：おかげさまで、ダーリン元気。

父親：元気？

娘：おかげさまで

父親：ゼナは元気？

娘：おかげさまで、ダーリン。元気。

)15(

بن بيلبا .. في سوسن صا صتوفى ال مدرسة.
أ : ازيك في سوسن؟
سوسن: ال حمد .

Alhamdulillah

أ قولطي بقى لاول ده مشيحي حبي روح ال مدرسة قهي ه ؟
سوسن: ازاى اعمو , ده هويحق قول ل مبي موتفي ها.

場面 15 (翻訳)

父親と息子と息子の友達

息子：お父さん、サウサンちゃん、一緒に同じ学校で勉強している友達

父親：サウサン、元気？

サウサン：おかげさまで。

父親：この子は、どうして学校に行きたくないの？

サウサン：え？そんなことはない。彼は学校が大好きだと言っている。

)16(

عليدة: كلالى عينا 2000 جى مولس الك ميا ولياه ولدروس .
عبدالحميد: صيا عليدة خ ص. يننا موللى ي شيها مش اجا.
عليدة: ال حمد .

Alhamdulillah

場面 16 (翻訳)

母親のカバンが盗まれた。カバンの中に 1750 ポンドがあって、母親のお金ではなく、他の人のお金である。お金がないから、心配して父親と話していた。

アイダ：私たちの全財産は 2000 ポンドだよ。しかも、また子供の塾、電気代と水道代！

アブドイリハミード：大丈夫だよ、アイダ。大丈夫。私たちじゃなくて、アッラーに任せる。

アイダ：おかげさまで。

(17)

كين: ال حمد لله اى ام ا. ال فقصور طهى ان ص صا صقت اهنن. ول حمد ؟ ال حمد ؟ اجم مكسي صحن على ع؟ جسر عة

Alhamdulillah

Alhamdulillah

Alhamdulillah

أ ؟: ال حمد لله على كل حال ال حمد لله.

Alhamdulillah

Alhamdulillah

場面 17 (翻訳)

母親と息子の会話。

息子：おかげさまで、お母さん。医者によるとお母さんの健康状態は快方に向かっている。おかげさまで、おかげさまで、お母さんの具合はきっとよくなる。

母親：すべてのことをアッラー（神様）に感謝している。おかげさまで。

)18(

عبدالحميد: علي دة لقرض بوافق علي ه .
علي دة بجد؟ ال حمد ال حمد ال حمد .

Alhamdulillah Alhamdulillah Alhamdulillah

عبدالحميد: انا ونا م علي اي علي دة.
علي دة: ال حمد ال حمد .

Alhamdulillah Alhamdulillah

場面 18 (翻訳)

夫婦の会話である。

アブドイリハミード：アイダ！融資がもらえる！

アイダ：本当？おかげさまで。おかげさまで。おかげさまで。

アブドイリハミード：アッラーは傍にいるよ、アイダ。

アイダ：うん。おかげさまで。おかげさまで。

上記の例では、話者は同じ会話で「Alhamdulillah」を5回続けて口にしてている。感謝されるのは神である。

)19(

عبدالحميد: لو . طيو هيفلندم . ؟! كات خي ر كيهفلندم . شكرا جني شكرا جني .

shukran gazilan shukran gazilan kkatar kheirak

انش؟ □؟ هلكرة كون عد حضرتك بشكرا . بشكرا جدا .

mutshakker gedan shukran

場面 19 (翻訳)

携帯電話での会話である。銀行員はアブドイリハミードに連絡して、銀行は融資をすることに同意した。

アブドイリハミード：もしもし。はい。本当？！

あなたの豊富さが増えますように。本当にありがとうございます。本当にありがとうございます。 インシャアッラー、明日行きます。ありがとう、ありがとうございます。 失礼します。

)20(

لفنتاة: بفضلوا .
الزبون: بتسل طي دك .

場面 20 (翻訳)

女性はお客様にコーヒーを出す

女性：どうぞ。

お客様(男性)：お手数かけました。 (bless your hand)

)21(

أ: بئرحل تبص اصلي لكن هو ش غول بس هيقش يخلص.
ب: بين اي لخي لخي اعماد.

rabna yekhaliik

場面 21 (翻訳)

男性同士の会話である。(B)がアメリカに行きたいがビザが取れません。(B)が(A)にビザ手続きを手伝ってあげてほしいと、他の友達に連絡した。

(A)：友達に連絡したが、今のところ「忙しい」と言っている。でも、心配しないで彼は手伝ってくれる。

(B) 長生きしますように。

場面 22

لظنناة:أل فال ف بهروك
الشاب: بين اي لخي لخي.

rabna yekhaliiki

場面 22 (翻訳)

女性と男性の会話である。男性の娘の婚約式

女性：おめでとうございます。

男性：長生きしますように。

)23(

أ: ع هفتح مطعم .
ب: مطعم مسوري يقى!
ج: ببل! في سوري هفتح مطعم ليني؟ ايدي مطعم سوري.
ب: بين اي يقى وشوف اذا كلوا ع لهما واش اورم . لصل لبموتف الش اورم لسوري.
أ: بلكرم عنك عمى بلكرة الصبح أهيلك لعل س ل دوشش اورم.
ب: الله خاي خ لايك.

Allah yekhaliik Allah yekhaliik

場面 23 (翻訳)

男性が三人である。

A：もうすぐ、レストランを開く。

B：シリア料理店かな？

C: お父さん! 当たり前だろう。シリアから来たよ。レバノン料理店を開くの? (皮肉)
もちろんシリア料理店。

B: シャワルマを作るかどうか確認したかったよ! シャワルマが大好きだから。

A: そう言ってもらえてうれしい、おじさん! 明日シャワルマサンドイッチを持っていく。

B: 長生きしますように。長生きしますように。

)24(

للفتاة: طب أنا هجوز العشا.
الشاب أوعيت على كدة وفاء لمرلها من تهيئ على العشا ولأما قدرش تخبى من غيرها.
للفتاة بت مام . أهيت .
الشاب: بين أي شيء.

場面 24 (翻訳)

女性: 晩御飯の準備をする。

男性: いいえ、いいえ、そんなことをしないで! ワファー (妻) が待っているから。彼女がいないと晩御飯が食べられない。

女性: オッケー。ようこそわが家へ。

男性: 長生きしますように。

)25(

أقبل مقول كفي أكرم أنت في شو أفتنى تقبل ولإن أشتكرك .
ب: طعا أنا عمري ما هاخفظلوس فيه .

場面 25 (翻訳)

男性が二人。A が B のタクシーに乗って、タクシーの中に莫大な金額を忘れてしまい、
B が A にこのお金を返した。

A: アカラム! あなたが私を救ってくれたことについて話す前に、感謝を受けなければ
ならない。(お金をあげる)

B: いいえ、無理。このお金を絶対に受け取れない。

)26(

أ: أن بجد مش برفعة شكرك إزاي على بصرال كفي
ب: نقولش كده يباش م قدس إجا مجران .

場面 26 (翻訳)

男性: 連絡してくれて、本当に感謝の言葉が足りない。

女性: こんなことを言わないで! 私たち近所だよ。

男性のお母さんがなくなってしまって、女性は彼に連絡して痛みを和らげようとする。

)27(

رلها: طارق . أنا عفت من مام إن بلبا عيزكت منك الشغل وعافه إن كت مش بوسطخ ليك لتفتش غلك و فزل أنا
الشغل
طارق: بين أي شيء يا رلها .

ب : ه اخبت طعليس فر .

أفلا وقي اصح ؟

ب : اه ربي حتل زلوا

أ : لالتقبت مشغل فى الصرحه فلأ موصلك وأدخل معاك لأصل لك كل حاجة .

ب : بين اى لغى ك أن ا مش عارف شكرك ازاى

Rabena yekhalik , Ana mesh aref ashkorak ezay

أ : شكرك ولدك بت قيه دع اللى لك بين اى صديك لغوه ، عشان ان ل ا صديك .

場面 31 (翻訳)

男性 1 : どこに行く？

男性 2 : 保健所に行く。

男性 1 : なんでだろう？

男性 2 : 海外渡航のためのワクチンを接種する。

男性 1 : アフリカだろう？

男性 2 : タンザニアに行く。

男性 1 : 私は保健所で働いていたから、一緒に行って手伝ってあげる。

男性 2 : 長生きしますように。なんてお礼を言ったらいいのか。

(32)

أ : ازيكى امه يومه . هو لى ليه م حبيش بارلقى لى لى البيت . على ففيرة دميتك

ب : بين اى لغى

Rabna Yekhaliki

場面 32 (翻訳)

女性 1 : 元気なの、マリアム？なんでうちの家に来てくれなかった？この家はあなたの家だよ！

女性 2 : 長生きしますように。

(33)

أ : ازيكى ليرة ؟

ب : الحمد لله . لنت أشارك بي ه ؟

أ : الحمد لله . هيزو عامل بي دل وقتى ؟

ب : الحمد لله . أجهن لغير . أن ا مش عافه شكرك ازاى على وفك حيا .

Ana mesh aref ashkorak ezay

أبتشرك بينى على بي ميس ل ا مع ليش اى حاجة .

場面 33 (翻訳)

ワリード : 元気、ナイラ？

ナイラ : おかげさまで。あなたは元気？

ワリード：おかげさまで。ミズは元気？

ナイラ：おかげさまで、前よりもっと良くなった。そばにいてくれて、感謝の言葉はない。

ワリード：感謝する必要はない！私は何もしていない。

(34)

هيرة: لنتلفنت عاوزن عفى ليه ؟
وليد: و ج خيلتى. لنت عاوز أشرفك عشان أولكى لقصين دول عشان بقى ممل ميزو واحدة عيسى و واحدة لجلس.
هيرة: مش برفاة قولك ليه؟

Mesh arfa aolak eh

وليد: بوليش حاجة خلص.

場面 34 (翻訳)

ナイラ：私に何をしてほしいかったの？

ワリード：何もない。ただこの二つの小説を渡したかった。一つはアラビア語で、もう一つは英語。

ナイラ：何を言えばいいのかわからない。

ワリード：何も言わなくていい。

)35(

الم قدس : طيب لنت انكم ليا بس عليكم
هيرة: بفضل شكرا بيلش م قدس

Shukran

場面 35 (翻訳)

エンジニア：そろそろ失礼します。

ナイラ：どうぞ。ありがとう。

(36)

هيرة: وليد جد مش برفاة شكرك ازاي على قوفتك حنى

bigad mesh arfa ashkorek ezay

وليد: هيرة مكن تبطل وتقول لى الك ده

場面 36 (翻訳)

ナイラ：そばにいてくれることに、感謝しきれない。

ワリード：そんなことを言わないでね！

)37(

ا : طول مصل خك حل و خيلتى قول لى الحمد
البت: ان ب حمد بون اعليك لى و بلا

Ana Bahmed Rabna

場面 37 (翻訳)

お母さん：いつも健康であることに、「おかげさまで」と言ってね！

娘：お母さんとお父さんがいるから、神に感謝している。

)38(

وفاء: حلس قبليه دل وقتي؟ لسة موجهة؟

عليدة: أمش أوى، ال حمد؟ □ سخن .

وفاء: طب أدخل م عكفى .

عليدة: □ طي احييتي لكتن غيرك . روح يوقى شوى بيتك بشكرى بينا خلويا .

toshkari

kattar kherik

وفاء: حبيبتى طي اللى بيتوليه ده؟ بقوليش كدة .

عليدة: أنا عمرى ما هيس ووقتك دي ه مهي ا .

Ana omri mahnsa waafetik di maaya

وفاء: بسى اعليدة اجها خوات .

場面 38 (翻訳)

ワファー：今、体調はどう？まだ、痛い？

アイダ：そんなに痛くない。おかげさまで少し良くなった。

ワファー：一緒に家に行こう！

アイダ：いいえ、妹。あなたの豊かさが増えますように。ありがとう。長生きしますよ
うに。

ワファー：ダーリン、何を言っているの。そんなことを言わないで。

アイダ：そばにいてくれることは一生忘れない。

ワファー：こんなことを言わないで。私たちは姉妹だよ。

)39(

ا : الشاى الشاى الشاى

بقية بتسلم طي دك

Teslam eidak

場面 39 (翻訳)

お父さん：紅茶、紅茶、紅茶！

娘：お手数をかけました。 (Bless you hand)

)40(

بعدال حديد : حسيلك كمام ؟

الشااب : بخلى

بعدال حديد : بين اي لخي ك

Rabna yekhaliik

الفراب : 15

عليه شكر اي ابني

Shukran

الفرابال عنفوي ا امي

عبدالحميد : بفضل مبتكرين جدا . خلى البقى عشر لك

Mutshakiriin gedan

الفراب شكرشكرشكرا

Shukran Shukran Shukran

場面 40 (翻訳)

アブドイルハミード：いくら？

男性：大丈夫だよ。

アブドイルハミード：長生きしますように。

男性：15 ポンド。

アイダ：ありがとう、息子さん。

男性：どういたしまして、お母さん。

アブドイルハミード：どうぞ (お金)。ありがとうございます。おつりは、取っておいて！

男性：ありがとう。ありがとう。ありがとう。

)41(

بن: عامل علي هيلبلا؟

ا : لُت مام ل حمد .

Alhamdulillah

بن: ليه مشن او يبي بي يتسألني عامل ليه؟

ا : بييلني لُ ا نطم من عليك .

بن: ول الكبيس ل حمد .

Alhamdulillah

ا : ل حمد .

Alhamdulillah

場面 41 (翻訳)

息子：お元気ですか、パパ？

アブドイルハミード：おかげさまで、元気だよ。

息子：私は元気かどうか聞いてくれない？

アブドイルハミード：あなたのことを心配していない。

息子：うん。おかげさまで、元気。

アブドイルハミード：おかげさまで。

)42(

أ: بمرورك

ب: هيسى، عقالك.

場面 42 (翻訳)

女性：おめでとう。

男性：ありがとう、あなたもね。

)43(

عبدالحميد يشكر اياك لكرم على ال هية

Shukran

كرم: على بي مسوي بلبل ان تي ام ا بيتنا . بين اي شي كلنا
عبدالحميد وي تشكر لي بي . ده كان مشروع لفي ر ه ؟

weykhaliil ya Habibi

كرم: الحمد لفسدك ل شركة بطلع م مكرم واخذت عمولتي

Alhamdulillah

場面 43 (翻訳)

お父さん：プレゼントありがとう、アカラム。

息子：どういたしまして、お父さんもずっと買ってくれたよね。長生きしますように。

お父さん：私はあなたにも長生きしてほしい。大きなプロジェクトだったね？

息子：おかげさまで。会社は莫大な金額を稼いだ。そして私は手数料をもらった。

)44(

شيري : اياكواوليد

وليد : فيكي التي بمرورك مقدم

شيري : الله بارك فيك م يسي غي كل حاجة طبت ه

Allah yebark fiik. merci ala kol haga amaltaha

وليد : هيس ي لي ه نا عملتش اي حاجة غلص

場面 44 (翻訳)

女性：ワリード、元気？

男性：あなたは、元気？おめでとう。

女性：神のご加護がありますように。今までありがとうね。

男性：ありがとうって何？私は何もしていない。

)45(

أ: أنا لرف مش هقدر أساعدك.

ب: وأنا مش عجز الكتس اعني ايا لبتاذ عبدالحميد. أنا ص عونت أنا معمل لي ه . لبتاذن أنا.

أ: معال مة

ب: مبش كيرة

Motshakera

場面 45 (翻訳)

アブドイルハミード: 手伝うことができなくて、すみません。

女性: 手伝わなくてもいいよ、アブドイルハミードさん。私は何をするのかもう決めた。そろそろ失礼します。

アブドイルハミード: またね。

女性: ありがとう。

アブドイルハミード: 気をつけて。

女性: ありがとう。

)46(

كترم: إنشا خالص الشغل ال جلي ومفكر في موضوع ال جواز
ويبين للشركة بتام، لو اناج بفلسوس أنا موجوده
كترم: رغم أنا شي فاهم لتي بتعمل كدة إزاي ببشكرو في ال موضوع إزاي بالشكل دلك بجد لفتن خيريك.

Kattar kheirek

場面 46 (翻訳)

アカラム: インシャアッラー、次のプロジェクトを終わって、結婚のことを考えてみる。

社長: オッケー。お金が必要であれば、ここにいるからね。

アカラム: どうやってこんなことをするのかわからないけど、あなたに豊かさがありますように。

)47(

جلبر: لورلو اناجت حاجت بكدك دفع ال بقولى
لور: حلضرمت حرمش من كوي املت انا جلبر

mathermsh mink

場面 47 (翻訳)

男性: また何かあれば、私に聞いてよ!

男性: わかった。長生きしますように、ガーベルさん。

)48(

وردة: هي مدام عيادة عاملة طيه؟
ببدال حميد: غللت العملية وخرجت إكله اكايوم انشا
وردة: لو اناجت اى حاجة للفلسوى صح؟
ببدال حميد: بين اى كوي يبتى

Rabna yekhaliki

場面 48 (翻訳)

ワルダ: 奥さんは元気?

アブドイルハミード：手術を受けてもう退院した。

ワルダ：何かあれば連絡してくれるだろう？

アブドイルハミード：長生きしますように、娘。

)49(

سلمى بت حبيت اخذ فيزيوتس

طارق : شكرا

Shukran

場面 49 (翻訳)

サルマ：デザート食べる？

ターリク：ううん、ありがとう。

)50(

سلمى : بفضل

طارق شكرا

場面 50 (翻訳)

サルマ：どうぞ。

ターリク：ありがとう。

)51(

فاة : من فضلك عييزة اعمل اوردر . عييز قب امبرز و عييزة وبيسولين اظال
بسر ع قبسل وس محت بسر ع قبسر عة شكرا شكرا

Shukran Shukran

場面 51 (翻訳)

女性：注文した、お願いします。粉乳、パンパース、ウェットティッシュ。早く、お願いします。早く早く。ありがとう。ありがとう。

)52(

فاة : صرنا حمدتي قبل الموضوع ده . الموضوع قدهى .

حمدى : هللى مشكركى نى القتورة .

Mutshakreen

場面 52 (翻訳)

女性：もう、この話題について話さないで。

男性：オッケー。ありがとう、先生。

)53(

الموقف في هرقاش بين اثنين ذلكت رفى العمل . وحصل موقف مع القتورة البت ولكن القتور الرجل يعقد لى القتور
بشكلك خاطفك ان ينص حه اولقن هه فضنت نصري عه قالت عينا حه لغير و ع دم اشركت مشركت ميس خرية

فاة : عينا حه لغير برة

مشام : هللى القتورة

فيّة شكرايا لفتور

Shukran

場面 53 (翻訳)

女性：患者さんが多いよ。

男性：オッケー。先生！

女性：ありがとう、先生。

)54(

فيّة: لوس مخصيت عوفيّن لفتب دارة

بينت: اه من فا حضرتك

فيّة شكرا

Shukran

بينت: حضرتك لمنك ليه

فيّة: لانا لمنى ندى

بينت: ولانا لمنى سريدة

فيّة شكرا ليليدة

Shukran

場面 54 (翻訳)

女性：失礼ですが、管理事務所はどこですか？

女性：はい、あちらです。

女性：ありがとう。

女性：お名前は何ですか。

女性：名前はナダです。

女性：私の名前はサイダ。

女性：ありがとう、サイダ。

)55(

للزوجة بتسلم لى دى على كل

Teslam Eidek

للزوج: الف فا

場面 55 (翻訳)

女性：お手数をかけました。(Bless your hand)

男性：よい食欲を。

)56(

فيّاف: لفتور ندى يا ا

ندى: مدام فيّافس الت على حضرتك اول ما حيت . عاملة ليه

فيّاف: بكلت مدام لحمد

Alhamdulillah

場面 56 (翻訳)

女性：ナダ先生！ようこそ、ようこそ。

女性：アフアーフさん！来た後、アフアーフさんを探していた。元気？

女性：おかげさまで、元気。

)57(

نية : افيك عاملي به
الطفل : لحمد

Alhamdulillah

場面 57 (翻訳)

女性：元気にしている？

子供：おかげさまで。

)58(

الوظيفة : نفضل لي
نية : كدة ص ؟
الوظيفة : اه

نية : مبتشكرة جدا

Mutshakkera gidan

場面 58 (翻訳)

女性：どうぞ。

女性：もう、これで終わり？

女性：はい。

女性：どうもありがとうございます。

)59(

الوظيفة : هيتبليغ حضرتك ان لاطلب بنوافق عليه
ندى : بيه دمبجد ؟ لحمد

Alhamdulillah

الوظيفة : بهروكسب بيه اول خطوة لسه ال خطوة ال جيلة .
ندى : وبه البى ؟

الوظيفة : انشرا بطوغ حضرتك قريب

ندى : مبتشكرة جدا جدا

Mutshakkera gidan gidan

場面 59 (翻訳)

女性：要求が承認されたということをお知らせしたいです。

女性：本当？おかげさまで

女性：おめでとう。でも、これは最初の一步。まだ、次の一步がある。

女性：これはいつ？

女性：近いうちにお伝えします。

女性：どうもありがとうございます。

)60(

الفتورة :بعض النضار قول ومش فوشري هالكيسعالى فلتلى
المريض :ميسى جدلىدى

Merci gedan

الفتورال عفو

場面 60 (翻訳)

医者：眼鏡をどうぞ。はっきり見えなかったらまた来て。

患者：どうもありがとう、ナダ。

医者：どういたしまして。

)61(

ندى : جربكدةالنضارة فيه
المريض : اهكدت مام ميسى جدلج

Merci gedan

ندى بتحت امركتحت امرك

場面 61 (翻訳)

医者：この眼鏡を試してみて！

患者：これでいい！本当にありがとう。

医者：何なりと。何なりと。(at your service)

)62(

المريض : للاحاس انالنضارة منقليليفللفىالعينز

الفتورة : اهكيس جدا

المريض : هو قلى بلنك عندهك امسنة

الفتورة : 7. قس لمى

المريض : نا ملناس ادك وقل له مدرسةكويه

الفتورة بجد ميسى اوى بيلش مقدس

Merci awi

場面 62 (翻訳)

患者：眼鏡は便利ではないと感じて、コンタクトレンズのことを考えている。

医者：とてもいいアイデア。

患者：ちなみに、息子さんは何歳？

医者：あなたの娘さんと同じ。七歳。

患者：あなたの息子さんはいい学校に転校させることが手伝ってあげようか？

医者：本当にありがとう。

)63(

ص ح : طوخيلى فلتقت مع ميرةال مدرسة ومع ادك مع اهليوم حلساعة 11

ندى :ميشكرة جدا جدا

ص ح : لو اضاخى اى حاج فلينى

場面 66 (翻訳)

子供：ありがとう。(ママを抱きしめた)

お母さん：どういたしまして。

)67(

الخدمة بيونس لبت كويس
بيونس : اه لحمد

Alhamdulillah

場面 67 (翻訳)

使用人：ユーネス、大丈夫？

子供：うん、おかげさまで。

)68(

ندى : مىرسى يا اجيدتى

Merci

الست : مىرسى ليه يه . لتى عيطة هوليوش كدة

場面 68 (翻訳)

女性：ありがとう、ダーリン。

女性：ありがとうって何？そんなことを言わないで。

)69(

بسننت : ضطت عني ه و هولل لىفت حل لى قوالى له ج جلا فاخت فطرت ه

ندى : مىرسى او ييبسننت

Merci Awi

بسننت : على ليه هوليوش كدة

場面 69 (翻訳)

パサント：ドアをノックしたらユーネスは開けてくれて、おなかが空いているって言った。それで朝ご飯を食べさせてあげた。

ナダ：どうもありがとう、パサント。

パサント：そんなことを言わないで。

)70(

غلد بسننت لظنى على للى حبل العارحت حى نوي مل لفتور

ندى : مىرسى هو ييقى كويس

Merci

場面 70 (翻訳)

男性：パサントが昨日に起こったことが話してくれた。ユーネスを医者に連れて行こう

か。

女性：いいえ、ありがとう。よくなると思う。

)71(

ص ح : مل يجيبى بنس وييج ولتتبعى عدى ل هارده ووق عد مع بعض موس لمى ويلل مره ن غول هال ج للى موني ه
ندى : مواتة ميسى

Merci

場面 71 (翻訳)

男性：ユーネスを連れて私の家で晩御飯食べようか。彼はサルマと遊んで気分転換した方がい。

女性：うん。ありがとう。

)72(

お母さんは息子さんが空手を練習するために公園まで連れて行った。

ندى : لت عارف لك نقتبس ط فا اوي
يونس شكرا

Shukran

場面 72 (翻訳)

ナダ：ここで楽しめるよ！

息子：ありがとう。

)73(

البرت : يجيبى تجرب مرة وتبين
ندى : هو مش عجزيت مرن
البرت : بتج اولى هينعشرتستول مى كدة من اول مرة فيه مش تبي
ندى : ميسى

場面 73 (翻訳)

女性：ダーリン、一度も二度も試さないといけない。

女性：もう彼は練習したくない。

女性：あきらめることは無意味だ。

女性：これはいい子育てではない。

女性：Merci

)74(

الجرسون لفظ طاري فلندم
ندى شكرا
الشركر يفندم
تسلطى دكشكرا

場面 74 (翻訳)

ウェイター：朝ご飯、どうぞ。

ナダ：ありがとう。

ウェイター: 感謝は神様に。

ナダ: お手数をかけました。ありがとう。

)75(

ولدخل مى : مين ده ؟

سلمى : ده يونس صاحبى

ولدخل مى : ايا يونس ازيك

يونس : لحمد

Alhamdulillah

場面 75 (翻訳)

サルマのお母さん: この人はだれ?

サルマ: 私の友達。ユーネス。

サルマのお母さん: こんにちは、ユーネス。元気?

ユーネス: おかげさまで。

)76(

ندى : عيكي كويس قفني هاش حاجة

رانيا : بيه دمجد ؟ لعل لأمسفرة ال بيك لند ده معص ج سلمى ولقنت خطبة

ندى : نشقويش

رانيا : بشكر بجد طهينى

Shukran

رانيا : لفي ذا السرير فا

ندى : مى رسي

Merci

رانيا : thank you اوى وعليز تعلقى اشرفك تعلقى

Thank you awi

ندى : you are welcome

場面 76 (翻訳)

女性: 目がいいよ。

女性: 本当? この、週末はサラとサルマと一緒に旅行するから、心配。

女性: 心配しないで。

女性: 安心させてくれて本当にありがとう。

女性: ここの病院はいいね。

女性: ありがとう。

女性: どうも Thank you。また会おうね。

女性: you are welcome

スポーツクラブでの会話

السرير : بشكر لى بي المرات اذة بشكر لى وقف تلي مبره

ندى : بين اى ايجيكى شكرا

場面 77 (翻訳)

女性：どうぞ入ってください。どうして外で待っていますか。

女性：長生きしますように。ありがとう。

)78(

ندی بئىلىم ئېدىكىمىسى اوى

Meci awi

場面 78 (翻訳)

スポーツクラブの中で、ナダは立っていたから、他の女性は椅子を持ってあげた。

ナダ：お手数をかけました。どうもありがとう。

)79(

الھىت :بفضلىيىا جىيىتى :

ندی :مىسىسى اوى اوىرىپىن اى ئىچكى .مىسىسى اوى .شۇكرا جدا

Shukran giddan,Meci awi, Rabena yekhalikii, Merci awi awi

مىسىسىمىسىسى

Merci Merci

場面 79 (翻訳)

女性：どうぞ、ダーリン。(お菓子)

ナダ：どうもありがとう。長生きしますように。どうもありがとう。どうもありがとう。

ありがとう。ありがとう。

)80(

الھىت :لو چىدىك اى شىوارسىيە واجا فاخذ رقم ئېيىنك ئۇلۇمك اول چىخلىص

ندی بئىلىمىمىسىسى اوى

Merci awi

الھىتالغىفو

ندی :مىسىسى اوى اوى .شۇكرا اوى اوى .بىن اى ئىچكىمىسىسى .مىسىسى

Merci ,Rabena yekhaliiikom yarab,Shukran awi awi,Meci awi awi

場面 80 (翻訳)

女性：用事があれば、どうぞ。私たちは息子さんの世話をします。携帯番号を教えてください。息子さんが練習を終わってから、連絡する。

ナダ：長生きしますように。どうもありがとう。

女性：どういたしまして。

ナダ：どうもありがとう。本当にどうもありがとう。長生きしますように。ありがとう。

)81(

ص ح : happy birthday

ندی :مىسىسى اوى اوى

Merci awi awi

ص ح بي عري نمأب يرش ال مروضوع ده نه ا ح ا حة ص غيرة
ندی : بيه لملی هیة . متشكری ن علی ال هیة

Motshakreen

場面 81 (翻訳)

サラー：誕生日おめでとう。

ナダ：どうもありがとう。

サラー：これはちょっとしたプレゼントだよ。

ナダ：これは最高だよ。プレゼント、感謝しているよ。

)82(

البنيت : كل سنة ولتی طيها عتمو

ندی : thank you so much

بن : كل سنة ولتی طيها ماما

ندی : ولت طيها روح ماما

خ : واخيرا قد تغفل عن اعطاك لي ميس قيت لى يجب هي تليونس

ندی : حلوة اوى اوى اغلد . thank you

場面 82 (翻訳)

子供：誕生日おめでとう、おばさん！

ナダ：thank you so much(どうもありがとうございます)。

娘：誕生日おめでとう、ママ。

ナダ：ありがとう、ダーリン。

ナダの兄：プレゼントのことをよく考えたけど、ついにユーネスにプレゼントを買った。

ナダ：とても素敵、カーリド。Thank you (ありがとう)

)83(

ندی : عن كميقتك هيسة اوى ومش مضاجه دواء

المريضه شكري اى كتورة

Shukran ya doctora

場面 83 (翻訳)

ナダ：目がとてもよくなったね！もう薬は要らない。

患者：ありがとう、先生。

)84(

لراجل : فيوري رؤوف

لراجل : بين اولى لى اعى دهنورك

Rabena yakhaliik

男性 1：本当に大丈夫？

男性 2：うん、おかげさまで

)87(

لراجل خذني من هنا من غير عذاب
لراجل : لتولتي وروفي اى وقت
لراجل : بين اى نحيك

Rabna yekhaliik

場面 87 (翻訳)

男性 1：我々は突然聞いて、すみません。

男性 2：いつでも大丈夫だよ。

男性 3：長生きしますように。

)88(

رجل لخير بينتص غيرة
أ: ايكوييننة
ب: ايكوي اعم نحي
أش هي تيل من عشرك
ب: متشكر قيا اعم نحي

Motshakker

場面 88 (翻訳)

男性と子供

男性：トナは元気にしてる？

子供：ハナフィーさんは元気にはしていますか。

男性：あなたのために、ジャスミンを買ったよ。

子供：ハナフィーさん、ありがとう。

)89(

تقويم الشراى لوق هو وى في
أش كراجزي . شكرا جدا

Shukran giddan Shukran gazilan

場面 89 (翻訳)

لوم لمن ليتاذن حضرت اغفى رنة من القتاب ده كونشكر

Akon shaker

)90(

ش هفى لقتاب نهي
أ: بفضل القتاب
ب: بس فلتيك

Asef letaabak

場面 90(翻訳)

男性 1：どうぞ。(本)

男性 2 : 疲れさせてごめん。

)91(

أ: ميشك عر على الشاي

Motshakker

場面 91 (翻訳)

紅茶をいただき、ありがとう。

)92(

أ: لو احتاجت حاج يقول لي لبت عارف منك لي

ب: سارة شكرا

Shukran

場面 92 (翻訳)

女性:何かできることがあればいつでも聞いてね。私のところを知ってるね。

男性: サラ！ありがとう。

أ: من معش صوت الترامز من ساعة ما رجعت من الـ ميشك في قولت اطمئن عليك

ب: ميشك. بفضل لي

Motshakker

場面 93 (翻訳)

女性は友達のことを心配して、彼のところまで行った。

女性:退院してから、ドラムの音を聞いてないから、何かあったのか心配している。

男性: ありがとう。どうぞ。

)94(

موشكيل سارة لانا حنطر لبت اذن. ميشك

Motshakker

場面 94 (翻訳)

パーティーで、男性は早く帰りたいから、先に帰った。

男性: サラ、ごめん。帰らないといけない。ありがとう。

)95(

أ: لانا لمن فعل حقتش اعفك بفسى . لى فارس

ب: ولانا مروة

أ: مروة! لىم جيل اوى

ب: مىوى

Merci

أبش ريشى شاي قهوة

ب: مىوى

Merci

أ: طيب عدي لب. بيه رطيك؟

ب: اوكى. ميسى

Merci

場面 95 (翻訳)

男性：早く自己紹介ができなくてすみません。私はファーリスです。

女性：私はマルワです。

男性：マルワ！きれいな名前ですよ。

女性：ありがとう。

男性：コーヒーか紅茶か飲みたいですか？

女性：いいえ。ありがとう。

男性：ひまわりの種はどう？

女性：オッケー。ありがとう。

)96(

أ: أنا عبدالحميد

ب: واثان ايمن

أيتشونا

ب: ميسى

Merci

場面 96 (翻訳)

男性：私はアブドイリハミードです。

女性：私はディーナです。

男性：よろしく。

女性：ありがとう。

)98(

أ: إن ابشركك ج دايين ايم على ال م ج مولل ي نبذل عشان ال م حاضر تطل ع لفرانك ده

Ana bashkorak gidan

ب: لي اللى لنتسبى وله ده. ده شرف. ي ج ام عفى حمر فطلع ال ليله لنتك زوره اوتدى م حاضر فقي ها.

場面 98 (翻訳)

男性 1：サリームさんのおかげで、素晴らしい講義ができてよかったです。私は非常に感謝しています。

男性 2：何が言っているの？世界中でもエジプトでもあなたは講義をするというのは、

誇りです。

)99(

أبتسل على دنيا حنان

Teslam eidek

場面 99 (翻訳)

男性：手数をかけました、ハナーン。

)100(

مى وينى جداعلى اليوم ال جميل دويبلش

Merci giddan

場面 100 (翻訳)

男性：今日素敵な日です。どうもありがとう。

)101(

أ: بين ايباركلك لفي هبلوس)

ب: بيع شي اجيبى

أ: بيع شي ل تي صفر

場面 101 (翻訳)

男性 1 お金をもっと増えるように。

男性 2 長生きしますように。

男性 1 長生きしますように。

)102(

أ: أنا عيلزك يكل ملى خالك ل هاردة موييس ال علكى نيم .

بينة : مش هكل مه ال مفروض هولى يتيصل لى .

أ: هلى كتخريك

Kattar kherik

場面 102 (翻訳)

母：今日はおじさんに連絡してほしい。いつもあなたのことを聞いているよ。

娘：私は連絡しない。彼は私に連絡したいなら、どうぞいつでもけど、私のほうから連絡しない。

母：わかった。あなたの豊かさが増えるように。

資料Ⅱ テレビドラマと映画の会話（日本語）

場面（1）

写真家：緊張しているか？そんなかおしてたらお前受かるもんも受からなえぞ。もっと明るい顔。

男性：どんな顔したらいいんですかね。僕笑顔が作れないんですよ。

写真家：よし。もういいよ。

男性：ありがとうございます。よろしくお願いします。

場面（2）

アキ：白血病。私の病名。でも、私は絶対に死なないから。サクもそう信じてて

サク：はい。（非言語）

アキ：ありがとう。

場面（3）

女性の方は写真を見ながら泣いていた。その時、男性はコーヒーを提供したけど、彼女は断った。

男性：はい。コーヒー。あったまるよ。

女性：ありがとうございます。

場面（4）

お姉さんは白血病で、病院にいる。妹は写真を持って、お姉さんも訪ねて病院に行った。

妹：アキねえちゃん！写真出来たよ。

姉：えー！ありがとう。

サク：いつもありがとう。

場面（5）（非言語）

アキ：重じい、どう？

重じい：ああ。とっても綺麗だ。

アキ：ありがとう。

場面（6）

女性：なかなか片付かないね。後はゆっくりやるよ。ありがとうね、二人とも

女性：うんうん。

場面（7）

高校の同僚は二人で、道で歩きながら話している。女性のほうは、引越してしてから

どんな気持ち話をしている。

女性：大変だよ、一人暮らしって。

男性：なんだよ！もういやになったのか？

女性：え？ううん。

男性：ならいいけど。何かあったらすぐ連絡してこいよ。

女性：うん。ありがとう！

場面 (8)

菜緒ちゃんが学校のロッカーで制服を探すと、見つからなかった。それで、同僚が見つけてもっと来た。

女性：これ廊下落ちてたけど、吉川さんのじゃない。

女性2：ええ！？菜緒！制服落としたの？

菜緒：ああ。そうかも。ごめんありがとう。

場面 (9)

まりな：なんか今日朝から変。元気ないし。

菜緒：ううん。ちょっとおなかすいただけだから。

まりな：本当に？

菜緒：うん、本当。

まりな：菜緒が笑ってないと私も調子狂うんだからね。

菜緒：ありがとう、まりな。

まりな：ううん。

場面 (10)

男性：吉川。お前呼ばれてるってよ。

菜緒：えっ！誰が。

男性：上原君。体育倉庫で待ってるって。

菜緒：そっか。ありがとう。

場面 (11)

菜緒ちゃんが同僚の3人でいじめられて、上原君に助けられた。

上原：俺、このママバイトに行くから。

菜緒：上原君！ありがとう。助けてくれて。

場面 (12)

上原君が倒れてしまって、菜緒ちゃんが救急車に呼んで病院に運ばれた。

医者：心配ないですよ。疲労と睡眠不足。あとは、軽い栄養失調が重なったかな。

2～3日ゆっくり休んでちゃんと食べれば大丈夫。

菜緒：はい、ありがとうございます。

場面 (13)

上原の彼女は彼が入院したことがわかって病院まで行った。それで菜緒ちゃんがこのまま帰ろうとしたら、上原の彼女に止められた。そして彼女は彼に助けてあげた人に感謝するように頼んだ。

菜緒：じゃあ、私はここで。(帰る)

女性：あんたお礼の一つぐらい言いなさいよ。

上原：いろいろ助かった。

菜緒：うん。お大事に。

場面 (14)

百合：私上原百合っていいです。これ一応名刺。連絡先書いてあるから。

あ、ありがとうございます。

場面 (15)

同級生：僕今日の練習試合あってさ。

菜緒：そっか。だよね！忙しいのにごめんね。

同級生：お前本当追い詰められないと全然やらないタイプだもんな。夏休みの宿題 自由研究 読書感想文。

菜緒：全部大ちゃんに手伝ってもらいました。

同級生：俺もうちょい感謝されてもいいと思うんだけどな。

菜緒：してるよ大ちゃん。すごい感謝しています！

同級生：頑張れよ！じゃあな！

菜緒：うん、ありがとう。じゃあね。

場面 (16)

同級生はレストランでご飯を食べている場面

同級生：いただきます。

同級生：ご馳走様！

場面 (17)

レストランでの場面である。

菜緒：大ちゃん！どうしたの？

大地：腹減って。このラーメンのファンになった。

菜緒：毎度。

菜緒：はい、どうぞ。

大地：いただきます。

場面 (18)

上原：ごちそうさまでした。

場面 (19)

百合：はい。これ！

菜緒：ん？お年玉？

百合：うん。一つ菜緒ちゃんに。

菜緒：えっ？いや。そんな受け取れ。

百合：いいの。これは私の気持ちだから。いつもありがとうね。久志のこと。

場面 (20)

菜緒：何これ？

大地：招待券もらったんだ。昔から好きだろう。水族館。

菜緒：うん。大好き！

大地：今度の日曜暇だったら行くか？

菜緒：いいの？

大地：うん。部活もないし。

菜緒：うん、行く。ありがとう、大ちゃん。

場面 (21)

学校で二人は食事する場面である。

上原：ご馳走様

場面 (22)

上原：これ、朝から鳴り続けてたから持ってきてやったんだよ。

菜緒：え？わざわざ？

上原：いや何か緊急のようだったら困るだろ。

菜緒：ありがとう。

場面 (23)

レストランの場面である。

上原：うまそう！（ラーメン）

菜緒、上原：いただきます。

場面 (24)

菜緒：ごちそうさまです。

家で友達の集まりで、百合がおごった。

百合：今日は私のおごりよ！ジャンジャン食べてね。

大地：ありがとうございます。

場面 (25)

菜緒：どうぞ（飲み物）。

卓也：いただきます。

場面 (26) (非言語)

卓也は菜緒にプレゼントをあげる場面。

卓也：これお口に合うか分からないですけど。

菜緒：あ、すいません。お気遣いいただいて。

卓也：いえいえ。いつも久志がお世話になってるお礼ですから。

場面 (27)

大地：これ、去年のテスト用紙。勉強に使えるかなって思って。

菜緒：ありがとう。助かる。

場面 (28)

菜緒と上原が百合の結婚指輪を探している。菜緒が見つけた。

上原：ありがとうな。

菜緒：え？

上原：ありがとうな。

菜緒：ん？

上原：ありがとうなって言ったんだよ。

場面 (29)

ラーメン屋での場面

ウェイター：はいよ。

菜緒：ありがとう、いっちゃん。

場面 (30)

百合：菜緒ちゃんにプレゼント！

菜緒：えっ？いいの？

百合：うん、お礼したかったんだ。

菜緒：百合！ありがとう。

場面 (31)

上原：百合！忘れもん。

百合：ごめん。

菜緒：大ちゃん！卒業おめでとう。(花をあげた)

大地：ありがとう。

菜緒：大ちゃん、今までありがとう。

場面 (32) (非言語)

光石：大地先輩！お世話になりました。

大地：サンキュー！

場面 (33)

家にある場面である。

菜緒：お待たせ。

菜緒の母：はい。上原君、どうぞ。

上原：すいません。

場面 (34)

レストランでの場面。

菜緒：はいはいはい、私からのサービス

まりな：いいの？

光石：サンキュー！

場面 (35)

一星：吉川！

菜緒：あ、いっちゃん。

一星：ちょうどよかった。これ、チャーシュー！

菜緒：えっ？いいの？

上原：チャーシュー！！

一星：二人で仲良く食ってくれや！じゃあな！

菜緒：ありがとう！

場面 (36) (非言語)

店員：あんた、ずっと待ってるけど寒くないの？

菜緒：あ、大丈夫です。こうやって体動かしてたほうが体あったまるんですよ。

店員：そう？風邪ひかないようにね！これ、できたて、あったかいよ。

菜緒：え？いいんですか？！ありがとうございます。

場面 (37) (非言語)

誕生日パーティーだけど、菜緒が悲しい。彼氏は菜緒の誕生日を忘れたから。

まりな：菜緒！ずっと欲しがってたマウジーのストールとたればんだの枕！

菜緒：うん、ありがとう。あ、すごい嬉しい。ありがとうね、みんな。

場面 (38) (非言語)

上原：これ！怒んなよ。お金なくてこんなもんしか買えなかった。いや大体お前が悪いぞ。誕生日なら誕生日ってちゃんと言えよ。

菜緒：ありがとう。一生の宝物にする。

場面 (39)

上原：お風呂 お先に。

一星：あ、サンキュー。

場面 (40)

菜緒：いただきます。

上原：いただきます。

一星：いただきます。

場面 (41)

上原：ご馳走様。

場面 (42)

一星：吉川！家の鍵貸してくれねえか？

菜緒：鍵？

一星：あの外出る時、鍵開いてたら物騒ぎだろ！

菜緒：あ、そうか。

一星：サンキュー。

場面 (43)

阿部は菜緒に料理室の道具を片付けるのを手伝ってあげた。

菜緒：ごめんね、あべっち手伝ってもらっちゃって。

阿部：ううん。いいよ。今日は大事な日だからな。

場面 (44)

菜緒：いただきます。

上原：いただきます。

場面 (45)

菜緒がバイト先で倒れてしまって、一星は家まで送ってあげた。

菜緒：ありがとうね。

場面 (46)

男性：どっちかっていうと田舎の方が好きなんだけどな。
だから桜さんがアウトドア好きになってくれてよかったと思ってたわけ。

女性：ありがとう 栃男さんのおかげ。

場面 (47)

女性は、ハウスキーパーとして、男性の家で働いている。

男性：網戸 掃除しましたよね？

女性：あッ すいません 勝手に。

男性：あッ そうじゃなくて。土曜の朝 カーテンを開けたら、いつもより部屋が明るくて、何でだろうって思っただけ。あッ 網戸だって。網戸が きれいなんだって。気がついて。すごく気分がよくて。ありがとうございます。

場面 (48)

会社で、社員が他の同僚に朝ご飯を買った。

男性：朝ご飯買ってきたよ！

男性：ありがとうございます。

場面 (49)

男性と女性が話している。男性は、女性の性格にいいことを言っている。

男性：森山さん！森山さんは結婚できると思います。掃除もうまいし、料理だっておいしい。

女性：ありがとうございます。

場面 (50) (非言語)

女性：父からです。(プレゼント)

「強引に娘を雇わせておきながら」、「引っ越すことになり、申し訳ない」と
1ヵ月半 ありがとうございます。

男性：座ってもらいますか。

女性：はい。

男性：今日の分のお給料です。

女性：ありがたく。

場面 (51)

女性：お父さん ビールでもいかがですか？

男性：お気遣いなく。

ありがとうございます。

場面 (52)

男性：いただきます。

女性：いただきます。

場面 (53)

女性：お弁当です。

男性：ありがとうございます。

場面 (54)

男性：津崎くん お待たせ。

場面 (55)

男性：みくりさんって。メリットのある相手かも。

女性：うん？

男性：褒め言葉です。

女性：ありがとうございます。

場面 (56)

男性：みくりさんが働きやすい環境を提供したいと思っています。

もし何か気になることがあったら、遠慮せず何でも言ってください。

女性：ありがとうございます。

場面 (57)

男性：みくりさん？

女性：ああ どうも 先日は。

おすまい この辺なんですか？

男性：すぐそこです。津崎さん まだ残業してましたよ。

女性：はい。遅くなるってメールもらいました。

どうもすいません。

男性：いえ。

場面 (58)

子供の頭にたたいた。

サク：いつもありがとう。

場面 (59)

女性：風見さん 自分は自分勝手だって言ってたんですけど、結婚に対して身構えてるのは実は誠実だからだと思っんです。モテるからあんなっちゃってるだけで。風見さんって。

男性：その話まだ続きますか？

女性：えッ？

男性：ごちそうさまでした。

場面 (60)

女性：こちら百合ちゃんです。

男性1：はじめまして。風見です。

男性2：わざわざ すいません。

場面 (61)

女性：冷蔵庫のブドウ持ってくるの忘れないでくださいね。

会社へのお土産？

男性：みくりさんに買ったものです。

女性：えッ？

男性：いつもお世話になっているので。ささやかですが。

女性：お心遣いありがとうございます。

場面 (62)

道端で、女性と男性が話している。

女性：ああ どうも。

男性：買い物ですか？

女性：食器をいくつか。

場面 (63)

女性：あッ すいません。今日はそぼろです。

場面 (64)

女性：お帰りなさい。

男性：あッ どうも。

女性：ちょうど終わったところです。

場面 (65)

男性：来てくれてホント 助かりました。

女性：臨時収入 大歓迎です。

男性：じゃ 行ってきます。

女性：はい。

男性：行ってらっしゃい。

場面 (66)

女性：風見さん！玄関に忘れてました。雨予報だったんで。

男性：ありがとう。

場面 (67)

男性：どうぞ。

女性：どうも。

場面 (68)

女性：ハグしていいですか。

男性：はい？

女性：今の感謝の気持ちを込めて。

場面 (69)

女性：ゆで上がりましたね。

男性：あッ 僕やります。

女性：ありがとうございます。 熱いんでこれ使ってください。

男性：はい。

場面 (70)

男性：時間外に すいません。

女性：私も飲みたかったのでついでです。

場面 (71)

男性：下は冷えます。

女性：ありがとうございます。

場面 (72)

男性：今日は、みくりさんを慰労する旅行なので。

女性：そんな！ いつもありがとうございます。

男性：いえ。こちらこそ お世話になってます。

場面 (73)

女性1：土屋さん 本部会議の資料見てもらえましたか？

女性2：あーこれね途中まで赤入れたんだけどいいわ。こっちで直す。

女性1：えッ？

女性2：会議 明日だから時間ないから。

女性1：土屋さん優しい。 ありがとうございます。

場面 (74)

男性：森山!?! 森山じゃーん！何やってんだよ？

どうも！ あッ この人 高校の時の同級生で、森山の元カレです。

女性：それ言う必要なくない？

場面 (75)

男性：あッ 百合さん。

女性：ああッ お疲れ。

男性：先日の旅行、 ありがとうございました。

女性：楽しかったみたいね。 お土産ありがとう。

男性：いえ それくらいは。

場面 (76)

女性：ちゃんと言ってなかったんで、言おうと思うんですが。

男性：はい。

女性：平匡さんに雇ってもらえて、毎日楽しく仕事できて、ありがとうございます。

男性：こちらこそ。

場面 (77)

娘：お母さん ちょっとイライラしてるだけだよ。

お父さん：ちょっと？

娘：うん かなりだけど、お母さん 体丈夫で今までケガ一つしたことなかったから。

自分でも戸惑ってるんじゃないかな。

お父さん：みくりが来てくれてよかった。

娘：私こそ助かったよ。

場面 (78)

家である場面。

母：みくり。

娘：うん？

母：ずっといてもいいのよ。

娘：うん、ありがとう。

場面 (79)

女性：お待たせしました。

場面 (80)

女性：いただきます。

男性：いただきます。

場面 (81)

女性：お誕生日おめでとうございます。

男性：ありがとうございます。

場面 (82)

女性：がもうバイトをやめた。

女性：今までありがとうございました。

男性：楽しかったです。

場面 (83)

男性：先日はどうも。

女性：どうもお世話になりました。

場面 (84)

男性：明日ご挨拶に伺います。

女性：はい 失礼します。

場面 (85)

お電話、ありがとうございます。

場面 (86)

女性：どうぞ。

男性：失礼します。

家で、姉は弟にご飯を作ってあげた。

場面 (87)

女性：はい。

男性：サンキュー。いただきます。

場面 (88)

女性：はじめまして。

男性：あ、どうも。

場面 (89)

二人は同僚で、男性は女性を家まで送ってあげた。

女性：いつもありがとう。

男性：いいえ、ぜんぜん。家も隣だし。

女性：じゃ、また。

場面 (90)

レストランで店長さんが客さんに感謝する場面である。

店長：ありがとうございます。

場面 (91)

店長：あ、どうも。店長のとのやまです。

場面 (92)

男性はプロポーズしている場面である。

男性：一緒傍にいてください。

女性：ありがとう。

場面 (93)

男性は友達のお母さんを訪ねていた。

女性：わざわざありがとう。

男性：いいえ。

女性：りょうくんも元気で。お母さんにもよろしく。

男性：はい、ありがとうございます。失礼します。

場面 (94)

事務室で、二人の女性の場面である。

女性1：どうぞ。

女性2：ありがとうございます。

女性1：いいえ。

場面 (95)

女性1：香田さんですか？私、浅野すずです。

女性：遠いところお疲れ様です。

場面 (96)

女性1：いらしゃいませ。遠いところようこそ。

女性2：お世話になります。

場面 (97)

女性1：後で、母がご挨拶に伺うと思います。

女性2：ありがとう、迎えに来てくれて。

女性3：ありがとうね。

場面 (98) 非言語

女性1：はじめまして。香田と申します。

男性：あっ、ご長女の方？

女性2：はじめまして。浅野の家内でございます。お忙しいところありがとうございます。

女性1：父が大変お世話になりました。

場面 (99) 非言語

女性1：すずちゃん。あなたがお父さんのことお世話してくれたんだよね。

女性2：うん。

女性1：お父さん きっと喜んでると思う。本当にありがとう。

女性3：ありがとう。

女性4：ありがとうね。

場面 (100)

女性1：たくさん食べてね。

女性2：はい、ありがとうございます。

場面 (101)

女性1：姉です。

男性：どうも。藤です。

女性2：はじめまして。妹がお世話になっています。

男性：いえ。こちらこそ。

場面 (102)

男性：頑張っ

女性：はい。ありがとうございます。

場面 (103) 非言語

女性1：すず、困ったことがあったら、何でも言ってね。

女性2：はい、ありがとうございます。

場面 (104)

葬式では、二人の女性が会話している。

女性1：ありがとうございます。

女性2：今日はわざわざどうも。

場面 (105)

女性：いただきます。

女性：ごちそうさまでした。

場面 (106)

女性1：飲んでみる？

女性2：うん。

女性3：はい。

女性4：ありがとう。

場面 (107)

ありがとうございます。カフェで飲み物が飲んだ後、感謝している。

ありがとうございます。レストランで食べた後に、感謝している。

場面 (108)

お待たせしました。ショコラパフェを一つ。

場面 (109)

好きな女性にキッスできたから。

サンキュー押歩タン式信号。

場面 (110)

いただきます。

場面 (111)

恋人のプレゼント交換

女性：ありがとう、ありがとう。

場面 (112)

男性は就職活動が決まったから、女性に伝えた。

女性：おめでとう。

男性：ありがとう。

場面 (113)

別れたときの場面。

女性：ありがとうね。四年間本当にありがとう。

場面 (114)

男性：あ、どうもこんにちは。

場面 (115)

銀行である場面

女性：お待たせしました。

ありがとうございました。

場面 (116)

女性：どうも。リンです。

資料Ⅲ エジプト人に対しての意識調査

意識調査は、アラビア語エジプト方言母語話者にはアラビア語で行い、日本語母語話者には日本語で行った。以下に、アラビア語版、日本語版の順に示す。

●アラビア語版

بیتیان

لبیتیان عن أدوات تعبيرات الشرك في اللغة العربية خص ذلك هجة ال صرية
الغرض من بيتيان بتجليل مدى فهم فراهب صراط الشرك من خ ل السيراق الم عروض وعمل التحلي البيئية مدى ان مدى
توافق وإتقاف إدراك شخص اصل تعبيرات الشرك من خ ل السيراق الم عروض مع بيان نسب التشبهه صف ففى تأثير اللغويات الثقفية على
فهم وادراك المعنى المراد من التعبيرات المستخدمة داخل سيراق معين.

تعبيرات الشرك واداة التي يقو به التعبير حسب سيراق وموقف الجملة (نريد من هذا بيتيان معرفة بيت خدمات تعبيرات الشرك حسب كل
موقف وذلك من خلال سيراق الجملة
برجاء الفضل ليلتمشرك قبل بدء أرتك فبي هذا استط ، مع اطقأن هذا بيتيان يتم بيت خدامه فى أغراض البحث فقط ،
كم بيتك التعمام ليس يرتامة معي لاتال شركيين
معدة استط ينل مدى محم
أدرسى جامعة يروثي مل ليل ان فى السن ة الثلثة من بن امجال لفتورة
البيد ا لكتروني: salma.atarashikaze@gmail.com

● تم تصميم بيتيان بتجيش مل قل قدر من البيئات الشخصية مع اعتماده على تقويم المراحل العمرية ال م تفتت تأثير ال عمر على مدى
الثقافة سيعاب لوفهم ولضرات التبرك مة التي تؤثر فى نفسير ال صراط المبتخدم فى البحث مع اعتبار ان البيئات الشخصية
المكثورة فى بيتيان سريه . وقت م لتخدم عملي ة التي بدال رقمى التي لى العش و ط ط لتعير عن شخص اصل ال في شغل م بيتيان وذلك
حفاظا على سري قيتك م . مع خفى عبارات لى لى ال لى لى ال عمرى ال سريه وطية ال وظائف التي يشغلها ال م بيتيان بيتيان حيث
يؤثر كل من السن والوظيفة مدى فهم وادراك المعنى المراد طوقا ل سيراق ويرتتم شارة الى ميين ال عشرين

العمر :
الوظيفة :
الموقف ل :
أ: طيها عم ل مشق ولتلك نتمشرك شري اعلى الصبح . ل ا المعرفة لميتش ريت.
ب: طول عمر كصاحب واجب
ل سؤال : ماذا يدل تعبير طول عمر كصاحب واجب فى هذا الموقف؟

1()سخية
2()عباب
3()إجابة أخرى:

الموقف الثاني
أ : مالك زعنة كندة في ه؟
ابنة : زعنة عشان موطله
أ : حدي زغل عشان موطله هسرق . طبال حمدم ل هسرق عشان تخفى توكزى.

調査へのご協力をお願い

この調査は必要な最小限の個人情報を取り扱う一方、年齢が文化的認識、経験の蓄積、理解と理解の程度や解釈に影響を与える為、年齢別のグループごとに回答を提示している。また、この調査で言及されている個人情報は機密情報とみなされる。回答・コメントなどについては、論文以外に使用することはない。ご協力よろしくお願いします。

年齢と職業は文脈に関連して意図された意味への理解と認識の程度に影響を与える為、年齢層と回答者が従事している仕事の性質に関連するデータの分析も考慮されているが、これらの2つの要素は、各回答者の個人情報に個別に触れることなく、グラフ分析で参照される。

私の博士論文の研究に使用するデータとして、日本語とアラビア語エジプト方言に関して、調査を行った。

この調査の目的は、提示された文脈に関連して個人が感謝の表現をどの程度理解しているかを分析し、感謝の表現に対する個人間の認識の類似度と相違度を示すために必要なグラフ分析を行うことである。

名前：サルマ モハメド

所属：広島大学人間社会科学研究科博士課程後期2年生。

e-mail: salma.atarashikaze@gmail.com

回答者ご自身について聞く。

年齢：(才)

仕事：

問1：菜緒ちゃんが学校のロッカーで制服を探すと、見つからなかった。それで、友達が見つけて持って来た。(ごめんありがとうという表現はどのような機能を表している?)

女性1：これ廊下落ちていたけど、吉川さんのじゃない。

女性2：ええ！？菜緒！制服落としたの？

菜緒：ああ。そうかも。ごめんありがとう。

(1) 感謝

(2) 謝罪

(3) その他

問2：卓也は菜緒にプレゼントをあげる場面。この「すいません」はどういう機能を表して

いる？

男性：これお口に合うか分からないですけど。

女性：あ、すみません。お気遣いいただき。

男性：いえいえ。いつも久志がお世話になっているお礼ですから。

- (1) 感謝
- (2) 謝罪
- (3) その他

問題3：はじめてリンは先生に会う場面。(どうもはどのような機能を表している？)

リン：どうも。りんです。

- (1) 感謝
- (2) 挨拶
- (3) そのほか

問4：待ってくれた人に「お待たせしました」を使う場面である。「お待たせしました」という表現はどのような機能を表している？

男性：お待たせしました。

- (1) 感謝
- (2) 謝罪
- (3) その他

問5：食事する前に「いただきます」の表現と言ったら、誰に感謝する？

- (1) ご飯を作った人に
- (2) 神様に
- (3) その他

問題6：食事の後、「ご馳走様」、「ご馳走様でした」は感謝の意味を表している？

- (1) はい
- (2) いいえ

●「はい」の場合は、誰に感謝する？

- (3) ご飯を作った人に
- (4) 神様に
- (5) その他

ご協力ありがとうございます

資料 V 感謝表現と関連する言語事象

テレビドラマと映画を通じて、「いただきます」「ご馳走様」の表現は何度も出てきた。多くの日本人は食事の前に、「いただきます」と言い、食事の後、「ご馳走様」と言う。今田・古満（2019：73）によると、「いただきます」は、感謝の気持ちをもって食事を食べますという意味であり、「ごちそうさま」も同様に、感謝の気持ちをもって食事を終えましたという意味である」とされている。

場面 (1)

菜緒：大ちゃん！どうしたの？

大地：腹減って。ここのラーメンのファンになった。

菜緒：毎度。

菜緒：はい、どうぞ。

大地：いただきます。

『グッドモーニング・コール』

場面 (2)

レストラン

上原：うまそう！（ラーメン）

菜緒、上原：いただきます。

『グッドモーニング・コール』



図1 「いただきます」

「合掌とは身体の前で両手を合わせる動作であり、一般の日本人にとっては、寺に参拝する時などにおこなう特別な動作である。現代日本において食前、食後におけるこれら定型句の発語、合掌動作はきわめて一般的な行動である」（今田・古満、2019：73）。

日本では、「いただきます」と言ってから食事を始める。また、食事が終わった後、「ご馳走さまでした」と言う。5.3のアンケート調査結果では、テレビドラマと映画を通して、「いただきます」という表現が多用された。筆者は5年間、日本に住んでいるが、この表現が神様に対しての感謝表現として使用されていると考えていた。しかし、誰に対して感謝しているのかを日本語母語話者に調査した結果、神様に対して、使われていないという結果を得た。「いただきます」の言葉は「食材を作ってくれた人や食材そのものに対して」「ご飯を作った人と材料を作った人」「いただく作物と作ってくれた農家の人」等のような回答があった。最も多かったのは「ごはんを作った人に」である。

「いただきます」の表現は、日常生活において、もちろん食事の前に、多用されるが、他の場面においても使用される。語源について探してみると、日本の民俗学者である柳田国男(1946)は、「いただきます」の語源について次のように述べた。

いただくは、「頂戴する」と言った人が多いのを見ても分かるように、元来は物を頭に載せることであった。木でも山でも頂上がイタダキで、それらもこのイタダキという動詞に基づき、人の頭をそう呼んだのが始めかと思う。また頭に魚の桶を載せて売りにあるく女たちを、北陸や四国の海近くで、イタダキと呼んでいるのもその証拠である。以前は目上の人から衣服などをもらった場合にも、纏頭といって頭の上にかつぎました。それをのちのちは少しずつ省略して、ただ両手に持って目よりも高く、ちょうど額のあたりまで差し上げ、すぐに下すのを、イタダキまたは頂戴するということにしたのである（柳田国男1946：20）。

食べ物をイタダキ場合というのは、もとは神様の前か貴人の前で、同時に同じものを食べる時で、昔はその共食を相饗とも、また直会ともいわれていた。それから、中世に従来の階層が細かく行き渡り、人が二人出会えば、かならず一方は目上であり、そうでなくともお互いに相手を目上と同じように尊ぶのを、礼儀とするようになってからは、当然にこのイタダキ場合が激増した。このように、「頂きます」という言葉の近ごろの普及も、大半はこの考え方に伴うものだと考えられよう（柳田国男1946：21）。

また、荒川聖子・森川和子（2016:95）は「いただきます」を次のように説明している。「この言葉は、大きく二つの意味があると考えられている。まず一つ目には、「食事をいただきます」という意味である。これは、野菜や肉などの食材に関わってくれた人、流通や配膳に関わってくれた人、料理を作ってくれた人など、食事に携わってくれた人々への感謝のこころの表れである。そして二つ目は、「命をいただきます」という意味である。私たちは、野菜であれ、肉であれ、他の生き物の命を食べることで、生命を維持している。そのため、私たちの食事の食材となってくれている、生き物の命に対する感謝のこころを表しているのである」と述べている。

本調査では、「いただきます」と発語する際に、合掌動作をおこなう日本人も多いということが明らかであった。これに関して、今田・古満（2019）は、合掌は身体の前で両手を合わせる動作であり、寺に参拝する時などに日本人がおこなう特別な動作である。また、現代日本において食前、食後におけるこれら定型句の発語、合掌動作は一般的な行動であるということを指摘している。合掌動作について今田・古満（2019）は、次ように述べている。

「合掌は本来、仏や菩薩を拝む際の宗教的動作である。また敬虔な仏教徒は食前、食後に念仏を唱え、幅広い対象に対して感謝の気持ちを表明する。日本古来の宗教である神道も、食前・食後に、神への感謝を述べる祝詞を唱える（合掌はせず、端座、一拝一拍手をおこなう）。現代日本人に広く共有されている食前、食後における定型句（「いただきます」「ご馳走様」）の発語、合掌動作は、これら仏教、神道両者の宗教的ルーツをもつものと考えられる」と説明している。

また、秋山（1974）は、食事のマナーとして、非常に重要なことは「感謝の心」であると主張している。そして、農耕と動物の飼育を行なう人のすぐれた英知も必要であるが、生物をはぐくみ育てる自然の力はもっと大事であると述べている。つまり、米一粒といえども、天地の生命が作られ、生物のすべては大地の恵みによって生かされていることに心から感謝の気持ちを表す必要があるのである（秋山、1974）。したがって、日本人が小さいときから教えられてきた食前の「いただきます」という言葉と、食後の「ご馳走様」という言葉には、こんな深い意味がひそんでいたのである。

しかし、現在では、「いただきます」という表現に対して宗教的な考え方が薄まり、「人」に対して感謝の気持ちを表すという意味に変化してきた。

阿満（1996）には、いつから日本人の信仰は曖昧になったのかを説明している。明治以後、『天皇崇拜』を中心とする「国家神道」が勢いを得てから日本人の信仰が曖昧になったと考える。『天皇崇拜』のシステムは、天皇を頂点とする一神教的な新しい国家とみなしてもよいくらい、それなりの体系と一貫性を持っていたのであり、その中に組み込まれた人は、明快な「天皇崇拜」を持つことができた」と指摘している。

そして、その「天皇崇拜」のシステムが破壊された領域に暮らす人々にとっては、従来の一貫した信仰生活がかえって分断されることになり、そこに、「曖昧さ」が生じることになったのである。加えて、また、親しい神々や名もない神々が、信仰の対象からはずされることになった。日本人の信仰を支えていた特別な部分がなくなってしまったのである。それから、神道を含めて日本の「自然宗教」は、明治政府の「天皇崇拜」のイデオロギーのもとで、そのシステムを大きく変化せざるをえない状況に追いこまれることになった。（阿満1996：82-86）

「いただきます」「ご馳走様」等のような表現は、宗教的背景があるにも関わらず、多くの日本人は「習慣」としてとらえている。「日本人にとっての宗教とは「空気を吸って吐くように自然な」無意識に行う生理現象と同じであり、宗教心がありふれているからこそ日本人は自らのことを無宗教であると標榜することに躊躇いを感じない」とNoelkeは述べる（2014：22）。そして長岡（2007）によれば、日本人が同様に示唆しているのが信仰として自覚されない宗教意識の可能性であり、そうした意識は「無自覚の宗教性」と呼ばれることが時折ある。

以上のことから、次のようにまとめられる。「いただきます」とは日本では簡単に言うのと、食べ物、動物、魚、植物等の命に感謝しているという意味になると考えられる。幼い頃から多くの学校や家庭で、みんな合掌動作をおこなって「いただきます」を発話するから、人間に感謝する気持ちをより強くなるのではないだろうか。本研究の調査においても、「いただきます」の表現は、「ご飯を作った人に」に感謝しているという意味で解釈している日本人が少なくない。

日本人は無意識のうちにも伝統的な文化的枠組み、あるいは伝統的な行動様式に深く影響されているのではないだろうか。日本人は自覚なく宗教的な行動をしているといえるでしょう。言い換えると、多くの日本人が宗教は「習慣」としてとらえているのではないか。

次に、日本語の「いただきます」に関して、以下には、意識調査の情報をまとめた。

表1 日本語母語話者を対象にした意識調査の情報

調査期間	2022年12月から2023年1月まで
調査方法	グーグルフォームを利用した調査
調査目的	「いただきます」の意味に関して、日本人の意識を知るため、意識調査を採用した。

調査質問	あなたにとって「いただきます」の意味はどのようなものですか。
調査対象	日本語母語話者（大学生から社会人である）・10代から50代にかけての日本語母語話者を対象にした。意識調査協力者は36名である。女性は27人であり、男性は9人である。

「いただきます」意識調査によって得られた回答をまとめる。回答をまとめるにあたり、次のように、性別の項目を設定した。

表2 「いただきます」に関する回答

「いただきます」の意味	女性	男性
①作ってくれた人にありがたい気持ちを込めて・食べ物、料理を作ってくれた方への感謝の言葉です。	9	3
②命をいただくことに感謝する	0	3
③食べるまでに関わってきた全ての人に感謝する意味	4	0
④習慣です。子供の時から家でも学校でも「いただきます」と言ってから食べます。ごはんを作ってくれた人、食材を育ててくれた人、そして神様に感謝するという意味です。	3	0
⑤ご飯を食べる時の挨拶	1	1
⑥動物や植物の命をもらって生きていくために食べるので、感謝の意味です。 私たちが食べるうえで殺さなければいけなかった動物などに感謝するため。	3	1
⑦相手に対して感謝の気持ちをあらわす言葉です。	1	0
⑧形式的なもの	1	0
⑨食事をする前に、料理をしてくれた人に、また食材に対して命あるものをいただくわけだから感謝をこめて、「いただきます」と言葉にしてから、食べ始める。	5	1

表2は「いただきます」の意味についての質問であるが、男性が9人であり、女性が27である。「作ってくれた人にありがたい気持ちを込めて・食べ物、料理を作ってくれた方への感謝の言葉です」という回答が最も多かった。また、「動物や植物の命をもらって生きていくために食べるので、感謝の意味です」「命をいただくことに感謝する」

などのようなことがあった。

質問5：食事する前に「いただきます」の表現と言ったら、誰に感謝する？

表3 「いただきます」

	N	%
ご飯を作ってくれた人に	39	47
神様	5	6
食べ物、作った人、神様、自然界、ご飯の材料を用意してくれた人への感謝も含む	26	31.3
食材の命、命をくれた食材に	12	14.5
挨拶・習慣	1	1.2
全体	83	100

質問1：食事の後、「ご馳走様」、「ご馳走様でした」は感謝の意味を表しているのか。

表4 「ご馳走様」と「ご馳走様でした」の意味

	N	%
はい	82	98.8
いいえ	1	1.2
全体	83	100

質問2：質問1に対して、「はい」の場合は、誰に感謝するのか。

表5 「ご馳走様」と「ご馳走様でした」の使い分け

	N	%
ご飯を作ってくれた人に	52	62.6
神様	4	5
食べ物、作った人、神様、自然界、ご飯の材料を用意してくれた人への感謝も含む	11	13.2
その食べ物にかかわった全てのものに	15	18
考えたことがなかった	1	1.2
全体	83	100

一般に日本の日常生活で食事の場面では「いただきます」と「ご馳走様」が使用されている。

誰に対して感謝しているのかを日本語母語話者に調査した結果、「いただきます」の言葉は「食材を作ってくれた人や食材そのものに対して」「ご飯を作った人と材料を作った人」「いただく作物と作ってくれた農家の人」等のような回答があった。一番多かったのは「ごはんを作った人に」の回答である。

「ご馳走さま」について、食事の後、よく使用されている。例えば、友達からご馳走になった時にも、店員さんにも使用する感謝の表現である。

本調査では、「ごはんを作った人」に対して、62.6%であるという結果が得られた。そのほか、「ご飯を作った人と材料を作った人」「食材の命、使ってくれた人の労力な感謝」「作った人と、動物や植物の命に感謝」等のような回答もあった。

食事前の挨拶は、アラビア語で「بِسْمِ اللّٰهِ الرَّحْمٰنِ الرَّحِیْمِ (bismillah al-rahman al-rahim) 」と言います。「アッラーの名において、最も慈悲深く、最も慈悲深い」という意味である。この挨拶はイスラーム教徒によって食事の前に行われることが一般的である。分解してみると、以下のようなになる。

「bismillah」(ビスミッラー)：これは「アッラーの名において」という意味であり、食事や仕事の開始時にアッラーの名を唱え、祝福を求めるための呼びかけとして使用される。

「bismillah」(ビスミッラー)の文法的分析は次のようになる。

1. 「ビ」：前置詞で「～をもって」という意味。
2. 「スミ」：名詞「イスマ」で、「名前」という意味である。しかし、「ビ」につくために「イ」の音であるアリフが落ちている。
3. 「ッラー」：名詞「アッラー」で、「唯一神アッラー」である。

「al-rahman」(アル・ラフマーン)：これは「最も慈悲深い」という意味であり、アッラーの名前の一つであり、全能性をすべての彼の奴隷に反映させている。

「al-rahim」(アル・ラヒーム)：これは「最も慈悲深い」という意味であり、これもアッラーの別の名前であり、彼の豊かな慈悲と親切さを示している。

「بِسْمِ اللّٰهِ الرَّحْمٰنِ الرَّحِیْمِ (bismillah al-rahman al-rahim) 」とい表現は、クルアーンの最初の章で用いられている。礼拝をしている人も必ず言う言葉で、ムスリムは、なにか物事を始めるときにこの「ビスミッラー」を唱えてから始めることが多い。

食事後の挨拶は「al-ḥamdulīl-lāh」である。神への感謝を表す表現である。食事を終えた後、アッラーへの感謝と称讃を表すために使用される。イスラーム教では、食べ物

はアッラーからの恵みであり、食べ物を与えてくれるアッラーに対する感謝の気持ちを表すために重要である。「al-ḥamduli-llaah」は、アッラーへの感謝と称讃を表す表現である。食事後の挨拶「al-ḥamduli-llaah」は、イスラーム教徒にとって日常的な行為の一部であり、アッラーへの感謝を表す重要なこととなる。

「ご馳走様」と「al-ḥamdu li-llaah」

例(1) (レストランで食事が終わった後)

女性：(店員さんに) ご馳走様です。

例(2) (高校で昼ご飯の後)

男性：(友達に) ご馳走様。

例(3) (家で食事が終わった後)

女性：(母に) ご馳走様。

「ご馳走さま」は、日本の日常生活で、一般的に使用されている。友達や、両親、店員さんからご馳走になった時、使用する感謝の表現である。一方、エジプト方言の対応表現の「al-ḥamdu li-llaah」は人には直接に使わずに、神への感謝を表す表現である。つまり、食事の後、最初に感謝されるのは神様である。「al-ḥamdu li-llaah」の意味は「すべての事象は神様がお与えになさったもの」ということに由来する。しかし、エジプト方言話者は、人にご馳走になった時は、「ご馳走様」ではなく、「šukran」(ありがとう)を使う。基本的にエジプト方言話者は食事のようなことには相手に感謝の言葉を言うより、神の恩を忘れずに神に感謝するのが一般的である。しかし、今回のデータでは、食事の後に、「al-ḥamdu li-llaah」の表現は現れなかった。エジプト方言話者は、食事の後に、「al-ḥamdu li-llaah」の表現を使用するが、多くの場合には、大きい声で言わずに、心の中で言う。一方で、日本語母語話者は発話によりご馳走様と表現することが明らかになった。

「いただきます」と「bismillah alrahman alrahim」

日本語母語話者は食事をする前に「いただきます」の表現で「ご飯を作った人」に感謝するということがわかってきた。

エジプト方言話者特にイスラーム教徒は、「bismillah alrahman alrahim」(慈悲あまねく慈愛深き神(アッラー)の御名において)で食事の前に始める表現である。飲食だ

けではなく、衣服の着用、入浴などの最も日常的な行為であれ、開始の前にムスリムはそれを崇拜行為とすべく、神の御名に言及する。

資料 VI アラビア語文字表記

アラビア語のローマ字転写 (ISO233:1984 /ISO233-2:1993 /ISO233-3:1999)

子音：

ء	ب	ت	ث	ج	ح	خ	د	ذ	ر	ز	س	ش	ص
'	b	t	ṭ	ǧ	ḥ	ḫ	d	ḏ	r	z	s	š	ṣ
Pct			xAd	xB	xAd	xAd		xAd				xA	xAd
ض	ط	ظ	ع	غ	ف	ق	ك	ل	م	ن	ه	و	ي
ḍ	ṭ	ẓ	'	ǧ	f	q	k	l	m	n	h	w	y
xAd	xAd	xAd	pct	xA									

母音：

a	i	u	e	o	ā	ī	ū	ē	ō
					xA	xA	xA	xA	xA